

(様式第 10)

九大院医医第
令和元年 10

厚生労働大臣

殿

九州大学総長 久保 千 寿

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒819-0395 福岡市西区元岡744
氏 名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	電話 (092) 641-1151 (代表)
------------------------	------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 呼吸器内科		
2 消化器内科		
3 循環器内科		
4 腎臓内科		
⑤ 神経内科		
6 血液内科		
7 内分泌内科		
8 代謝内科		
9 感染症内科		
10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
11 リウマチ科		
診療実績		
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。		
・循環器内科は循環器科で診療を行っている。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	☒ 有	☐ 無
外科と組み合わせた診療科名		
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
⑧小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科	⑧産科
⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	14放射線治療科		
⑮麻酔科	⑯救急科						

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	☒ 有	☐ 無
歯科と組み合わせた診療科名		
①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 病理診断科・病理部	3 形成外科	4 心療内科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
93床	床	床	床	1,182床	1,275床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(令和元年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	374人	268人	588.4人	看護補助者	21人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	88人	76人	148.8人	理学療法士	23人	臨床検査技師	105人
薬剤師	84人	0人	84人	作業療法士	10人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	43人	0人	43人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1184人	14人	1194.2人	臨床工学士	23人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員	40人
歯科衛生士	21人	0人	21人	歯科技工士	5人	事務職員	358人
管理栄養士	10人	0人	10人	診療放射線技師	68人	その他の職員	179人

(注) 1 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(令和元年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	93 人	眼科専門医	16 人
外科専門医	71 人	耳鼻咽喉科専門医	12 人
精神科専門医	11 人	放射線科専門医	29 人
小児科専門医	46 人	脳神経外科専門医	10 人
皮膚科専門医	6 人	整形外科専門医	23 人
泌尿器科専門医	12 人	麻酔科専門医	19 人
産婦人科専門医	24 人	救急科専門医	5 人
		合 計	377 人

(注) 1 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経歴

管理者名 (赤 司 浩 一) 任命年月日 平成 30 年 4 月 1 日

・平成 16 年度より平成 29 年度末まで輸血センター長及び輸血委員会委員長として九州大学病院の輸血・血漿交換等に関する医療安全管理業務を担当した。
 ・平成 20 年度より平成 29 年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	1,099.9 人	34.3 人	1,134.2 人
1日当たり平均外来患者数	2,345.4 人	738.4 人	3,083.8 人
1日当たり平均調剤数			2,224 剤
必要医師数			254.750人
必要歯科医師数			42人
必要薬剤師数			38人
必要（准）看護師数			673人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	442.93m ²	鉄筋コンクリート	病 床 数	12床	心 電 計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 1,226.28 m ² [移動式の場合] 台 数 4 台		病床数 54 床			
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 84.74 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	1,597 m ²	SRC	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
細菌検査室	629 m ²	SRC	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
病理検査室	371 m ²	SRC	(主な設備) パーチャルスライド・スキャナ、自動免疫染色装置			
病理解剖室	350 m ²	SRC	(主な設備) ラミナフローユニット・ハイハザード解剖台			
研 究 室	m ²		(主な設備)			
講 義 室	m ²		室数	室	収容定員	人
図 書 室	m ²		室数	室	蔵 書 数	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		81.2%	逆紹介率	79.8%
算出根拠	A：紹介患者の数	22,210人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	23,419人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,632人		
	D：初診の患者の数	29,331人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学	○	安全管理の識見者	無	1
一木 孝治	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人 キャンサーサポート		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院 WEB サイトに掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション	0人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	22人
LDLアフェレシス療法	0人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	38人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロビドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のデモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにデモゾロミド内服投与の維持療法	0人
デモゾロミド用量強化療法	2人
シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法	2人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法	3人
マルチプレックス遺伝子パネル検査	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示

第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	56 ベーチェット病	200
2 筋萎縮性側索硬化症	27	57 特発性拡張型心筋症	139
3 脊髄性筋萎縮症	5	58 肥大型心筋症	28
4 原発性側索硬化症	1	59 拘束型心筋症	1
5 進行性核上性麻痺	9	60 再生不良性貧血	40
6 パーキンソン病	119	61 自己免疫性溶血性貧血	3
7 大脳皮質基底核変性症	6	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8 ハンチントン病	1	63 特発性血小板減少性紫斑病	56
9 神経有棘赤血球症	0	64 血栓性血小板減少性紫斑病	13
10 シャルコー・マリー・トウース病	0	65 原発性免疫不全症候群	46
11 重症筋無力症	159	66 IgA 腎症	42
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性嚢胞腎	38
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	293	68 黄色靱帯骨化症	4
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	44	69 後縦靱帯骨化症	55
15 封入体筋炎	5	70 広範脊柱管狭窄症	8
16 クロウ・深瀬症候群	1	71 特発性大腿骨頭壊死症	170
17 多系統萎縮症	36	72 下垂体性ADH分泌異常症	27
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	83	73 下垂体性TSH分泌亢進症	2
19 ライソゾーム病	16	74 下垂体性PRL分泌亢進症	30
20 副腎白質ジストロフィー	2	75 クッシング病	18
21 ミトコンドリア病	13	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	7
22 もやもや病	82	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	51
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	118
24 亜急性硬化性全脳炎	1	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	7	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	8
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	0
28 全身性アミロイドーシス	26	83 アジソン病	3
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	97
30 遠位型ミオパチー	2	85 特発性間質性肺炎	39
31 ベスレムミオパチー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	60
32 自己食空腔性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88 慢性血栓性肺高血圧症	76
34 神経線維腫症	39	89 リンパ管筋腫症	8
35 天疱瘡	25	90 網膜色素変性症	175
36 表皮水疱症	4	91 バッド・キアリ症候群	7
37 膿疱性乾癬(汎発型)	10	92 特発性門脈圧亢進症	5
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93 原発性胆汁性肝硬変	113
39 中毒性表皮壊死症	3	94 原発性硬化性胆管炎	12
40 高安動脈炎	59	95 自己免疫性肝炎	12
41 巨細胞性動脈炎	3	96 クローン病	335
42 結節性多発動脈炎	14	97 潰瘍性大腸炎	416
43 顕微鏡的多発血管炎	25	98 好酸球性消化管疾患	4
44 多発血管炎性肉芽腫症	15	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	4
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	12	101 腸管神経節細胞減少症	0
47 パージャール病	15	102 ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	541	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	142	105 チャーヅ症候群	0
51 全身性強皮症	170	106 クリオピリン関連周期熱症候群	0
52 混合性結合組織病	53	107 若年性特発性関節炎	1
53 シェーグレン症候群	38	108 TNF受容体関連周期性症候群	1
54 成人スチル病	16	109 非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55 再発性多発軟骨炎	3	110 ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	2	161 家族性良性慢性性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113 筋ジストロフィー	5	163 特発性後天性全身性無汗症	0
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	4
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	6
116 アトピー性脊髄炎	5	166 弾性線維性仮性黄色腫	2
117 脊髄空洞症	1	167 マルファン症候群	5
118 脊髄髄膜瘤	1	168 エーラス・ダンロス症候群	0
119 アイザックス症候群	1	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	8
122 脳表ヘモジデリン沈着症	1	172 低ホスファターゼ症	1
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ベリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	4	177 ジュベール症候群関連疾患	0
128 ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	6
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ビクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	4	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	3	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	3
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	1
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	2
142 ミオクロニー欠てんかん	0	192 コケイン症候群	1
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193 プラダー・ウィリ症候群	1
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソトス症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	2
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	1	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	4
158 結節性硬化症	0	208 修正大血管転位症	7
159 色素性乾皮症	1	209 完全大血管転位症	8
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	14

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
259	左心低形成症候群	1	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
260	三尖弁閉鎖症	6	シトステロール血症	0
261	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	5	タンジール病	0
262	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	原発性高カイトミクロン血症	0
263	ファロー四徴症	28	脳髄黄色腫症	0
264	両大血管右室起始症	7	無βリポタンパク血症	0
265	エプスタイン病	3	脂肪萎縮症	1
266	アルポート症候群	1	家族性地中海熱	7
267	ギャロウェイ・モフト症候群	0	高IgD症候群	0
268	急速進行性糸球体腎炎	1	中條・西村症候群	0
269	抗糸球体基底膜腎炎	1	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	一次性ネフローゼ症候群	25	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	強直性脊椎炎	23
272	紫斑病性腎炎	5	進行性骨化性線維異形成症	0
273	先天性腎性尿崩症	0	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
274	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	骨形成不全症	2
275	オスラー病	16	タナトフォリック骨異形成症	0
276	閉塞性細気管支炎	0	軟骨無形成症	0
277	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	リンパ管腫症/ゴーム病	1
278	肺胞低換気症候群	0	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
279	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
280	カーニー複合	0	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
281	ウォルフラム症候群	0	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	副甲状腺機能低下症	4	後天性赤芽球癆	1
284	偽性副甲状腺機能低下症	0	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	ファンコニ貧血	0
286	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	エプスタイン症候群	0
288	フェニルケトン尿症	0	自己免疫性出血病XIII	0
289	高チロシン血症1型	0	クローンカイト・カナダ症候群	1
290	高チロシン血症2型	0	非特異性多発性小腸潰瘍症	4
291	高チロシン血症3型	0	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	1
292	メーブルシロップ尿症	0	総排泄腔外反症	0
293	プロピオン酸血症	0	総排泄腔遺残	4
294	メチルマロン酸血症	0	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	イソ吉草酸血症	0	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	グルコーストランスポーター1欠損症	0	胆道閉鎖症	3
297	グルタル酸血症1型	0	アラジール症候群	0
298	グルタル酸血症2型	0	遺伝性瘰癧	0
299	尿素サイクル異常症	2	嚢胞性線維症	0
300	リジン尿性蛋白不耐症	0	IgG4関連疾患	15
301	先天性葉酸吸収不全	0	黄斑ジストロフィー	6
302	ボルフィリン症	1	レーベル遺伝性視神経症	0
303	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	アッシャー症候群	0
304	筋型糖原病	0	若年発症型両側性感音難聴	2
305	肝型糖原病	1	遅発性内リンパ水腫	0
306	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	好酸球性副鼻腔炎	13

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	319 セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308 進行性白質脳症	0	320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309 進行性ミオクローヌスてんかん	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
310 先天異常症候群	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	326 大理石骨病	1
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316 カルニチン回路異常症	0	328 前眼部形成異常	1
317 三頭酵素欠損症	0	329 無虹彩症	0
318 シトリン欠損症	1	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
		331 特発性多中心性キャッスルマン病	8

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療環境体制加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・総合評価加算
・臨床研修病院入院診療加算(医科・歯科)	・後発医薬品使用体制加算 3
・救急医療管理加算 1・2	・データ提出加算 2
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算 1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・入退院支援加算 3
・診療録管理体制加算 1	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算の加算)
・医師事務作業補助体制加算(20対1)	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・精神疾患診療体制加算
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・療養環境加算	・救命救急入院料 1(CCU病棟)
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料 3(ハイケア病棟)
・無菌治療室管理加算 2	・救命救急入院料 4(救命ICU)
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料 1
・精神科リエゾンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・がん診療連携拠点病院加算 1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料 1
・歯科医師連携加算	・
・医療安全対策加算 1	・
・感染防止対策加算 1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料	・医療機器安全管理料2
(植込型除細動器移行加算)	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・高度難聴指導管理料	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・糖尿病合併症管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料 イ	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料 ロ	・造血器腫瘍遺伝子検査
・がん患者指導管理料 ハ	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	抗体同時測定定性
・糖尿病透析予防指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出
・外来リハビリテーション診療料 1・2	(簡易ジェノタイプ判定)
・外来放射線照射診療料	・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出
・ニコチン依存症管理料	・検体検査管理加算(IV)
・療養・就労両立支援指導料	・国際標準検査管理加算
・がん治療連携計画策定料	・遺伝カウンセリング加算
・がん治療連携管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料 1	・植込型心電図検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料 2	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・認知症専門診断管理料	・胎児心エコー法
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・地域連携診療計画加算(診療情報提供料Ⅰの加算)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・医療機器安全管理料1	・長期脳波ビデオ同時記録検査 1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・無菌製剤処理料
・脳磁図	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳波検査診断料 1	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・内服・点滴誘発試験	・各リハビリテーション料の初期加算
・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	・歯科口腔リハビリテーション料 2
・精密触覚機能検査	・児童思春期精神科専門管理加算
・画像診断管理加算 3	・救急患者精神科継続支援料
・歯科画像診断管理加算 1	・認知療法・認知行動療法 1
・歯科画像診断管理加算 2	・認知療法・認知行動療法 2
・遠隔画像診断	・精神科作業療法
・ポジトロン断層撮影	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピュータ断層複合撮影	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・CT撮影及びMRI撮影	・医療保護入院等診療料
・冠動脈CT撮影加算	・硬膜外自家血注入
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・大腸CT撮影加算	・人工腎臓・慢性維持透析を行った場合 1
・心臓MRI撮影加算	・導入期加算 2
・乳房MRI撮影加算	・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・一酸化窒素吸入療法
・頭部MRI撮影加算	・手術用顕微鏡加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・口腔粘膜処置
・外来化学療法加算 1	・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・CAD/CAM 冠	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・経皮的冠動脈形成術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカーの場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・羊膜移植術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・網膜再建術	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術	・補助人工心臓
・人工中耳植込術	・小児補助人工心臓
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・同種心移植術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・経皮的大動脈遮断術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・ダメージコントロール手術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下筋層切開術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。))に掲げる手術
・腹腔鏡下肝切除術	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・生体部分肝移植術	・輸血管理料Ⅰ
・同種死体肝移植術	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・歯周組織再生誘導手術
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・生体部分小腸移植術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・同種死体小腸移植術	・歯根端切除手術の注3
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・レーザー機器加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・同種死体腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・生体腎移植術	・1回線量増加加算
・膀胱水圧拡張術	・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	21回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 29 例 / 剖検率 9.9 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	全てのヒト骨髄性腫瘍が依存する、新規がん幹細胞維持機構の解明	赤司 浩一	第一内科	2,730 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
2	微小環境プロファイリングに基づく末梢性T細胞リンパ腫の予後層別化と新規治療開発	赤司 浩一	第一内科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
3	全ゲノム機能的CRISPRスクリーニングによる新規白血病治療標的分子の探索	前田 高宏	第一内科	1,417 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
4	高感度シングルセル解析を用いたヒト造血幹細胞分画の層別化	森 康雄	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
5	突発性心停止におけるサルコペニアの関与および作用点の解明	深田 光敬	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
6	新規細胞系列ILCsの関節リウマチ発症・進展における役割の解明	有信 洋二郎	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
7	B細胞性リンパ腫における微小免疫環境を標的とした新規治療法の開発	加藤 光次	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
8	全身性強皮症の病態形成におけるマスト細胞および生理活性物質の役割の解明	赤星 光輝	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	骨髄増殖性疾患における、CALR遺伝子変異によるJAK2活性化メカニズムの解明	野波 篤	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
10	インフラゾームの制御機構の解明と自己免疫疾患治療への応用	三苦 弘喜	第一内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
11	間葉系ニッチのシングルセルプロファイリングによる造血器腫瘍発症及び進展機構の解明	國崎 祐哉	第一内科	624 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
12	原発性胆汁性胆管炎模倣培養系からのゲノム・脂質情報を利用した新規治療法の開発	下田 慎治	第一内科	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
13	骨髄性およびリンパ性白血病幹細胞に共有されるTIM-3増殖シグナル機構の解析	宮本敏浩	第一内科	429 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
14	Exhaustion関連分子による白血病幹細胞制御機構の解明	菊繁吉謙	第一内科	780 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
15	慢性リンパ球性白血病およびB細胞性リンパ腫におけるIRAK-M分子の機能解明および革新的標的治療法の確立	菊繁吉謙	第一内科	1,000 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
16	高齢者の切除不能な進行・再発胃癌に対する機能評価と前向きな化学療法後の臨床情報が紐づけされたデータセットの作成を通じて標準治療を開発する多施設共同臨床研究	馬場 英司	第一内科	50 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
17	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法の確立に関する研究	馬場 英司	第一内科	20 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
18	切除不能または再発食道癌に対するCF(シスプラチン+5-FU)療法とbDCF(biweeklyドセタキセル+CF)療法のランダム化第III相比較試験	馬場 英司	第一内科	98 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
19	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	馬場 英司	第一内科	130 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
20	アポトーシス/CD300aを基軸とした全身性強皮症の病態解明と新規治療法開発	綾野 雅宏	第一内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
21	膵ベータ細胞における発生および成熟過程のエピジェネティック制御機構の解明	勝田 仁	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
22	急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病のゲノム解析とバイオマーカーに基づいた造血幹細胞移植の最適化に関する研究	加藤 光次 (分担)	第一内科	50 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
23	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の難治性病型に対する治療研究:フォローアップ	加藤 光次 (分担)	第一内科	65 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
24	NY-ESO-1抗原特異的TCR遺伝子導入Tリンパ球輸注による同種移植後再発難治性成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした多施設共同臨床第Ⅰ相医師主導治験	加藤 光次 (分担)	第一内科	156 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
25	STAT3変異高IgE症候群に対する改良型Cas9を用いた造血幹細胞遺伝子治療の開発	加藤 光次 (分担)	第一内科	390 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
26	真菌感染症におけるC型レクチン受容体の役割の解明	米川 晶子	第一内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
27	急性腎障害におけるアルギナーゼ2の役割とその制御機構の解明	鳥巢 久美子	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
28	血管石灰化治療における骨格筋・血管関連の概念の応用とその機序の解明	山田 俊輔	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
29	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究	二宮 利治	第二内科	15,000 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
30	心房細動の発症予測・予後予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発を目的とした大規模コホート・レジストリー共同研究	二宮 利治	第二内科	65 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
31	組織修復に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明と制御	二宮 利治	第二内科	325 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
32	住民健診・職域健診で使用可能な心房細動発症リスクスコアの開発と心房細動の再発・重症化予防戦略の確立	二宮 利治	第二内科	100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
33	糖尿病の遺伝・環境因子の包括的解析から日本発次世代型精密医療を実現するプロジェクト	二宮 利治	第二内科	800 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
34	心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発	二宮 利治	第二内科	82 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
35	活性型・抑制型自然免疫受容体解析による抗酸菌潜伏および持続感染の成立・維持と再活性化機序解明に基づく新規治療法開発	二宮 利治	第二内科	250 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
36	生涯にわたる循環器疾患の個人リスクおよび集団のリスク評価ツールの開発を目的とした大規模コホート統合研究	二宮 利治	第二内科	162 万円	補 厚生労働科学研究費補助金

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
37	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	二宮 利治	第二内科	200 万円	補 厚生労働行政推進調査事業費補助金
38	久山町高齢者におけるMRIを基盤とした認知症・うつ病発症の前向きコホート研究	二宮 利治	第二内科	936 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
39	宿主応答を累加した分子疫学的アプローチによる口腔マイクロバイオームの病原性解明	二宮 利治 (分担)	第二内科	40 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
40	8020から8028へのパラダイムシフトを目指す日韓国際比較研究	二宮 利治 (分担)	第二内科	24 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
41	舌苔の病原性評価ガイドラインの策定に向けた基盤マイクロバイオームデータの構築	二宮 利治 (分担)	第二内科	20 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
42	診察室外血圧の統合データベース構築と循環器リスクの比較評価	二宮 利治 (分担)	第二内科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
43	TREM2・単球機能を標的とした糖尿病・肥満に伴う認知症予知指標・治療戦略の開発	二宮 利治 (分担)	第二内科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
44	真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点	二宮 利治	第二内科	2,000 万円	委 科学技術振興機構研究成果展開事業センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム
45	革新的機能性食品開発を目指した久山町研究基盤の構築	二宮 利治	第二内科	5,046 万円	委 福岡県バイオ製品開発研究事業
46	脂肪酸、ゲノム情報を考慮に入れた糖尿病発症のリスクスコア作成:久山町研究	平川 洋一郎	第二内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
47	日本人地域住民における血圧変動と心血管病・認知症に関する研究:久山町研究	坂田 智子	第二内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
48	細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	8,142 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
49	DNAメチル化に着目した「エピゲノム記憶」の分子機構と機能的意義の解明	小川 佳宏	第三内科	494 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
50	炎症細胞社会に焦点を当てた閉経後NASH肝癌の発症機構の解明と予防戦略の開発	小川 佳宏	第三内科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術研究)
51	脂肪組織のHealthy Expansionの分子機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
52	「エピゲノム記憶」の概念の確立～生活習慣病の先制医療の実現に向けて～	小川 佳宏	第三内科	3,000 万円	補 公益財団法人 セコム科学技術振興財団
53	マクロファージのPerforin-2による殺菌機構の解明	白土 基明	第三内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
54	神経および単球特異的GLP-1受容体欠損マウスを用いた臓器保護効果機序の検討	園田 紀之	第三内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
55	GLP-1の臓器保護効果の機序及び膵外受容体の生理学的役割の解明	井上 智彰	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
56	肝細胞癌における糖・脂質代謝の変化とその発癌・悪性化への関与に関する検討	国府島 庸之	第三内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
57	サイトカインプロファイル解析による食道アカラシアの病態解明	伊原 栄吉	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
58	遺伝子改変制御性T細胞を用いた炎症性疾患治療の実現を目指した基礎的検討	知念 孝敏	第三内科	5,629 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(帰国発展研究)
59	ブリン作動性化学伝達による糖代謝制御	坂本 昌平	第三内科	89 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
60	ブリンシグナルによる代謝調節機構の解明	坂本 昌平	第三内科	55 万円	補 公益財団法人山口内分泌疾患研究振興財団
61	希少内分泌疾患から生活習慣病へのトランスレーショナルサイエンス	宮澤 崇 (分担)	第三内科	85 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
62	アジアにおける膵癌早期発見率の向上を目指した国際間遠隔教育プログラムの実現	藤森 尚 (分担)	第三内科	11 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
63	神経性やせ症の病態解明と新パラダイムの創出:腸内細菌による体重・行動特性の制御	須藤 信行	心療内科	411 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
64	新学術領域研究(研究領域提案型)「消化管ペプチドから見た情動・社会行動の発露、こころのゆらぎと変容の神経内分泌機構」	須藤 信行 (分担)	心療内科	779 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
65	「腸内細菌叢による発達障害(神経発達症)の行動特性への影響の解明」	須藤 信行 (分担)	心療内科	5 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
66	中枢性摂食異常症および中枢神経感作病態を呈する疾患群の脳科学的な病態解明と、エビデンスに基づく患者ケア法の開発	須藤 信行 (分担)	心療内科	60 万円	委 厚生労働科学研究費補助金
67	心身症・摂食障害の治療プログラムと臨床マーカーの検証	須藤 信行 (分担)	心療内科	70 万円	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
68	摂食障害の治療支援ネットワークの指針と簡易治療プログラムの開発	須藤 信行 (分担)	心療内科	80 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
69	報酬系おセルフコントロールの関連およびその脳内基盤	吉原 一文	心療内科	250 万円	補 公益財団法人 喫煙科学研究財団
70	ME/CFS 患者の心身医学的分析	吉原 一文	心療内科	325 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
71	地域高齢者における認知症関連遺伝子と脳の形態学的変化の関連:久山町研究	平林 直樹	心療内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
72	神経性やせ症の入院治療ランダム化試験とバイオマーカーとしてのmiRNAの応用	高倉 修	心療内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
73	肥満治療におけるリバウンド防止効果の検証—認知行動療法とマインドフルネスのRCT	野崎 剛弘	心療内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
74	神経性食欲不振症の治療がもたらす脳機能の変化とその意義の解明	権藤 元治	心療内科	48 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	線維筋痛症と中枢性感作に関するトランスレーショナルリサーチ:精神神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発	細井 昌子(分担)	心療内科	1,520 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
76	慢性疼痛診療体制構築モデル事業	細井 昌子	心療内科	798 万円	補 厚生労働省関連補助金
77	幼少期の体験に注目したより有効な慢性疼痛に対する認知行動療法の開発	安野 広三	心療内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	一般住民における心理社会的因子・家族機能・社会脳と認知症の関連:久山町研究	柴田 舞欧	心療内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
79	全ゲノムと免疫病理解析に基づく脱髄性疾患のグリアシンシチウム破綻機序の解明と修復	吉良 潤一	脳神経内科	1,365 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
80	肥厚性硬膜炎の世界初の動物モデルの樹立とTGFβを標的とした画期的新規治療法開発	吉良 潤一	脳神経内科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
81	神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	吉良 潤一	脳神経内科	45 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
82	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	吉良 潤一	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
83	運動失調症の医療基盤に関する調査研究	吉良 潤一	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
84	スモンに関する調査研究	吉良 潤一	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
85	難病医療資源の地域ギャップ解消をめざした難病医療専門員のニーズ調査と難病医療専門員ガイドブックの作成	吉良 潤一	脳神経内科	499 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
86	HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	吉良 潤一	脳神経内科	35 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
87	二次進行型多発性硬化症新規動物モデルの樹立と炎症性グリアを標的とした進行型多発性硬化症治療薬開発	吉良 潤一	脳神経内科	3,120 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
88	抗Neurofascin155抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎の診断基準・治療ガイドライン作成のためのエビデンスの創出	吉良 潤一	脳神経内科	1,560 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
89	第Ⅱ相試験の実施	吉良 潤一	脳神経内科	125 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
90	神経障害性疼痛の原因診断と治療選択のための抗Plexin D1抗体測	吉良 潤一	脳神経内科	270 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
91	アストログリアコネクションの脳内免疫系賦活作用の抑制による多発性硬化症治療法の開発	山崎 亮	脳神経内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
92	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	松下 拓也	脳神経内科	130 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
93	異常蛋白の発現調整が可能な多系統萎縮症動物モデルの開発と抗ミクログリア点鼻薬治療	松瀬 大	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
94	グルコース・乳酸担体を標的とした中枢脱髄疾患のエネルギー供給機構修復治療の開発	渡邊 充	脳神経内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
95	抗NF155抗体の糖鎖エピトープの同定と蛋白間相互作用阻害によるCIDP発症機序	緒方 英紀	脳神経内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
96	アストロサイトのTRPV4チャネルを標的とした急性期脳梗塞の画期的治療法の開発	田中 弘二	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
97	全ゲノム関連解析による日本人多発性硬化症の脳灰白質萎縮を規定する遺伝子の同定	中村 優理	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
98	特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器内科	1,057 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
99	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	8,320 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
100	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	筒井 裕之	循環器内科	1,144 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
101	心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発	筒井 裕之	循環器内科	9,124 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
102	心不全発症機序としての低酸素応答を介したミトコンドリア機能不全の分子機序解明	池田 昌隆	循環器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
103	脳内レニンアインフォームの発現調整異常は慢性心不全の発症機序に寄与しているか	篠原 啓介	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
104	トラスツズマブ誘発性心筋症の危険因子の同定と機序解明	大谷 規彰	循環器内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	ミトコンドリア蛋白輸送機構の心筋リモデリングにおける意義の解明と治療への応用	松島 将士	循環器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
106	Fontan手術後患者における肺血管拡張薬有用性の機序解明	坂本 一郎	循環器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
107	脂質ラジカル可視化技術によるミトコンドリアー核連関の解明と心不全治療への応用	井手 友美	循環器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
108	交感神経過緊張による急性心不全増悪機序の解明と交感神経減負荷を介した治療への応用	坂本 隆史	循環器内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	急性心筋梗塞後の心臓修復を促進する革新的PPAR γ ナノ医薬の研究開発	的場 哲哉	循環器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
110	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	阿部 弘太郎	循環器内科	1,287 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
111	肺高血圧症の閉塞性病変進展における炎症誘導機構の解明および新規治療法の開発	阿部 弘太郎	循環器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
112	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	1,379 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
113	PD-1阻害抗体の抗腫瘍効果を増強するミトコンドリア活性化剤を用いた新規併用治療法の開発	岡本 勇	呼吸器科	4,400 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
114	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	岡本 勇	呼吸器科	7,798 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
115	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ベメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験(JCOG1404/WJOG8214L:AGAIN)	岡本 勇	呼吸器科	293 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
116	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	岡本 勇	呼吸器科	40 万円	委 国立がん研究センター研究開発費
117	HER2遺伝子変異陽性肺癌の分子生物学的特性とリキッドバイオプシーに関する研究	岩間 映二	呼吸器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
118	非小細胞肺癌におけるHippo経路分子MOB1の機能解析	大坪 孝平	呼吸器科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
119	患者由来気道上皮細胞を用いた閉塞性肺疾患におけるウイルス感染遷延化機序の解明	神尾 敬子	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
120	子宮内膜における幹細胞劣化による生物学的・機能的細胞老化誘導メカニズムの解明	加藤 聖子	産科婦人科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
121	孤発性の重症胎児発育不全とその胎盤におけるミトコンドリア異常との関係に関する研究	加藤 聖子	産科婦人科	144 万円	補 公益財団法人日母おぎや一献金基金(おぎや一献金助成金)
122	マイクロRNAを介した子宮体癌の進展制御を司る新たな分子機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
123	婦人科悪性腫瘍の進展におけるG α 13の役割	八木 裕史	産科婦人科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
124	G α 13シグナル経路による卵巣癌進展機構の解析	八木 裕史	産科婦人科	100 万円	補 公益財団法人新日本先進医療研究財団(平成30年度新日本先進医療研究財団研究助成金)
125	日本人胎児の心室壁厚のノモグラム作成および耐糖能異常母体における逸脱の観察	城戸 咲	産科婦人科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
126	臍帯血を用いた新生児・小児の肝再生細胞療法の研究	大賀 正一	小児科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
127	定量的評価を用いた、早産児の縦断的な脳成熟パターンの同定	園田 有里	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
128	mTOR阻害薬による川崎病患者血清特異的物質の炎症惹起作用抑制の検討	西尾 壽乗	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	極低出生体重児における高フェリチン血症の病態解析	藤吉 順子	小児科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
130	先天性門脈体循環シャント症候群を引き起こす遺伝的要因の解明	石井 加奈子	小児科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
131	肺静脈狭窄症の成因・病態の解明、および有効治療の確立	平田 悠一郎	小児科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
132	川崎病類似冠動脈炎におけるIL-1 β の役割の検討	本村 良知	小児科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
133	統合的脳機能解析を用いたけいれん重積型脳症の早期診断バイオマーカーの開発	一宮 優子	小児科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
134	胎児子宮内発育遅延の病因病態に関する研究ー血管炎との関連についてー	井上 普介	小児科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
135	早産児の低酸素性脳傷害とてんかん発症を防御する遺伝子群の解明	鳥尾 倫子	小児科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
136	転移を導く臓器特異的リーディングセルの解明と微小転移環境リモデリングの制御	中村 雅史	第一外科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
137	3Dバイオプリンターを用いた膵癌微小環境モデルによる新たな浸潤・転移機序の可視化	中村 雅史	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
138	膵癌の新たな転移・再発機序の解明;膵管内播種に着目して	大塚 隆生	第一外科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
139	膵オルガノイドを用いたリーディングPSC誘導基底膜破壊機序解明と基底膜制御法開発	大内田 研宙	第一外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
140	膵癌進展・防御に関わる微小環境のphenotype switchingによる制御	大内田 研宙	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
141	個別化精密がん免疫療法開発を目的とした腫瘍組織からのネオアンチゲン解析	久保 真	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
142	膵癌転移微小環境におけるexosome誘導性pre-niche形成機序解明と改変	三好 圭	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
143	膵癌前癌病変周囲の間質細胞由来exosomeに着目したバイオマーカーの開発	宮坂 義浩	第一外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
144	大腸癌肝転移・腹膜播種におけるexosomeによる微小環境誘導メカニズムの解明	藤田 逸人	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
145	3D膵癌オルガノイドモデルを用いた新たな癌細胞死形態とそれに伴う浸潤機構の解明	森山 大樹	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
146	膵星細胞活性化におけるオートファジーを標的としたHIT化合物の同定とその評価	仲田 興平	第一外科	611 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
147	NGS解析による膵癌微小環境とゲノム不均一性の解明とその治療への応用	進藤 幸治	第一外科	611 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
148	大腸癌肝転移高危険群選別を目的とした門脈系エクソソーム中RNA・タンパク質解析	貞莉 良彦	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
149	包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌の高精度診断の具現化	森 正樹	第二外科	220 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
150	難治性消化器がんに対する核酸医療の臨床への展開	森 正樹	第二外科	149 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
151	がんのニオイ発生の分子機序解明と新しいがん診断法の開発	沖 英次	第二外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
152	消化管癌における免疫チェックポイント阻害剤の分子機序解明とがん免疫複合療法の開発	佐伯 浩司	第二外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
153	腹部大動脈瘤の成因究明ー動脈瘤壁の瘤化と老化制御遺伝子BubR1の発現との関連ー	古山 正	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
154	ストレス応答性転写因子による代謝リプログラミングを標的とした肝癌への革新的治療	伊藤 心二	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
155	胃癌のがん幹細胞を標的とした薬剤耐性獲得の分子機序の解明と新規治療の開発	中島 雄一郎	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
156	肝線維芽細胞による免疫細胞との相互作用と肝発癌のメカニズムの解明	間野 洋平	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
157	糖尿病に着目した腹部大動脈瘤の病態解析～DPP-4阻害薬の瘤形成抑制効果の検討～	森崎 浩一	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
158	調節性B細胞機能解明による肝移植後個別化免疫抑制療法の開発	内山 秀昭	第二外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
159	食道癌のがん幹細胞に着目した化学・放射線治療耐性の分子機序の解明と新規治療の開発	木村 和恵	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
160	肝細胞の代謝制御におけるオートファジーの意義-KO細胞の網羅的メタボローム解析	戸島 剛男	第二外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
161	肝発癌を促進する微小環境制御による革新的な癌治療法の開発・研究	本村 貴志	第二外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
162	ゲノム不安定性とEGFR発現解析に基づいた胃癌の新しい治療戦略	津田 康雄	第二外科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
163	細胞間情報伝達を司るエクソソームの動脈硬化に与える影響と治療への応用	松田 大介	第二外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
164	ゲノム情報に基づく肝移植後B型肝炎再発制御を目指した革新的治療戦略の構築	吉住 朋晴	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
165	肝細胞癌の発育進展に於けるオートファジー・ミトファジーの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
166	免疫抑制性酵素IDOに着目した悪性胸膜中皮腫に対する新規免疫療法の開発	田川 哲三	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
167	癌関連線維芽細胞分泌エクソソームを用いた肝癌の革新的治療法の確立	原田 昇	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
168	胸部悪性腫瘍に対するmTORを標的とした治療開発	小副川 敦	第二外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
169	消化器癌における効果的なリノリカン療法を目指したバイオマーカーおよび新薬の開発	安藤 幸滋	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
170	食道癌における新規薬物治療のターゲットとしての酸化的DNA損傷修復因子の意義	久保 信英	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
171	トリプルネガティブ乳癌における多様性の分子機序解明と新規治療への展開	山下 奈真	第二外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
172	ヒトiPS細胞由来肝細胞による肝不全に対する革新的治療法の開発・展開	武石 一樹	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
173	世界初抗癌剤のDNA取り込み量高感度測定法を利用したTFTD感受性機序の評価	中西 良太	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
174	肝移植後肝細胞癌再発に対する機序解明と革新的治療戦略の構築	吉屋 匠平	第二外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
175	乳癌を可視化するプローブ(gGlu-HMRG)を用いた術中迅速診断法の開発	上尾 裕紀	第二外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
176	高密度スキャフォールドフリー脂肪由来幹細胞構造体を用いた骨軟骨組織再生の実用化推進臨床研究	中島 康晴	整形外科	1,250 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
177	医師主導治験の実施の支援及び推進に関する研究/治験の実施に関する研究[ザルトプロフェン]	遠藤 誠	整形外科	350 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)、公益社団法人日本医師会治験促進センター受託研究費
178	肉腫における新規薬剤の耐性獲得機序の解明とその予防法の探索	遠藤 誠	整形外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
179	骨軟部腫瘍における薬剤感受性・耐性機構の解明に基づいた新規個別化薬物治療の開発	遠藤 誠	整形外科	90 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
180	骨軟部腫瘍に対する新規免疫療法の開発	遠藤 誠	整形外科	74 万円	補 公益財団法人 整形災害外科学研究助成財団

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
181	イメージマッチング法を用いた健常者、腱板断裂患者の肩関節3次元動態解析	小藺 直哉	整形外科	35 万円	補 公益財団法人 日本スポーツ治療医学研究会研究助成
182	Precision medicineによる、軟部肉腫の薬剤耐性克服法の開発	松本 嘉寛	整形外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
183	変形性関節症の早期病態に即した治療標的分子の探索	赤崎 幸穂	整形外科	481 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
184	破骨細胞のRNA結合タンパクMusashi2を標的とする骨粗鬆症治療の解明	藤原 稔史	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
185	Ewing肉腫におけるRNA結合タンパクMusashiの役割	藤原 稔史	整形外科	10 万円	補 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団
186	骨粗鬆症性大腿骨近位部骨折患者の術後長期QOLに及ぼす影響-北部九州多施設共同研究-	藤原 稔史	整形外科	50 万円	補 公益財団法人骨粗鬆症財団
187	AMED難治性疾患	藤原 稔史	整形外科	70 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
188	大腿骨頭壊死症における骨頭圧潰予防を目指した病態解析	本村 悟朗	整形外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
189	悪性骨軟部腫瘍におけるエリブリンメシル酸塩による低酸素環境の改善	薛 宇孝	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
190	脳卒中のLearning Healthcare Systemに関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	650 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
191	脳卒中の医療体制の整備のための研究	飯原 弘二	脳神経外科	630 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
192	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	1,500 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
193	脳卒中高リスク群を抽出する革新的な臨床診断意思決定システムの開発に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	1,199 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
194	新規バイオマーカーに基づく頭蓋内胚細胞腫瘍の革新的診断/治療システムの開発	空閑 太亮	脳神経外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
195	ペリサイトを標的としたナノカプセルによる脳梗塞新規治療の開発	有村 公一	脳神経外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
196	脳動脈瘤に対するNADPH oxidaseをターゲットとしたナノ粒子治療の開発	西村中	脳神経外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
197	ブレインマシーンインターフェイスを用いた手指リハビリシステムの開発	迎 伸孝	脳神経外科	300 万円	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)「革新的医療技術創出拠点プロジェクト」
198	神経膠腫におけるデジタルPCR法を用いたLiquid biopsyの確立	赤木 洋二郎	脳神経外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
199	大動脈弁ダイナミクスに着眼した僧帽弁輪縫縮用リングが組織可動性に与える影響の解析	塩瀬 明	心臓血管外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
200	特発性心筋症に関する調査研究	塩瀬 明 (分担)	心臓血管外科	35 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
201	植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	塩瀬 明 (分担)	心臓血管外科	20 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
202	大動脈手術における脊髄保護戦略:遅発性対麻痺に対するネウロプロテシスの検討	元松 祐馬	心臓血管外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
203	GSK-3およびオートファジー活性に着眼した新規心臓リモデリング抑制薬の開発	帯刀 英樹	心臓血管外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
204	力学的解析によるTAVI術中の脳塞栓発症予測モデルの開発	園田 拓道	心臓血管外科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
205	大規模ゲノム解析によるセラチアマルセスセンスの病原性および薬剤耐性獲得機構の解析	小野 友行	心臓血管外科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
206	GLP-1受容体作動薬による大動脈手術時の脊髄保護効果の検討	山下 慶之	心臓血管外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
207	ヒルシュスプルング病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発	田口 智章	小児外科	871 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
208	小児期からの移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	田口 智章	小児外科	3,557 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
209	ヒルシュスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	田口 智章	小児外科	567 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
210	疾患特異的歯髄幹細胞を用いたヒルシュスプルング病モデル腸管の作製及び機能解析	伊崎 智子	小児外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
211	自家細胞移植のための腸管神経節細胞僅少症患者由来乳歯幹細胞の遺伝学的機能的解析	吉丸 耕一郎	小児外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
212	突然変異抑制遺伝子MTH1の小児固形悪性腫瘍における発現解析と新規治療への応用	武本 淳吉	小児外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
213	高解像度画像システムを用いた小腸移植後拒絶反応の革新的診断法の開発	高橋 良彰	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
214	先天性横隔膜ヘルニアモデルマウス低形成肺に対する脱落乳歯歯髄幹細胞の有用性の検討	近藤 琢也	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
215	臨床応用へ向けたヒト乳歯歯髄幹細胞を用いた肝再生医療の基盤整備	林田 真	小児外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
216	客観的技術評価可能な内視鏡外科シミュレータによる次世代外科医育成システムの構築	神保 教広	小児外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
217	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆	皮膚科	20,971 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
218	新規IL-1サイトカインによる表皮バリア機能の制御	三苫 千景	皮膚科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
219	乾癬・アトピー性皮膚炎の病態におけるエンドセリン-1の役割の解明とその治療応用	中原 剛士	皮膚科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
220	エンドセリン-1のアトピー性皮膚炎における炎症やかゆみへの影響—その機序の解明—	中原 真希子	皮膚科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
221	アトピー性皮膚炎のバリア機能障害における芳香族炭化水素受容体とOVOL1の役割	辻 学	皮膚科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
222	IL-34のアトピー性皮膚炎における機能の検討	江崎 仁一	皮膚科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
223	免疫チェックポイント分子発現調節による樹状細胞能の変化と抗腫瘍効果に関する研究	立神 勝則	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
224	上部尿路がん早期発見を目的とした新規検査法の開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
225	ゲノムワイドSNPアレイによる転移性前立腺癌治療の個別化医療の確立と最適化	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
226	免疫チェックポイント阻害剤併用による新規膀胱内BCG注入療法の開発	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
227	腎周囲脂肪が腎細胞癌の発育・成長に及ぼす影響についての検討	柏木 英志	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
228	統合失調症の神経活動異常と神経免疫異常:相互メカニズムの解明に向けて	神庭 重信	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,365 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
229	血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用	神庭 重信	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,200 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
230	うつ病の病態に基づく層別化と神経回路調整による革新的診断・治療法開発	加藤 隆弘	精神科神経科	1,247 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
231	社会的ひきこもりの長期化打開のためのエビデンスに基づく家族向け教育支援モデルの構築	加藤 隆弘	精神科神経科	370 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
232	患者由来直接誘導ニューロン・グリア細胞による精神神経疾患の病態解明:橋渡し研究	加藤 隆弘	精神科神経科	1,417 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
233	神経グリア発達によるモチベーションの形成とその破綻・修復機構の解明	加藤 隆弘	精神科神経科	2,184 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
234	双極性障害に対するγ帯域同期性の包括的脳波研究	中村 一太	精神科神経科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
235	統合失調症の情動制御障害に関する神経同期活動異常の同定	平野 羊嗣	精神科神経科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
236	安静時機能的脳画像を用いたためこみ症の脳病態解明	中尾 智博	精神科神経科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
237	認知機能と脳画像、遺伝子の統合的解析による強迫性障害のエンドフェノタイプの解明	村山 桂太郎	精神科神経科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
238	久山町高齢住民における認知症の実態解明に関する横断・縦断研究	小原 知之	精神科神経科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
239	眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発	園田 康平	眼科	2,350 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
240	自然炎症局所制御による網膜前駆細胞誘導	園田 康平	眼科	650 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
241	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療の医師主導治験	池田 康博	眼科	4,810 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
242	自然リンパ球MAIT細胞の眼内炎症制御メカニズムの解明	長谷川 英一	眼科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
243	緑内障発症・進行リスクスコアの確立と個別化医療の基盤作成	藤原 康太	眼科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
244	エクソームシーケンスによる脂腺癌の発癌メカニズム解明	秋山 雅人	眼科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
245	長期追跡研究における糖尿病網膜症の時代的变化と新たな危険因子の検討:久山町研究	安田 美穂	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
246	網膜黄斑浮腫への硝子体中遊離ATPの関与とBBG投与による治療戦略	久富 智朗	眼科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
247	抗VEGF療法に依存しない糖尿病黄斑浮腫根治療法の開発	有馬 充	眼科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
248	形質転換を標的とした眼内線維増殖の予防的治療戦略の構築	石川 桂二郎	眼科	728 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
249	眼窩難治性疾患を対象とした新規ナビゲーションシステムの研究開発	田邊 美香	眼科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
250	加齢黄斑変性による線維瘢痕化の病態および治療研究	大島 裕司	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
251	Beyond VEGFのアンメットニーズ:線維化と虚血へのマクロファージ教育療法	中尾 新太郎	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
252	単球/マクロファージの活性制御による網膜色素変性に対する新規ナノ粒子治療薬の開発	村上 祐介	眼科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
253	国産新規ナノテクノロジーを用いた網膜色素変性に対する新規治療薬の開発	村上 祐介	眼科	270 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
254	側頭骨扁平上皮癌の網羅的組織解析に基づく新規統合的治療戦略の開発	中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	741 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
255	鼻・副鼻腔乳頭腫における癌化メカニズムの解明と予測マーカーの確立	安松 隆治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
256	頭頸部癌幹細胞の多分化能獲得におけるnon-coding RNAの役割	若崎 高裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
257	侵襲性を上げずに精度を上げるナビゲーション手術用リファレンスフレームの開発	松本 希	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
258	喉頭科学視点からの吃音治療の新戦略ー喉頭ファイバーとフォノグラムの同時計測ー	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
259	頭頸部扁平上皮癌の腫瘍内不均一性の解明	内 龍太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
260	Wntシグナルを介した聴神経再生の分子基盤の解明	野田 哲平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
261	唾液腺癌の浸潤・転移におけるERM蛋白と受容体型チロシンキナーゼの機能解析	橋本 和樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
262	バイオ3Dプリンタによるヒト脂肪幹細胞小口径血管の研究 研究課題	上菌 健一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
263	ラセン神経節神経幹細胞の増殖・分化制御機構の解明とその聴力再生への応用	安井 徹郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
264	耳内から聴取する音を利用した新しい評価方法の検討研究課題	山口 優実	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
265	頭頸部癌における循環腫瘍DNAを用いた Precision Medicineの確立	古後 龍之介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
266	側頭骨癌におけるインフラマソーム関連分子の網羅的解析による炎症性発癌機構の解明	小宗 徳孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
267	農薬の気道アレルギー増強作用の解明と新規標的分子の探索	久保 和彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
268	複層的アプローチによるラセン靱帯線維細胞の電気生理学的機能解析	吉田 崇正	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
269	画像診断ナショナルデータベース実現のために研究開発 (GAJJ300514)	本田 浩	放射線科	14,789 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
270	肺癌の個別化ゲノム医療に向けた定位放射線治療感受性のバイオマーカー探索	大賀 才路	放射線科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
271	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究(伊丹班)	大賀 才路	放射線科	41 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
272	幹細胞形質を有する胆道系腫瘍の形態学的特徴および生物学的悪性度の解明	浅山 良樹	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
273	320列面検出CT仮想展開像を用いた胃癌の多様性診断に関する研究	鶴丸 大介	放射線科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
274	PET/MRを用いた画素単位でのマルチパラメトリック解析:骨軟部腫瘍への応用	鷺山 幸二	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	Dual energy CT を用いた食道癌の新たな画像バイオマーカーの確立	西牟田 雄祐	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
276	食道癌ゲノム・エピゲノムの腫瘍内不均一性解析による化学放射線療法耐性機構の解明	平田 秀成	放射線科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
277	大動脈ステント留置後のエンドリークに対する新たな診断法とテーラーメイド治療の開発	牛島 泰宏	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
278	肝細胞機能、肝線維化および肝壊死炎症に対する新たな定量的MRI診断法の開発	高山 幸久	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
279	新たなMR-based pHイメージングの開発とoncologyへの臨床応用 研究課題	西江 昭弘	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
280	APTイメージングによる高悪性度グリオーマの治療モニタリングと予後因子の検討	梶尾 理 (分担)	放射線科	121 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
281	MRNとT2定量値の同時測定法を用いた新しい末梢神経疾患診断法の確立	樋渡 昭雄	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	18F-NaF PETによる前立腺癌骨転移の治療効果予測法の確立	北村 宜之	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
283	ラジオゲノミクス、定量的画像解析に基づく多角的な脳腫瘍診断法の開発	山下 孝二	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
284	マルチパラメトリックMRIを用いた慢性膵炎の早期診断法の確立	藤田 展宏	放射線科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
285	MRIによる慢性血栓塞栓性肺高血圧症の非侵襲的評価法の確立と左右肺血流特性の解明	山崎 誘三	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
286	免疫チェックポイント阻害薬の効果予測のための新たな画像診断法の確立	馬場 眞吾	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
287	乳腺腫瘍へのCESTイメージングの臨床応用と有用性の確立	神谷 武志	放射線科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
288	深層学習を用いた転移性脳腫瘍の予後予測と放射線治療方針決定システムの開発	吉武 忠正	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
289	APTイメージングを用いた卵巣嚢胞性病変の早期診断の有用性の確立	石松 慶祐	放射線科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
290	小児脳腫瘍のMultiparametric解析によるより高度な診断法の確立	菊地 一史	放射線科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
291	肝不全に対するファルネシルトランスフェラーゼ阻害薬及びスタチンの肝保護作用の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
292	シナプス前グリシン受容体の機能性の証明	住江 誠	麻酔科蘇生科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
293	術後痛に対する全身麻酔薬およびTRPチャネルの関与の検討	辛島 裕士	麻酔科蘇生科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
294	コホート・生体試料支援プラットフォーム	古庄 憲浩 (分担)	総合診療科	1,473 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
295	高齢者C型慢性肝炎における抗ウイルス療法完治後の肝癌発症機序の解明	古庄 憲浩	総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
296	C型肝炎ウイルスに対するDAA治療における腎関連分子学的及び免疫学的解析	小川 栄一	総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
297	HIV感染症診療の提供体制の評価及び完全のための研究	古庄 憲浩	総合診療科	10 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
298	医薬品等の安全対策のための医療情報データベースの利用拡大に向けた基盤整備に関する研究	康 東天	検査部	2,551 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
299	網羅的代謝変化解析による、ミトコンドリア異常疾患の病態解析とバイオマーカー探索	康 東天	検査部	1,287 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
300	老化・疾病をもたらすミトコンドリア機能障害を鋭敏に捕らえる手法の開発	松島 雄一	検査部	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
301	独自の進化を遂げた動物ミトコンドリアmRNAポリ(A)鎖の機能解析	松島 雄一	検査部	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
302	哺乳動物ミトコンドリアDNAの塩基修飾の解明～その生物学的意義の理解にむけて	安川 武宏	検査部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
303	ミトコンドリア依存的な代謝と肥満の分子メカニズムの解明	後藤 和人	検査部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
304	うつ病重症度や自殺願望を予測する新たな臨床検査法の確立	瀬戸山 大樹	検査部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
305	ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索	八木 美佳子	検査部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
306	肝臓発現分泌蛋白のシグナルペプチド内サイレント変異と病態との関連性の解明	松本 信也	検査部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
307	RNA修飾であるPoly(A)を活用したミトコンドリア機能検査法の確立と臨床応用	相原 正宗	検査部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
308	超高精細CTを用いた梗塞心筋の微小血管側副路の検出	小島 幸	放射線部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
309	Evaluation of Uncertainty and PTV Margins in Image-guided Target-based Patient Positioning for Prostate Cancer	廣瀬 貴章	放射線部	25 万円	補 公益社団法人 日本放射線腫瘍学会
310	GagCESTイメージングを用いた膝関節軟骨変性の評価	和田 達弘	放射線部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
311	少量造影剤でのCT-Angiographyと至適撮影タイミング予測法の確立	白坂 崇	放射線部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
312	医用LCDの経時的な性能低下は肺がんの検出に影響を与えるか?	高橋 慶多	放射線部	30 万円	補 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団
313	逐次近似再構成に最適な撮像パラメータの検討	近藤 雅敏	放射線部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
314	炎症性筋線維芽細胞腫瘍の新規融合遺伝子の同定と機能の解明	山元 英崇	病理診断科・病理部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
315	卵巣未熟奇形腫の分子遺伝学的解析	大石 善丈	病理診断科・病理部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
316	癌腫の肉腫様変化におけるSWI/SNF型クロマチン再構成因子の関与と治療戦略	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
317	融合遺伝子を標的とした肉腫治療のための基礎研究	山田 裕一	病理診断科・病理部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
318	エナメル質形成における分子シャペロンGRP78の関与	永田 健吾	病理診断科・病理部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
319	メカノセンサーを基盤とした歯の発生メカニズムの解明	和田 裕子	病理診断科・病理部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
320	Arl4cを標的とした核酸医薬による口腔がんの新規分子標的治療法の開発	藤井 慎介	病理診断科・病理部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
321	Piezol1による抗腫瘍効果を活用した次世代型口腔癌治療薬の開発を目指して	長谷川 佳那	病理診断科・病理部	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
322	認知症病理の数理形態学的解析と危険因子の同定	岩城 徹	病理診断科・病理部	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
323	各種プリオン病の全身臓器における異常プリオン蛋白検出と意義	本田 裕之	病理診断科・病理部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
324	MID-NETを用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のためのデータ標準化の普及に関する研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	815 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
325	医療情報の標準化・品質管理センター機能構築に関する業務委託	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,450 万円	委 厚生労働省
326	患者由来気道上皮細胞を用いた閉塞性肺疾患におけるウイルス感染遷延化機序の解明	神尾 敬子	光学医療診療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
327	human metapneumovirus感染症における疾患特異的宿主因子の解明:慢性閉塞性肺疾患(COPD)とheat shock protein 90	神尾 敬子	光学医療診療部	100 万円	補 公益財団法人 MSD生命科学財団
328	multiplex PCR法を用いた、慢性閉塞性肺疾患および気管支喘息の急性増悪とhuman metapneumovirus感染症との関連性の検討	神尾 敬子	光学医療診療部	50 万円	補 公益財団法人 臨床研究奨励基金
329	multiplex PCR法を用いた、気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患の急性増悪とhuman metapneumovirus感染症との関連性の検討	神尾 敬子	光学医療診療部	100 万円	補 一般社団法人 日本アレルギー学会
330	橋渡し研究戦略的推進プログラム「地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	18,569 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
331	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	28,097 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
332	ARO機能評価事業「ポジショニング分析および経験則分析によるARO機能類型化・評価指標創出のための調査研究」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	3,900 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
333	mTOR阻害薬を活用した臓器移植後の腎保護指向型免疫抑制療法の開発	増田 智先	薬剤部	689 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
334	がん化学療法における痛みと睡眠に関する包括的研究	江頭 伸昭	薬剤部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
335	肺癌治療に伴う薬物性腎障害早期発見のための非侵襲尿中バイオマーカーの探索	渡邊 裕之	薬剤部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
336	移植肝の遺伝的背景に着目した拒絶反応回避に関する新規分子機構の探索	田島 壮一郎	薬剤部	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
337	小児・新生児における抗MRSA薬の個別化投与法の確立	山田 孝明	薬剤部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
338	新規抗MRSA薬におけるTDMの有用性評価と至適投与のためのノモグラムの構築	山田 孝明	薬剤部	27 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
339	機械学習技術を用いた医薬品の投与量チェックシステムの構築と実臨床への応用	永田 健一郎	薬剤部	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
340	アプレピタントの体内動態及び薬効解析による戦略的個別化投与設計理論の確立	勝部 友理恵	薬剤部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
341	肺癌経口分子標的薬の個別化投与設計法構築に関する研究	土谷 祐一	薬剤部	53 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金
342	薬剤師の行動心理に基づく調剤エラーのメカニズム解明と実臨床への応用	辻 敏和	薬剤部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
343	肝移植患者における術後拒絶反応の個人差克服を目指した新規分子機序の解明	山本 奈々絵	薬剤部	193 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
344	中南米における早期胃癌診断率向上のための継続的遠隔医療教育システムの構築	清水 周次	国際医療部	806 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A) 海外学術調査
345	酸化ストレスからみた口唇裂口蓋裂発症機序解明と予防法の開発	加藤 大樹	小児歯科・ スペシャルニーズ歯科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
346	ヒト脱落乳歯由来幹細胞を用いた自閉症治療法の開拓	高山 扶美子	小児歯科・ スペシャルニーズ歯科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
347	ヒト乳歯幹細胞を基盤とした新規アンチエイジング機構の解明	山座 治義	小児歯科・ スペシャルニーズ歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
348	トランスクリプトーム解析に基づく歯の運命決定因子の同定とその応用	吉崎 恵悟	矯正歯科	819 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
349	iPS細胞を用いた3次元的歯根膜作製法の確立と人工歯根開発への応用	前田 英史	歯内治療科	754 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
350	iPS由来神経堤細胞によるバイオミメティクスに基づいた新規歯周組織再生療法の開発	友清 淳	歯内治療科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
351	iPS創薬とゲノム創薬の融合による歯根膜幹細胞賦活化物質の創出と再生医療への応用	友清 淳	歯内治療科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
352	歯根端切除後の周囲組織の治癒を促す神経ペプチドの同定	橋口 勇	歯内治療科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
353	3Dプリンターを用いた歯内治療シミュレーションシステムの創出	後藤 康治	歯内治療科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
354	広範囲の欠損修復を可能とする生体親和性良好な新規直接覆髄剤の開発	吉田 晋一郎	歯内治療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
355	Activin Aの選択的分化誘導能を応用した新規歯周組織再生療法の開発	杉井 英樹	歯内治療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
356	歯周医学の新展開～歯周炎症とエネルギー代謝の連関	西村 英紀	歯周病科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
357	炎症の収束と組織リモデリングを誘導する次世代歯周組織再生治療法の構築	讃井 彰一	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
358	歯肉幹細胞由来エクソソームを用いた新規歯周病治療の開発	福田 隆男	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
359	歯肉増殖症におけるカテプシンの役割の解明～多様なカテプシンKOマウスを用いた検討	山下 明子	歯周病科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
360	歯周病を合併したインスリン抵抗性関連疾患における補体分子C3bの役割の解明	岩下 未咲	歯周病科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
361	アメロジェニンの炎症制御機序の解明ーマクロファージM2極性化の観点から	田中 麗	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
362	新規アメロジェニン会合分子Grp78 を標的とした新規歯周組織再生治療薬の開発	豊田 敬介	歯周病科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
363	抗炎症miRNA内包エクソソームを用いた肥満糖尿病性歯周炎の新規治療法の開発	佐野 朋美	歯周病科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
364	膝β細胞Xaf-1が膝島機能および歯周組織に及ぼす影響の解明	鶴田 満大	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
365	脂肪組織由来CtBが歯周炎に及ぼす影響の解明	松永 紘明	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
366	デンタルインターフェイスにおける応力ーセルシグナル変換の解明と個体差医療への展開	古谷野 潔	義歯補綴科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
367	未分化間葉系幹細胞を用いた力を起因とする歯科疾患の超早期自律診断と予防治療の開発	鮎川 保則	義歯補綴科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
368	MEMSを用いた口腔内モニタリングによるインプラントリスク診断システムの開発	松下 恭之	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
369	過硝酸溶液を用いた新規殺菌方法のインプラント周囲炎治療法への応用	江崎 大輔	義歯補綴科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
370	薬剤関連顎骨壊死の治療と予防を目指した間葉系幹細胞の新規投与法	熱田 生	義歯補綴科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
371	骨細胞の咬合力応答に着目したインプラント周囲骨代謝バランスの解明	富田 陽子	義歯補綴科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
372	オーバーデンチャーによる補綴治療が片側臼歯部欠損患者の偏咀嚼に与える影響の検討	山崎 陽	義歯補綴科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
373	骨質劣化がもたらすインプラント周囲骨リモデリング破綻機序の解明と予防策の考案	森山 泰子	義歯補綴科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
374	新規三次元培養技術の再生医療への応用	古橋 明大	義歯補綴科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
375	IgG4関連疾患の病因解明とマウス疾患モデルの作製による検証	中村 誠司	顎口腔外科	1,274 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
376	HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態解明に向けた免疫学的検討	中村 誠司 (分担)	顎口腔外科	10 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
377	IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	中村 誠司	顎口腔外科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
378	自己免疫疾患に関する調査研究	中村 誠司	顎口腔外科	50 万円	補 厚生労働科学研究費補助金

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
379	IgG4関連疾患の新規バイオマーカーと治療ターゲット開発に関する研究	中村 誠司	顎口腔外科	170 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
380	癌の微小環境構築に関わるkey regulatorを標的とした新しい癌治療戦略	川野 真太郎	顎口腔外科	715 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
381	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	梯 裕恵	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
382	Toll様受容体を標的としたシェーグレン症候群の新規治療戦略	森山 雅文	顎口腔外科	650 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
383	日米共同研究によるIgG4関連疾患の国際的疾患概念の構築と新規診断法への展開	森山 雅文	顎口腔外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
384	HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態解明に向けた免疫学的検討	森山 雅文 (分担)	顎口腔外科	10 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
385	遺伝子間相互作用解析を活用した口唇口蓋裂疾患感受性遺伝子の解明	新井 伸作	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
386	口腔癌の発生と浸潤・転移に関わる上皮間葉転換の制御因子 Δ Np63の分子機構の解明	松原 良太	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
387	IgG4関連疾患の病因解明と新規治療戦略 -特異なT・B細胞を標的として-	前原 隆	顎口腔外科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
388	乳歯歯髄幹細胞培養上清を用いた放射性唾液腺障害治療への応用	緒方 謙一	顎口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
389	口腔扁平上皮癌の転移におけるWnt5a-Ror2シグナル経路の関与	坂本 泰基	顎口腔外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
390	口腔扁平上皮癌の Δ Np63 β を介したEMTにおけるmiR-205の役割について	橋口 有真	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
391	Keratin17による抗アポトーシス機構を介した口腔癌新規治療薬開発を目指して	三上 友理恵	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
392	口腔扁平苔癬の病態進展における上皮-樹状細胞ネットワーク機構の解明	山内 昌樹	顎口腔外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
393	決定木(decision tree)を使用した診断学習システムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
394	超音波エラストグラフィを用いた損傷定量化による唾液腺疾患の非侵襲的診断法の確立	清水 真弓	口腔画像診断科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
395	統計学modelを用いた拡散情報と薬物動態解析の総合評価 頭頸部への応用	筑井 徹	口腔画像診断科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
396	Dual Energy CTを用いた顎顔面領域腫瘍の薬物動態解析	北本 江梨奈	口腔画像診断科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)

小計18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
397	レーザー光・紫外線LED等を用いた新たな歯科疾患診断・治療機器の開発に関する研究	和田 尚久	口腔総合診療科	30 万円	補	長寿医療研究開発費
398	癌治療患者に発症する味覚異常のメカニズムの解明と治療法の開発	山添 淳一	口腔総合診療科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
399	P. gingivalis バイオフィルム剥離に関わる新規プロテアーゼの解明	原口 晃	口腔総合診療科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
400	歯周組織における仮足形成関連因子の発現・機能解析と制御機構の解明	祐田 明香	口腔総合診療科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
401	心不全治療を変革する多機能血行動態モニタ	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	2,677 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
402	中等度以上の睡眠呼吸障害患者での持続陽圧呼吸器と口腔内装置の治療効果の客観的比較	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計6件

合計 402 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	Yoshimitsu M, Tanosaki R, Kato K, et al.	第一内科	Risk Assessment in Adult T Cell Leukemia/Lymphoma Treated with Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant. 2018 Apr;24(4):832-839.	Original Article
2	Kawamoto K, Miyoshi H, Suzuki T, et al.	第一内科	A distinct subtype of Epstein-Barr virus-positive T/NK-cell lymphoproliferative disorder: adult patients with chronic active Epstein-Barr virus infection-like features.	Haematologica. 2018 Jun;103(6):1018-1028.	Original Article
3	Ogata M, Takano K, Moriuchi Y, et al.	第一内科	Effects of Prophylactic Foscarnet on Human Herpesvirus-6 Reactivation and Encephalitis in Cord Blood Transplant Recipients: A Prospective Multicenter Trial with an Historical Control Group.	Biol Blood Marrow Transplant. 2018 Jun;24(6):1264-1273.	Original Article
4	Ohmachi K, Ando K, Kinoshita T, et al.	第一内科	Safety, tolerability and pharmacokinetics of shorter duration of infusion of obinutuzumab in Japanese patients with B-cell non-Hodgkin lymphoma: final results of the phase II GATS study.	Jpn J Clin Oncol. 2018 Aug 1;48(8):736-742.	Original Article
5	Kamiunten A, Sekine M, Kameda T, et al.	第一内科	Outcome of allogeneic hematopoietic cell transplantation in patients with adult T-cell leukemia.	Hematol Oncol. 2018 Oct;36(4):651-655.	Original Article
6	Shimono J, Miyoshi H, Yoshida N, et al.	第一内科	Analysis of GNA13 Protein in Follicular Lymphoma and its Association With Poor Prognosis.	Am J Surg Pathol. 2018 Nov;42(11):1466-1471.	Original Article
7	Sugio T, Miyawaki K, Kato K, et al.	第一内科	Microenvironmental immune cell signatures dictate clinical outcomes for PTCL-NOS.	Blood Adv. 2018 Sep 11;2(17):2242-2252.	Original Article
8	Mori Y, Yoshimoto G, Nishida R, et al.	第一内科	Gastrointestinal Graft-versus-Host Disease Is a Risk Factor for Postengraftment Bloodstream Infection in Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplant Recipients.	Biol Blood Marrow Transplant. 2018 Nov;24(11):2302-2309.	Original Article
9	Yoshimoto G, Mori Y, Kato K, et al.	第一内科	Human Herpes Virus-6-Associated Encephalitis/Myelitis Mimicking Calcineurin Inhibitor-Induced Pain Syndrome in Allogeneic Stem Cell Transplantation Recipients.	Biol Blood Marrow Transplant. 2018 Dec;24(12):2540-2548.	Original Article
10	Uchida M, Nakamura T, Makihara Y, et al.	第一内科	Comparison of antiemetic effects of granisetron and palonosetron in patients receiving bendamustine-based chemotherapy.	Pharmazie. 2018 May 1;73(5):304-308.	Original Article
11	Kato K, Uike N, Wake A, et al.	第一内科	The outcome and characteristics of patients with relapsed adult T cell leukemia/lymphoma after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Hematol Oncol. 2019 Feb;37(1):54-61.	Original Article
12	Sasaki K, Mori Y, Yoshimoto G, et al.	第一内科	Successful treatment of Ph ALL with hematopoietic stem cell transplantation from the same HLA-haploidentical related donor of previous liver transplantation.	Leuk Lymphoma. 2018 Aug;59(8):2005-2007.	Case report
13	Fuji S, Kato K, Nakano N, et al.	第一内科	Pre- and posttransplant use of mogamulizumab in patients with aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma: A statement from key opinion leaders in Japan.	Adv Cell Gene Ther. 2018 May 1: e5	Review
14	Morschhauser F, Fowler NH, Feugier P, et al.	第一内科	Rituximab plus Lenalidomide in Advanced Untreated Follicular Lymphoma.	N Engl J Med. 2018 Sep 6;379(10):934-947.	Original Article
15	Horwitz S, O'Connor OA, et al.	第一内科	Brentuximab vedotin with chemotherapy for CD30-positive peripheral T-cell lymphoma (ECHELON-2): a global, double-blind, randomised, phase 3 trial.	Lancet. 2019 Jan 19;393(10168):229-240.	Original Article

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
16	Schuster SJ, Bishop MR, Tam CS et al.;	第一内科	Tisagenlecleucel in Adult Relapsed or Refractory Diffuse Large B-Cell Lymphoma.	N Engl J Med. 2019 Jan 3;380(1):45-56.	Original Article
17	Maruyama T, Fukata M, Akashi K.	第一内科	Association of atrial fibrillation and gastroesophageal reflux disease: Natural and therapeutic linkage of the two common diseases.	J Arrhythm. 2018 Oct 12;35(1):43-51.	Review
18	Takayoshi K, Kusaba H, Aikawa T, et al.	第一内科	Hypoalbuminemia for the prediction of venous thromboembolism and treatment of direct oral anticoagulants in metastatic gastric cancer patients.	Gastric Cancer. 2019 Feb 20.	Original Article
19	Yasuda S, Fukata M, Yokoyama T, et al.	第一内科	Sick Sinus Syndrome Observed in a Patient with Cholinesterase Deficiency.	Intern Med. 2019 Mar 15;58(6):809-812.	Case report
20	Sumi A, Iwase M, Nakamura U, et al.	第二内科	Impact of age at menarche on obesity and glycemic control in Japanese patients with type 2 diabetes: Fukuoka Diabetes Registry.	J Diabetes Investig. 2018 Sep; 9(5): 1216-1223.	Original Article
21	Nakano T, Katsuki S, Chen M, et al	第二内科	Uremic Toxin Indoxyl Sulfate Promotes Proinflammatory Macrophage Activation Via the Interplay of OATP2B1 and Dll4-Notch Signaling.	Circulation. 2019 Jan 2;139(1):78-96.	Original Article
22	Yamada S, Tokumoto M, Taniguchi M, et al	第二内科	Use of phosphate binder and risk of infection-related and all-cause mortality in patients undergoing maintenance hemodialysis; The Q-Cohort Study.	Sci Rep. 2018; 8: 11387. Published online 2018 Jul 30.	Original Article
23	Matsukuma Y, Tanaka S, Taniguchi M, et al	第二内科	Association of geriatric nutritional risk index with infection-related mortality in patients undergoing hemodialysis: The Q-Cohort Study.	Clin Nutr. 2019 Feb;38(1):279-287.	Original Article
24	Furuta Y, Hata J, Mukai N, et al	第二内科	Secular trends in the incidence, risk factors, and prognosis of transient ischemic attack in Japan: The Hisayama Study.	Atherosclerosis. 2018 Jun;273:84-90.	Original Article
25	Iida M, Ikeda F, Hata J, et al	第二内科	Development and validation of a risk assessment tool for gastric cancer in a general Japanese population.	Gastric Cancer. 2018 May;21(3):383-390.	Original Article
26	Yubi T, Hata J, Ohara T, et al	第二内科	Author response: Prevalence of and risk factors for cerebral microbleeds in a general Japanese elderly community.	Neurol Clin Pract. 2018 Dec;8(6):464-465.	Original Article
27	Fujiwara K, Yasuda M, Hata J, et al	第二内科	Prevalence and Risk Factors for Polypoidal Choroidal Vasculopathy in a General Japanese Population: The Hisayama Study.	Semin Ophthalmol. 2018 Aug;33(6):813-819.	Original Article
28	Ohara T, Honda T, Hata J, et al	第二内科	Association Between Daily Sleep Duration and Risk of Dementia and Mortality in a Japanese Community.	J Am Geriatr Soc. 2018 Oct;66(10):1911-1918.	Original Article
29	Tanaka S, Ninomiya T, Katafuchi R, et al	第二内科	Secular trends in the incidence of end-stage renal disease and its risk factors in Japanese patients with immunoglobulin A nephropathy.	Nephrol Dial Transplant. 2018 Jun 1;33(6):963-971.	Original Article
30	Ohkuma T, Ninomiya T, Tomiyama H, et al	第二内科	Ankle-brachial index measured by oscillometry is predictive for cardiovascular disease and premature death in the Japanese population: An individual participant data meta-analysis.	Atherosclerosis. 2018 Aug;275:141-148.	Original Article
31	Ohara T, Hata J, Tanaka M, et al	第二内科	Serum Soluble Triggering Receptor Expressed on Myeloid Cells 2 as a Biomarker for Incident Dementia: The Hisayama Study.	Ann Neurol. 2019 Jan;85(1):47-58.	Original Article
32	Tanaka S, Ninomiya T, Hiymuta H, et al	第二内科	Apparent Treatment-Resistant Hypertension and Cardiovascular Risk in Hemodialysis Patients: Ten-Year Outcomes of the Q-Cohort Study.	Sci Rep. 2019 Jan 31;9(1):1043.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
33	Ohashi T, Kato M, Yamasaki A, et al.	第三内科	Effects of high fructose intake on liver injury progression in high fat diet induced fatty liver disease in ovariectomized female mice.	Food Chem Toxicol. 2018 Aug;118:190-197.	Original article
34	Yasunaga K, Ito T, Miki M. et al	第三内科	Using CRISPR/Cas9 to Knock out Amylase in Acinar Cells Decreases Pancreatitis-Induced Autophagy.	Biomed Res Int 87:19397, 2018 May.	Original Article
35	Miki M, Fujimori N, Oono T. et al	第三内科	Relapse patterns and predictors of IgG4-related diseases involved with autoimmune pancreatitis: A single-center retrospective study of 115 patients.	J Dig Dis. 2019 Mar;20(3):152-158.	Original Article
36	Fukaura K, Ihara E, Ogino H, et al.	第三内科	Mucosally Expressed Cytokines are Associated with the Esophageal Motility Function.	Digestion. 2018 Apr;98(2):95-103.	Original Article
37	Iwasa T, Nakadate R, Onogi S, et al.	第三内科	A new robotic-assisted flexible endoscope with single-hand control: endoscopic submucosal dissection in the ex vivo porcine stomach.	Surg Endosc. 2018 Jul;32(7):3386-3392.	Original Article
38	Esaki M, Suzuki S, Hayashi Y, et al.	第三内科	Propensity score-matching analysis to compare clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in the postoperative and non-operative stomachs.	BMC Gastroenterol. 2018 Aug 6;18(1):125.	Original Article
39	Mukaino A, Minami H, Isamoto H, et al.	第三内科	Anti-ganglionic AChR antibodies in Japanese patients with motility disorders.	J Gastroenterol. 2018 Dec;53(12):1227-1240.	Original Article
40	Hayashi Y, Esaki M, Suzuki, et al.	第三内科	Clutch Cutter knife efficacy in endoscopic submucosal dissection for early gastric neoplasms.	World J Gastrointest Oncol. 2018 Dec 15;10(12):487-495.	Original Article
41	Miyazaki T, Aishima S, Fujino M, et al.	第三内科	Neuroendocrine tumor of the pancreas with rhabdoid feature.	Virchows Arch. 2018 Aug;473(2):247-252.	Review
42	Sato T, Akahoshi K, Tomoeda N, et al.	第三内科	Leiomyosarcoma of the stomach treated by endoscopic submucosal dissection.	Clin J Gastroenterol. 2018 Aug;11(4):291-296.	Case report
43	Minoda Y, Komori K, Naruo R, et al.	第三内科	Recovery technique using a double scope to rescue failed primary endoscopic ligation.	Endoscopy. 2018 Sep;50(9):E244-E245.	Case report
44	S Yano, K Ashida, H Nagata et al	第三内科	Nivolumab-induced thyroid dysfunction lacking antithyroid antibody is frequently evoked in Japanese patients with malignant melanoma.	BMC Endocr Disord. 2018 Jun 8;18(1):36.	Original Article
45	M Abe, N Shivappa, H Ito et al	第三内科	Dietary inflammatory index and risk of upper aerodigestive tract cancer in Japanese adults.	Oncotarget. 2018 May 8;9(35):24028-24040.	Original Article
46	C Sakaguchi, K Ashida, K Kohashi et al	第三内科	A case of autonomous cortisol secretion in a patient with subclinical Cushing's syndrome, GNAS mutation, and paradoxical cortisol response to dexamethasone.	BMC Endocr Disord. 2019 Jan 22;19(1):13.	Case report
47	M. Tsuda, M. Shiratsuchi, Y. Nakashima et al	第三内科	Upshaw-Schulman syndrome diagnosed during pregnancy complicated by reversible cerebral vasoconstriction syndrome.	Transfus Apher Sci. 2018 Dec;57(6):790-792.	Case report
48	J. Kiyasu, F. Arakawa, S. Haji et al	第三内科	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorders with angioimmunoblastic T-cell lymphoma-like features accompanied by gamma-heavy chain disease in a patient with rheumatoid arthritis.	Pathol Int. 2018 Jul 10.	Case report
49	T. Narazaki, S. Haji, Y. Nakashima et al	第三内科	Acquired hemophilia A associated with autoimmune pancreatitis with serum IgG4 elevation.	Int J Hematol. 2018 Sep;108(3):335-338.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
50	Oka.T,Tanahashi T,Sudo.N他	心療内科	Changes in fatigue, autonomic functions, and blood biomarkers due to sitting isometric yoga in patients with chronic fatigue syndrome.	Biopsychosoc Med. 2018 Apr 10;12:3.	Original Article
51	Yamashita K, Uehara T, Prawiroharjo P, et al	脳神経内科	Functional connectivity change between posterior cingulate cortex and ventral attention network relates to the impairment of orientation for time in Alzheimer's disease patients.	Brain Imaging Behav. 2019 Feb;13(1):154-161.	Original Article
52	Maimaitijiang G, Shinoda K, Nakamura Y, et al	脳神経内科	Association of Decreased Percentage of $V\delta 2+V\gamma 9+ \gamma \delta$ T Cells With Disease Severity in Multiple Sclerosis.	Front Immunol. 2018 Apr 10;9:748.	Original Article
53	Watanabe M, Shiraishi W, Yamasaki R, et al	脳神経内科	Oral phase dysphagia in facial onset sensory and motor neuronopathy.	Brain Behav. 2018 Jun;8(6):e00999.	Original Article
54	Fujita A, Yamaguchi H, Yamasaki R, et al	脳神経内科	Connexin 30 deficiency attenuates A2 astrocyte responses and induces severe neurodegeneration in a 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine hydrochloride Parkinson's disease animal model.	J Neuroinflammation. 2018 Aug 13;15(1):227.	Original Article
55	Nakamura Y, Gaetano L, Matsushita T, et al	脳神経内科	A comparison of brain magnetic resonance imaging lesions in multiple sclerosis by race with reference to disability progression.	J Neuroinflammation. 2018 Sep 5;15(1):255.	Original Article
56	Hashimoto Y, Ogata H, Yamasaki R, et al	脳神経内科	Chronic Inflammatory Demyelinating Polyneuropathy With Concurrent Membranous Nephropathy: An Antiparaneuronal and Podocyte Protein Antibody Study and Literature Survey.	Front Neurol. 2018 Nov 27;9:997.	Original Article
57	Fang M, Yamasaki R, Li G, et al	脳神経内科	Connexin 30 Deficiency Attenuates Chronic but Not Acute Phases of Experimental Autoimmune Encephalomyelitis Through Induction of Neuroprotective Microglia.	Front Immunol. 2018 Nov 7;9:2588.	Original Article
58	Kobayakawa Y, Masaki K, Yamasaki R, et al	脳神経内科	Downregulation of Neuronal and Dendritic Connexin36-Made Electrical Synapses Without Glutamatergic Axon Terminals in Spinal Anterior Horn Cells From the Early Stage of Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Front Neurosci. 2018 Nov 28;12:894.	Original Article
59	Cui YW, Masaki K, Zhang X, et al	脳神経内科	A novel model for treatment of hypertrophic pachymeningitis.	Ann Clin Transl Neurol. 2019 Jan 15;6(3):431-444.	Original Article
60	Zhang X, Fujii T, Ogata H, et al	脳神経内科	Cerebrospinal fluid cytokine/chemokine/growth factor profiles in idiopathic hypertrophic pachymeningitis.	J Neuroimmunol. 2019 May 15;330:38-43. Epub 2019 Feb 13.	Original Article
61	Saitoh B, Yamasaki R, Hiwatashi A, et al	脳神経内科	Discriminative clinical and neuroimaging features of motor-predominant hereditary diffuse leukoencephalopathy with axonal spheroids and primary progressive multiple sclerosis: A preliminary cross-sectional study.	Mult Scler Relat Disord. 2019 Mar 12;31:22-31.	Original Article
62	Hayashi F, Hayashi S, Matsuse D, et al	脳神経内科	Hopkins syndrome following the first episode of bronchial asthma associated with enterovirus D68: a case report.	BMC Neurol. 2018 May 23;18(1):71.	Case report
63	Tanaka K, Matsumoto S, Yamada T, et al.	脳神経内科	Elevated end-diastolic ratio of the common carotid artery due to cerebral arteriovenous malformation: Two case reports.	Radiol Case Rep. 2018 Jul 13;13(4):917-920.	Case report
64	Shinoda K, Matsushita T, Nakamura Y, et al	脳神経内科	HLA genotype and cortical lesions: Response to the letter from Spencer et al.	Mult Scler. 2018 May;24(6):819-820.	Review
65	Fujii T, Yamasaki R, Kira J	脳神経内科	A Novel Autoantibody against Plexin D1 in Patients with Neuropathic Pain.	Ann Neurol. 2018 Aug;84(2):208-224.	Review
66	Kira J, Yamasaki R, Ogata H	脳神経内科	Anti-neurofascin autoantibody and demyelination.	Neurochem Int. 2018 Dec 22. pii: S0197-0186(18)30433-9.	Review

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
67	Fujiwara M, Matoba T, Koga J-I, et al.	循環器内科	Nanoparticle incorporating Toll-like receptor 4 inhibitor attenuates myocardial ischaemia-reperfusion injury by inhibiting monocyte-mediated inflammation in mice.	Cardiovasc Res. 2019 Mar;115(7)	Original Article
68	Honda K, Matoba T, Antoku Y, et al.	循環器内科	Lipid-Lowering Therapy With Ezetimibe Decreases Spontaneous Atherothrombotic Occlusions in a Rabbit Model of Plaque Erosion: A Role of Serum Oxysterols.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2018 Apr;38(4):757-771.	Original Article
69	Ide T, Ohtani K, Higo T, et al.	循環器内科	Ivabradine for the Treatment of Cardiovascular Diseases.	Circ J. 2019 Jan 25;83(2):252-260.	Review
70	Matoba T, Kohro T, Fujita H, et al.	循環器内科	Architecture of the Japan Ischemic Heart Disease Multimodal Prospective Data Acquisition for Precision Treatment (J-IMPACT) System.	Int Heart J. 2019 Mar 20;60(2):264-270.	Original Article
71	Tokutome M, Matoba T, Nakano Y, et al.	循環器内科	Peroxisome proliferator-activated receptor-gamma targeting nanomedicine promotes cardiac healing after acute myocardial infarction by skewing monocyte/macrophage polarization in preclinical animal models.	Cardiovasc Res. 2019 Feb 1;115(2):419-431.	Original Article
72	Tsutsui H	循環器内科	Heart Failure Practice in Japan: Successful at Present, but Challenging in the Future.	J Card Fail. 2019 Mar;25(3):145-146. 6	Others
73	Yoshida K, Abe K, Tanaka M, et al.	循環器内科	Inhibition of TLR9-NF- κ B-mediated sterile inflammation improves pressure overload-induced right ventricular dysfunction in rats.	Cardiovasc Res. 2019 Mar 1;115(3):658-668.	Original Article
74	Ogata H, Hirakawa Y, Matsumoto K, et al.	呼吸器科	Trends in the prevalence of airflow limitation in a general Japanese population: two serial cross-sectional surveys from the Hisayama Study.	BMJ Open. 2019; 9(3): e023673. Epub 2019 Mar 20	Original Article
75	Iwama E, Sakai K, Azuma K, et al.	呼吸器科	Exploration of resistance mechanisms for epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors based on plasma analysis by digital polymerase chain reaction and next-generation sequencing.	Cancer Sci. 2018 Dec; 109(12): 3921-3933.	Original Article
76	Kimura S, Tanaka K, Harada T, et al.	呼吸器科	Sensitivity of epidermal growth factor receptor with single or double uncommon mutations to afatinib confirmed by a visual assay.	Cancer Sci. 2018 Nov;109(11):3657-3661.	Original Article
77	Tanaka K, Yanagihara T, Ikematsu Y, et al.	呼吸器科	Detection of identical T cell clones in peritumoral pleural effusion and pneumonitis lesions in a cancer patient during immune-checkpoint blockade.	Oncotarget. 2018 Jul 17;9(55):30587-30593.	Original Article
78	Mikumo H, Yanagihara T, Hamada N, et al.	呼吸器科	An autopsy case of bird-related chronic hypersensitivity pneumonitis presenting with repeated acute exacerbation.	Respir Med Case Rep. 2018 May 3;24:92-94.	Case report
79	Tanaka K, Martinez GJ, Yan X, et al.	呼吸器科	Regulation of Pathogenic T Helper 17 Cell Differentiation by Steroid Receptor Coactivator-3.	Cell Rep. 2018 May 22;23(8):2318-2329.	Original Article
80	Otsubo K, Okamoto I, Hamada N, et al.	呼吸器科	Anticancer drug treatment for advanced lung cancer with interstitial lung disease.	Respir Investig. 2018 Jul;56(4):307-311.	Review
81	Kimura S, Harada T, Ijichi K, et al.	呼吸器科	Expression of brain-derived neurotrophic factor and its receptor TrkB is associated with poor prognosis and a malignant phenotype in small cell lung cancer.	Lung Cancer. 2018 Jun;120:98-107.	Original Article
82	Shibahara D, Tanaka K, Iwama E, et al.	呼吸器科	Intrinsic and Extrinsic Regulation of PD-L2 Expression in Oncogene-Driven Non-Small Cell Lung Cancer.	J Thorac Oncol. 2018 Jul;13(7):926-937.	Original Article
83	Yoneshima Y, Ijichi K, Anai S, et al.	呼吸器科	PD-L1 expression in lung adenocarcinoma harboring EGFR mutations or ALK rearrangements.	Lung Cancer. 2018 Apr;118:36-40.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
84	Yasutake N, Ohishi Y, Taguchi K, et al	産科婦人科	Insulin-like growth factor II messenger RNA-binding protein-3 is an independent prognostic factor in uterine leiomyosarcoma.	Histopathology. 2018 Apr;72(5):739-748.	Original Article
85	Sakai A, Matsuda T, Doi H, et al	産科婦人科	Ectopic neurogenesis induced by prenatal antiepileptic drug exposure augments seizure susceptibility in adult mice.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Apr 17;115(16):4270-4275.	Original Article
86	Morokuma S, Maehara K, Okawa H, et al	産科婦人科	Simplified Wide-Range Ultrasonic Measurements Using the Sensor Three-Dimensional System.	J Med Ultrasound. 2018 Apr-Jun;26(2):100-102.	Original Article
87	Fujita Y, Kiyokoba R, Yumoto Y, et al	産科婦人科	Max dD/Dt: A Novel Parameter to Assess Fetal Cardiac Contractility and a Substitute for Max dP/Dt.	Ultrasound Med Biol. 2018 Jul;44(7):1433-1438.	Original Article
88	Morokuma S, Michikawa T, Kato K, et al	産科婦人科	Non-reassuring foetal status and neonatal irritability in the Japan Environment and Children's Study: A cohort study.	Sci Rep. 2018 Oct 26;8(1):15853.	Original Article
89	Egashira K, Hiasa K, Yokota N, et al	産科婦人科	Infertility after abdominal trachelectomy.	Acta Obstet Gynecol Scand. 2018 Nov;97(11):1358-1364.	Original Article
90	Yahata H, Kobayashi H, Sonoda K, et al	産科婦人科	Prognostic outcome and complications of sentinel lymph node navigation surgery for early-stage cervical cancer.	Int J Clin Oncol. 2018 Dec;23(6):1167-1172.	Original Article
91	Fujita Y, Ohmaru~Nakanishi T, Sugitani M, et al	産科婦人科	Placental Elasticity as a New Non-invasive Predictive Marker of Pre-eclampsia.	Ultrasound Med Biol. 2019 Jan;45(1):93-97.	Original Article
92	Okugawa K, Sonoda K, Ohgami T, et al	産科婦人科	Pelvic abscess: A late complication of abdominal trachelectomy for cervical cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Feb;45(2):412-416.	Original Article
93	Uike K, Nagata H, Hirata Y, et al.	小児科	Effective shunt closure for pulmonary hypertension and liver dysfunction in congenital portosystemic venous shunt.	Pediatr Pulmonol. 2018 Apr;53(4):505-511.	Original Article
94	Kojima-Ishii K, Toda N, Okubo K, et al.	小児科	Metabolic and immunological assessment of small-for-gestational-age children during one-year treatment with growth hormone: the clinical impact of apolipoproteins.	Endocr J. 2018 Apr 26;65(4):449-459.	Original Article
95	Kurata H, Ochiai M, Inoue H, et al.	小児科	A nationwide survey on tracheostomy for very low-birth-weight infants in Japan.	Pediatr Pulmonol. 2019 Jan;54(1):53-60.	Original Article
96	Nakashima Y, Nanishi E, Yamamura K, et al.	小児科	Procalcitonin levels predicting the infliximab response of immunoglobulin resistant Kawasaki disease.	Cytokine. 2019 Feb;114:26-31.	Original Article
97	Fujiyoshi JK, Yamaza T, Yamaza H, et al.	小児科	Therapeutic potential of hepatocyte-like-cells converted from stem cells from human exfoliated deciduous teeth in fulminant Wilson's disease.	Sci Rep. 2019 Feb 7;9(1):1535.	Original Article
98	Ichimiya Y, Kaku N, Sanefuji M, et al.	小児科	Predictive indicators for the development of epilepsy after acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	Epilepsy Res. 2018 Jul;143:70-74.	Original Article
99	Kaku N, Ihara K, Hirata Y, et al.	小児科	Diagnostic potential of stored dried blood spots for inborn errors of metabolism: a metabolic autopsy of medium-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency.	J Clin Pathol. 2018 Oct;71(10):885-889.	Original Article
100	Yamamura K, Ohga S.	小児科	Letter to 'Pregnancy and delivery outcomes from patients with repaired anomalous origin of the left coronary artery from the pulmonary artery'.	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Aug;44(8):1498.	Letter

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
101	Noda Y, Koga Y, Ohta M, et al.	小児科	Survey of Anticancer Drug Exposure to Attendant Families in Pediatric Medical Centers	Gan To Kagaku Ryoho. 2018 Jun;45(6):945-948.	Original Article
102	Chong PF, Sakai Y, Torisu H, et al.	小児科	Leucine-rich alpha-2 glycoprotein in the cerebrospinal fluid is a potential inflammatory biomarker for meningitis.	J Neurol Sci. 2018 Sep 15;392:51-55.	Original Article
103	Ono H, Ohta R, Kawasaki Y, et al.	小児科	Lysosomal membrane permeabilization causes secretion of IL-1 β in human vascular smooth muscle cells.	Inflamm Res. 2018 Oct;67(10):879-889.	Original Article
104	Nagatomo Y, Muneuchi J, Nakashima Y, et al.	小児科	Effective infliximab therapy for the early regression of coronary artery aneurysm in Kawasaki disease.	Int J Cardiol. 2018 Nov 15;271:317-321.	Original Article
105	Sanefuji M, Ichimiya Y, Kaku N, et al.	小児科	Vascular pathomechanism in acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	J Neurol Sci. 2018 Dec 15;395:141-146.	Original Article
106	Nagata H, Terashi E, Muraoka M, et al.	小児科	High incidence of ductal closure or narrowing at birth in patients with right ventricular outflow tract obstruction with normal orientation of the ductus arteriosus.	Cardiol Young. 2019 Jan;29(1):54-58.	Original Article
107	Imai T, Matsumura T, Mayer-Lambertz S, et al.	小児科	Lipoteichoic acid anchor triggers Mincle to drive protective immunity against invasive group A Streptococcus infection.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Nov 6;115(45):E10662-E10671.	Original Article
108	Kawahara T, Tezuka J, Ninomiya T, et al.	小児科	Risk prediction of severe reaction to oral challenge test of cow's milk.	Eur J Pediatr. 2019 Feb;178(2):181-188.	Original Article
109	Inoue H, Ochiai M, Sakai Y, et al.	小児科	Neurodevelopmental Outcomes in Infants With Birth Weight ≤ 500 g at 3 Years of Age.	Pediatrics. 2018 Dec;142(6). pii: e20174286.	Original Article
110	Kobayashi T, Koga Y, Ishimura M, et al.	小児科	Fever and Skin Involvement at Diagnosis Predicting the Intractable Langerhans Cell Histiocytosis: 40 Case-Series in a Single Center.	J Pediatr Hematol Oncol. 2018 Apr;40(3):e148-e153.	Original Article
111	Sanefuji M, Yamashita H, Torio M, et al.	小児科	A rightward saccade to an unexpected stimulus as a marker for lateralised visuospatial attention.	Sci Rep. 2018 May 15;8(1):7562	Original Article
112	Okumura T, Ohuchida K, Kibe S, et al.	第一外科	Adipose tissue-derived stromal cells are sources of cancer-associated fibroblasts and enhance tumor progression by dense collagen matrix.	Int J Cancer. 2019 Mar 15;144(6):1401-1413.	Original Article
113	Koikawa K, Ohuchida K, Ando Y, et al.	第一外科	Basement membrane destruction by pancreatic stellate cells leads to local invasion in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Cancer Lett. 2018 Jul 1;425:65-77	Original Article
114	Mori H, Kubo M, Kai M, et al.	第一外科	BRCAness Combined With a Family History of Cancer Is Associated With a Poor Prognosis for Breast Cancer Patients With a High Risk of BRCA Mutations.	Clin Breast Cancer. 2018 Oct;18(5):e1217-e1227.	Original Article
115	Kawamoto M, Umebayashi M, Tanaka H, et al.	第一外科	Combined Gemcitabine and Metronidazole Is a Promising Therapeutic Strategy for Cancer Stem-like Cholangiocarcinoma.	Anticancer Res. 2018 May;38(5):2739-2748.	Original Article
116	Matsuda R, Miyasaka Y, Ohishi Y,	第一外科	Concomitant Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Is an Independent Predictive Factor for the Occurrence of New Cancer in the Remnant Pancreas.	Ann Surg. 2018 Oct 10	Original Article
117	Ohtsuka T, Ban D, Nakamura Y, et al.	第一外科	Difficulty scoring system in laparoscopic distal pancreatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2018 Nov;25(11):489-497.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
118	Mori H, Kubo M, Kai M, et al.	第一外科	Efficacy and Safety of Bi-weekly Pegfilgrastim for Dose-dense Chemotherapy-induced Neutropenia in Breast Cancer Patients.	Anticancer Res. 2018 Jul;38(7):4381-4386.	Original Article
119	Ideno N, Yamaguchi H, Ghosh B, et al.	第一外科	GNASR201C Induces Pancreatic Cystic Neoplasms in Mice That Express Activated KRAS by Inhibiting YAP1 Signaling.	Gastroenterology. 2018 Nov;155(5):1593-1607	Original Article
120	Nakata K, Shikata S, Ohtsuka T, et al.	第一外科	Minimally invasive preservation versus splenectomy during distal pancreatectomy: a systematic review and meta-analysis.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2018 Nov;25(11):476-488.	Original Article
121	Tamura K, Yu J, Hata T, et al.	第一外科	Mutations in the pancreatic secretory enzymes CPA1 and CPB1 are associated with pancreatic cancer.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 May 1; 115(18): 4767-4772.	Original Article
122	Noguchi H, Miyasaka Y, Kaku K, et al.	第一外科	Preoperative Muscle Volume Predicts Graft Survival After Pancreas Transplantation: A Retrospective Observational Cohort Study.	Transplant Proc. 2018 Jun;50(5):1482-1488.	Original Article
123	Abe T, Nakata K, Kibe S, et al.	第一外科	Prognostic Value of Preoperative Nutritional and Immunological Factors in Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Ann Surg Oncol. 2018 Dec;25(13):3996-4003.	Original Article
124	Matsumoto S, Hayakawa T, Kawarada Y, et al.	第一外科	Proper training in laparoscopic hernia repair is necessary to minimize the rising recurrence rate in Japan.	Asian J Endosc Surg. 2018 May;11(2):151-154.	Original Article
125	Ohtsuka T, Gotoh Y, Nakashima Y, et al.	第一外科	Role of SpyGlass-DStm in the preoperative assessment of pancreatic intraductal papillary mucinous neoplasm involving the main pancreatic duct.	Pancreatology. 2018 Apr 30. pii: S1424-3903(18)30079-6.	Original Article
126	Tatsuguchi T, Takahashi H, Akita H, et al.	第一外科	Short- and long-term outcomes of choledochojunostomy during pancreaticoduodenectomy and total pancreatectomy: interrupted suture versus continuous suture.	Langenbecks Arch Surg. 2018 Dec;403(8):959-966.	Original Article
127	Oki E, Kato T, Bando H, et al	第二外科	A Multicenter Clinical Phase II Study of FOLFOXIRI Plus Bevacizumab as First-line Therapy in Patients With Metastatic Colorectal Cancer: QUATTRO Study.	Clin Colorectal Cancer. 2018 Jun;17(2):147-155.	Original Article
128	Oki E, Shimokawa M, Ando K, et al	第二外科	Effect of lateral lymph node dissection for mid and low rectal cancer: An ad-hoc analysis of the ACTS-RC (JFMC35-C1) randomized clinical trial.	Surgery. 2019 Mar;165(3):586-592.	Original Article
129	Oki E, Ando K, Nakanishi R, et al	第二外科	Recent advances in treatment for colorectal liver metastasis.	Ann Gastroenterol Surg. 2018 Apr 17;2(3):167-175.	Review
130	Saeki H, Oki E, Kashiwada T, et al	第二外科	Re-evaluation of HER2 status in patients with HER2-positive advanced or recurrent gastric cancer refractory to trastuzumab (KSCC1604).	Eur J Cancer. 2018 Dec;105:41-49.	Original Article
131	Ando K., Tohme YH., Srinivasiah A., et al	第二外科	Developing a Phosphospecific IHC Assay as a Predictive Biomarker for Topoisomerase I Inhibitors.	J Histochem Cytochem. 2018 Aug;66(8):549-561.	Original Article
132	Nakashima Y, Saeki H, Hu Q, et al	第二外科	Neoadjuvant Chemotherapy Versus Chemoradiotherapy for Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res. 2018 Dec;38(12):6809-6814.	Original Article
133	Nakashima Y, Saeki H, Nakanishi R, et al	第二外科	Assessment of Sarcopenia as a Predictor of Poor Outcomes After Esophagectomy in Elderly Patients With Esophageal Cancer.	Ann Surg. 2018 Jun;267(6):1100-1104.	Original Article
134	Qingjiang Hu, Shuhei Ito, Kazuyoshi Yanagihara, et al	第二外科	Molecular mechanism of peritoneal dissemination in gastric cancer.	J Cancer Metastasis Treat 2018 Jun;4:39.	Review

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
135	Qingjiang Hu, Koshi Mimori	第二外科	ASO Author Reflections: ARL4C and Peritoneal Dissemination in Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2018 Dec 17.	Original Article
136	Tomoko J, Eiji O, Minako F, et al	第二外科	Non-familial juvenile polyposis of the stomach with gastric cancers: a case report.	Surg Case Rep. 2018 Jul 24;4(1):79.	Case report
137	Kawazoe T, Sugiyama M, Hashiguchi K, et al	第二外科	Appendicitis Causing Ascending Infection Through Ventriculoperitoneal Shunt.	Journal of Case Reports 2018 Aug;8(3):215-218	Case report
138	Yamashita N, Tokunaga E, Iimori M, et al	第二外科	Epithelial Paradox: Clinical Significance of Coexpression of E-cadherin and Vimentin With Regard to Invasion and Metastasis of Breast Cancer.	Clin Breast Cancer. 2018 Oct;18(5):e1003-e1009.	Original Article
139	Hada M, Mizu-Uchi H, Okazaki K, et al.	整形外科	Bi-cruciate stabilized total knee arthroplasty can reduce the risk of knee instability associated with posterior tibial slope.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2018 Jun;26(6):1709-1716.	Original Article
140	Yahiro K, Matsumoto Y, Fukushi JI, et al.	整形外科	Class III β -Tubulin Overexpression Induces Chemoresistance to Eribulin in a Leiomyosarcoma Cell Line.	Anal Cell Pathol (Amst):2018 Jun;8987568(オンライン).	Original Article
141	Matsumoto Y, Kawaguchi K, Fukushi J, et al.	整形外科	Clinical Outcome and Prognostic Factors of Malignant Spinal Dumbbell Tumors.	Spine Surg Relat Res:2018;2(4):317-323. Epub 2018 Apr 27	Original Article
142	Wang L, Fang B, Fujiwara T (Co-First), et. al	整形外科	Deletion of ferroportin in murine myeloid cells increases iron accumulation and stimulates osteoclastogenesis in vitro and in vivo.	J Biol Chem. 2018 Jun 15;293(24):9248-9264.	Original Article
143	Fukushi JI, Kawano I, Motomura G, et al.	整形外科	Does hip center location affect the recovery of abductor moment after total hip arthroplasty?	Orthop Traumatol Surg Res. 2018 Dec;104(8):1149-1153.	Original Article
144	Komiyama K, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Dynamic hip kinematics during recreational classical ballet and hula dance after total hip arthroplasty: two case reports.	J Med Case Rep. 2019 Jan 12;13(1):11.	Case report
145	Komiyama K, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Dynamic hip kinematics during squatting before and after total hip arthroplasty.	J Orthop Surg Res:2018 Jul 3;13(1):162.	Original Article
146	Kawaguchi K, Harimaya K, Hayashida M, et al.	整形外科	Effect of cartilaginous endplates on extruded disc resorption in lumbar disc herniation.	PLoS One. 2018 Apr 17;13(4):e0195946(オンライン)	Original Article
147	Utsunomiya T, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Effects of sclerotic changes on stress concentration in early-stage osteonecrosis: A patient-specific, 3D finite element analysis.	J Orthop Res. 2018 Dec;36(12):3169-3177.	Original Article
148	Kito F, Oyama R, Sakumoto M, et al.	整形外科	Establishment and characterization of novel patient-derived osteosarcoma xenograft and cell line.	In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2018 Aug;54(7):528-536.	Original Article
149	Okada T, Yuge H, Kamitani T, et al.	整形外科	Evaluation of humeral head cartilage using magnetic resonance imaging T1 rho mapping for patients with small-to-medium rotator cuff tears: A pilot study.	J Orthop Sci. 2019 Mar;24(2):258-262.	Original Article
150	Kozono N, Okada T, Takeuchi N, et al.	整形外科	In vivo dynamic acromiohumeral distance in shoulders with rotator cuff tears.	Clin Biomech (Bristol, Avon). 2018 Dec;60:95-99.	Original Article
151	Murakami K, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	In vivo kinematics of gait in posterior-stabilized and bicruciate-stabilized total knee arthroplasties using image-matching techniques.	Int Orthop. 2018 Nov;42(11):2573-2581.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
152	Murakami K, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	Knee kinematics in bi-cruciate stabilized total knee arthroplasty during squatting and stair-climbing activities.	J Orthop. 2018 May 7;15(2):650-654.	Original Article
153	Kawano K, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Long-term hip survival and factors influencing patient-reported outcomes after transtrochanteric anterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head: A minimum 10-year follow-up case series.	Mod Rheumatol. 2018 Dec 17:1-7.	Original Article
154	Fujiwara T, Fujimura K, Hamai S, et al.	整形外科	Mid-term clinical outcome of constrained condylar knee prosthesis for patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 2018 Jul 23:1-6.	Original Article
155	Hamai S, Kohno Y, Hara D, et al.	整形外科	Minimum 10-Year Clinical Outcomes After Periacetabular Osteotomy for Advanced Osteoarthritis Due to Hip Dysplasia.	Orthopedics. 2018 Sep 1;41(5):300-305.	Original Article
156	Kubo Y, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Osteoclast-related markers in the hip joint fluid with subchondral insufficiency fracture of the femoral head.	J Orthop Res. 2018 Nov;36(11):2987-2995.	Original Article
157	Murakami K, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	Preoperative tibial mechanical axis orientation and articular surface design influence on the coronal joint line orientation relative to the ground during gait after total knee arthroplasties.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2018 Nov;26(11):3368-3376.	Original Article
158	Matsushita Y, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	Recreational sports, workout and gym activities after total knee arthroplasty: Asian cohort study.	J Orthop. 2018 Dec 20;16(1):41-44.	Original Article
159	Kadota H, Momii K, Hanada M	整形外科	Simultaneous deep inferior epigastric and bilateral anterolateral thigh perforator flap reconstruction of an extended perineoscrotal defect in Fournier's gangrene: A case report.	Microsurgery. 2019 Mar;39(3):263-266.	Case report
160	Endo M, Lin PP.	整形外科	Surgical margins in the management of extremity soft tissue sarcoma.	Chin Clin Oncol. 2018 Aug;7(4):37.	Review
161	Kubo Y, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	The effect of the anterior boundary of necrotic lesion on the occurrence of collapse in osteonecrosis of the femoral head.	Int Orthop. 2018 Jul;42(7):1449-1455.	Original Article
162	Murakami K, Hamai S, Moro-Oka T, et al.	整形外科	Variable tibiofemoral articular contact stress in fixed-bearing total knee arthroplasties.	Orthop Traumatol Surg Res. 2018 Apr;104(2):177-183.	Original Article
163	Yamagami K, Shono T, Iihara K.	脳神経外科	Multiple Sacral Perineurial Cysts Presented Symptoms Triggered by Nonaneurysmal Perimesencephalic Subarachnoid Hemorrhage.	NMC Case Rep J. 2019 Mar 21;6(2):57-60	Original Article
164	Ohara T, Uehara T, Sato S, et al.	脳神経外科	Small vessel occlusion is a high-risk etiology for early recurrent stroke after transient ischemic attack.	Int J Stroke. 2019 Mar 27;1747493019840931.	Original Article
165	Sakai N, Uchida K, Iihara K, et al.	脳神経外科	Japanese Surveillance of Neuroendovascular Therapy in JR-NET - Part II. Japanese Registry of NeuroEndovascular Treatment 3. Main Report.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Mar 15;59(3):106-115.	Original Article
166	Hayakawa M, Sugiu K, Yoshimura S, et al.	脳神経外科	Effectiveness of staged angioplasty for avoidance of cerebral hyperperfusion syndrome after carotid revascularization.	J Neurosurg. 2019 Jan 18:1-11.	Original Article
167	Nishi H, Ishii A, Satow T, et al.	脳神経外科	Parent Artery Occlusion for Unruptured Cerebral Aneurysms: Results of the Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 3.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Jan 15;59(1):1-9.	Original Article
168	Imamura H, Sakai N, Satow T, et al.	脳神経外科	Endovascular Treatment for Vasospasm after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage Based on Data of JR-NET3.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2018 Dec 15;58(12):495-502.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
169	Nohara Y, Iihara K, Nakashima N.	脳神経外科	Interpretable Machine Learning Techniques for Causal Inference Using Balancing Scores as Meta-features.	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 2018 Jul;2018:4042-4045.	Original Article
170	Murakami N, Morioka T, Shimogawa T, et al	脳神経外科	Ependyma-Lined Canal with Surrounding Neuroglial Tissues in Lumbosacral Lipomatous Malformations: Relationship with Retained Medullary Cord.	Pediatr Neurosurg. 2018 Nov;53(6):387-394.	Original Article
171	Tanaka S, Hitotsumatsu T, Sugita Y, et al	脳神経外科	Gliosarcoma arising from oligodendroglioma (Oligosarcoma): A case report with genetic analyses.	Pathol Int. 2018 Oct;68(10):567-573.	Case report
172	Takahara K, Morioka T, Shimogawa T, et al	脳神経外科	Hemodynamic state of perictal hyperperfusion revealed by arterial spin-labeling perfusion MR images with dual postlabeling delay.	eNeurologicalSci. 2018 Jun 26;12:5-18.	Original Article
173	Kodama M, Kobayashi D, Iihara K, et al	脳神経外科	Adenocarcinoma within anorectal fistulae: different clinicopathological characteristics between Crohn's disease-associated type and the usual type.	Mod Pathol. 2019 Feb;32(2):314-325.	Original Article
174	Kataoka H, Makino Y, Takanishi K, et al	脳神経外科	Vascular responses to abrupt blood flow change after bypass surgery for complex intracranial aneurysms.	Acta Neurochir (Wien). 2018 Oct;160(10):1945-1953.	Original Article
175	Ishihara T, Sato S, Uehara T, et al	脳神経外科	Significance of Nonfocal Symptoms in Patients With Transient Ischemic Attack.	Stroke. 2018 Aug;49(8):1893-1898.	Original Article
176	Shimogawa T, Morioka T, Murakami N, et al	脳神経外科	Bony and Cartilaginous Tissues in Lumbosacral Lipomas.	Pediatr Neurosurg. 2018 Jul;53(5):305-310.	Original Article
177	Bulters D, Gastra B, Zolnourian A, et al	脳神経外科	Haemoglobin scavenging in intracranial bleeding: biology and clinical implications.	Nat Rev Neurol. 2018 Jul;14(7):416-432.	Original Article
178	Sangatsuda Y, Hata N, Suzuki SO, et al	脳神経外科	An elderly case of malignant small cell glioma with hemorrhage coexistent with a calcified pilocytic astrocytoma component in the cerebellar hemisphere.	Neuropathology. 2018 Oct;38(5):493-497.	Case report
179	Takamori S, Toyokawa G, Shimokawa M, et al	脳神経外科	Radiological Features of Brain Metastases from Non-small Cell Lung Cancer Harboring EGFR Mutation.	Anticancer Res. 2018 Jun;38(6):3731-3734.	Original Article
180	Togao O, Hiwatashi A, Obara M, et al	脳神経外科	4D ASL-based MR angiography for visualization of distal arteries and leptomeningeal collateral vessels in moyamoya disease: a comparison of techniques.	Eur Radiol. 2018 Nov;28(11):4871-4881.	Original Article
181	Kasuga K, Sako M, Kasai S, et al	脳神経外科	Rat Bite Fever Caused by Streptobacillus moniliformis in a Cirrhotic Patient Initially Presenting with Various Systemic Features Resembling Henoch-Schönlein Purpura.	Intern Med. 2018 Sep 1;57(17):2585-2590.	Original Article
182	Okuda T, Hata N, Suzuki SO, et al	脳神経外科	Pediatric ganglioglioma with an H3 K27M mutation arising from the cervical spinal cord.	Neuropathology. 2018 Apr 19.	Case report
183	Akagi Y, Yoshimoto K, Hata N, et al	脳神経外科	Reclassification of 400 consecutive glioma cases based on the revised 2016WHO classification.	Brain Tumor Pathol. 2018 Apr;35(2):81-89.	Original Article
184	Kuga D, Hata N, Akagi Y, et al	脳神経外科	The Effectiveness of Salvage Treatments for Recurrent Lesions of Oligodendrogliomas Previously Treated with Upfront Chemotherapy.	World Neurosurg. 2018 Jun;114:e735-e742.	Original Article
185	Matsuo S, Komune N, Kurogi R, et al	脳神経外科	Relationship Between the Horizontal Part of the Sigmoid Sinus and the Line Through the Digastric Point and Posterior Edge of the Condyle: An Anatomic and Radiologic Study.	World Neurosurg. 2018 Jun;114:e597-e604.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
186	Tanaka K, Uehara T, Kimura K, et al	脳神経外科	Comparison of Clinical Characteristics among Subtypes of Visual Symptoms in Patients with Transient Ischemic Attack: Analysis of the PROspective Multicenter registry to Identify Subsequent cardiovascular Events after TIA (PROMISE-TIA) Registry.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 Jun;27(6):1711-1716.	Original Article
187	Matsuyama S, Shiose A, et al	心臓血管外科	Interaction between cardiac myosin-binding protein C and formin Fhod3.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 May 8;115(19):E4386-E4395.	Original Article
188	Tatewaki H, Shiose A	心臓血管外科	Pulmonary valve replacement after repaired Tetralogy of Fallot.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Sep;66(9):509-515	Review
189	Yamashita Y, Shiose A, et al	心臓血管外科	Axillo-iliac artery bypass for recurrent aortic coarctation to reduce cardiac afterload.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Oct 1;27(4):626-628.	Case report
190	Yamashita Y, Shiose A, et al	心臓血管外科	Acute torrential mitral regurgitation during transcatheter aortic valve replacement: a case report.	Surg Case Rep. 2018 Apr 18;4(1):35.	Case report
191	Ushijima T, Tanoue Y, Shiose A	心臓血管外科	HeartMate II Implantation Via Single Incisional Ministernotomy in a Small Young Woman.	Innovations (Phila). 2019 Feb;14(1):80-83.	Case report
192	Zhang XY, Yanagi Y, Sheng Z, et al	小児外科	Regeneration of diaphragm with bio-3D cellular patch.	Biomaterials. 2018 Jun;167:1-14.	Original Article
193	Matsuura T, Yanagi Y, Hayashida M, et al	小児外科	The incidence of chylous ascites after liver transplantation and the proposal of a diagnostic and management protocol.	J Pediatr Surg. 2018 Apr;53(4):671-675.	Original Article
194	Kawakubo N, Harada Y, Ishii M, et al	小児外科	Natural antibody against neuroblastoma of TH-MYCN transgenic mice does not correlate with spontaneous regression.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Sep 10;503(3):1666-1673.	Original Article
195	Obata S, Yoshimau K, Kirino K, et al	小児外科	Acquired isolated hypoganglionosis as a distinct entity: results from a nationwide survey.	Pediatr Surg Int. 2019 Feb;35(2):215-220.	Original Article
196	Shibui Y, Miyoshi K, Kohashi K, et al	小児外科	Glypican-3 expression in malignant small round cell tumors.	Oncol Lett. 2019 Mar;17(3):3523-3528.	Original Article
197	Obata S, Ieiri S, Akiyama T, et al	小児外科	Nationwide survey of outcome in patients with extensive aganglionosis in Japan.	Pediatr Surg Int. 2019 May;35(5):547-550. Epub 2019 Mar 7	Original Article
198	Nagae K, Uchi H, Morino-Koga S, et al.	皮膚科	Glucagon-like peptide-1 analogue liraglutide facilitates wound healing by activating PI3K/Akt pathway in keratinocytes.	Diabetes Res Clin Pract. 2018 Dec;146:155-161.	Original Article
199	Furue M.	皮膚科	Useful components in the stratum corneum for assessment of atopic dermatitis.	Br J Dermatol. 2019 Mar;180(3):457-458.	Review
200	Furue M.	皮膚科	Stephen Ira Katz M.D., Ph.D., Director of the National Institute of Arthritis and Musculoskeletal and Skin Diseases (NIAMS), 1941-2018.	J Dermatol. 2019 Feb;46(2):79.	Others
201	Kido-Nakahara M, Nakahara T, Furusyo N, et al.	皮膚科	A Case of Acute Exacerbation of Chronic Adrenal Insufficiency Due to Ipilimumab Treatment for Advanced Melanoma.	Am J Case Rep. 2019 Jan 25;20:106-110.	Case report
202	Tsuruta N, Narisawa Y, Imafuku S et al.	皮膚科	Pruritus in Chronic Liver Disease: A Questionnaire Survey on 216 Patients.	Acta Derm Venereol. 2019 Feb 1;99(2):220-221.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
203	Ohno F, Nakahara T, Kido-Nakahara M, et al.	皮膚科	Periostin Links Skin Inflammation to Melanoma Progression in Humans and Mice.	Int J Mol Sci. 2019 Jan 4;20(1). オンライン	Original Article
204	Chiba T, Nakahara T, Kohda F, et al.	皮膚科	Measurement of trihydroxy-linoleic acids in stratum corneum by tape-stripping: Possible biomarker of barrier function in atopic dermatitis.	PLoS One. 2019 Jan 4;14(1):e0210013.	Original Article
205	Tanaka Y, Uchi H, Hashimoto-Hachiya A, et al.	皮膚科	Tryptophan Photoproduct FICZ Upregulates IL1A, IL1B, and IL6 Expression via Oxidative Stress in Keratinocytes.	Oxid Med Cell Longev. 2018 Nov 25;2018:9298052.オンライン	Original Article
206	Mitamura Y, Murai M, Mitoma C, et al.	皮膚科	NRF2 Activation Inhibits Both TGF- β 1- and IL-13-Mediated Periostin Expression in Fibroblasts: Benefit of Cinnamaldehyde for Antifibrotic Treatment.	Oxid Med Cell Longev. 2018 Aug 7;2018:2475047.オンライン	Original Article
207	Ichiki T, Wada M, Yasukouchi Y, et al.	皮膚科	Crystallization granuloma by nifekalant hydrochloride infusion.	Geriatr Gerontol Int. 2018 Jul;18(7):1133-1134.	Original Article
208	Furue K, Ito T, Furue M.	皮膚科	Differential efficacy of biologic treatments targeting the TNF- α /IL-23/IL-17 axis in psoriasis and psoriatic arthritis.	Cytokine. 2018 Nov;111:182-188.	Review
209	Mitamura Y, Nunomura S, Nanri Y et al.	皮膚科	Hierarchical control of interleukin 13 (IL-13) signals in lung fibroblasts by STAT6 and SOX11.	J Biol Chem. 2018 Sep 21;293(38):14646-14658.	Original Article
210	Furue M, Uchi H, Mitoma C, et al.	皮膚科	Implications of tryptophan photoproduct FICZ in oxidative stress and terminal differentiation of keratinocytes.	G Ital Dermatol Venereol. 2019 Feb;154(1):37-41.	Review
211	Furue M, Fuyuno Y, Mitoma C, et al.	皮膚科	Therapeutic Agents with AHR Inhibiting and NRF2 Activating Activity for Managing Chloracne.	Antioxidants (Basel). 2018 Jul 13;7(7).	Review
212	Maehara E, Kido-Nakahara M, Ito T, et al.	皮膚科	Darier's sign in urticaria pigmentosa-significance of perivascular eosinophilic infiltration.	Allergol Int. 2018 Oct;67(4):532-534.	Original Article
213	Take N, Nakahara T, Kido-Nakahara M, et al.	皮膚科	Three cases of adult-onset atopic dermatitis after hematopoietic stem cell transplantation.	Allergol Int. 2018 Oct;67(4):529-531.	Case report
214	Furue M, Hashimoto-Hachiya A, Tsuji G.	皮膚科	Antioxidative Phytochemicals Accelerate Epidermal Terminal Differentiation via the AHR-OVOL1 Pathway: Implications for Atopic Dermatitis.	Acta Derm Venereol. 2018 Nov 5;98(10):918-923.	Review
215	Furue M, Iida K, Imaji M, et al.	皮膚科	Microbiome analysis of forehead skin in patients with atopic dermatitis and healthy subjects: Implication of Staphylococcus and Corynebacterium.	J Dermatol. 2018 Jul;45(7):876-877.	Original Article
216	Eto A, Nakao M, Furue M.	皮膚科	Three cases of palmoplantar pustulosis successfully treated with apremilast.	J Dermatol. 2019 Jan;46(1):e29-e30.	Case report
217	Hashimoto-Hachiya A, Tsuji G, Murai M, et al.	皮膚科	Upregulation of FLG, LOR, and IVL Expression by Rhodiola crenulata Root Extract via Aryl Hydrocarbon Receptor: Differential Involvement of OVOL1.	Int J Mol Sci. 2018 Jun 4;19(6). オンライン	Original Article
218	Chiba T, Nakahara T, Fujishima K, et al.	皮膚科	Epidermal barrier disruption by 9-hydroxy-10E,12Z-octadecadienoic acid in human keratinocytes.	J Dermatol. 2018 Jun;45(6):746-747.	Original Article
219	Murai M, Yamamura K, Hashimoto-Hachiya A,	皮膚科	Tryptophan photo-product FICZ upregulates AHR/MEK/ERK-mediated MMP1 expression: Implications in anti-fibrotic phototherapy.	J Dermatol Sci. 2018 Jul;91(1):97-103	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
220	Takemura M, Nakahara T, Hashimoto-Hachiya A, et al.	皮膚科	Glyteer, Soybean Tar, Impairs IL-4/Stat6 Signaling in Murine Bone Marrow-Derived Dendritic Cells: The Basis of Its Therapeutic Effect on Atopic Dermatitis.	Int J Mol Sci. 2018 Apr 12;19(4).オンライン	Original Article
221	Tatsugami K, Oya M, Kabu K, et al	泌尿器科	Efficacy and safety of sorafenib for advanced renal cell carcinoma: real-world data of patients with renal impairment.	Oncotarget. 2018 Apr 10;9(27):19406-19414.	Original Article
222	Murakami T, Ohata H, Akitake N, et al	泌尿器科	Prognostic and Predictive Factors for Anti-androgen Withdrawal in Castration-resistant Prostate Cancer.	Anticancer Res:2018 Jul; 38 (7): 4115-4121.	Original Article
223	Tatsugami K, Oya M, Kabu K, et al	泌尿器科	Evaluation of efficacy and safety of sorafenib in kidney cancer patients aged 75 years and older: a propensity score-matched analysis.	Br J Cancer:2018 Jul; 119 (2): 241-247.	Original Article
224	Shiota M, Dejima T, Yamamoto Y, et al	泌尿器科	Collateral resistance to taxanes in enzalutamide-resistant prostate cancer through aberrant androgen receptor and its variants.	Cancer Sci:2018 Oct; 109 (10): 3224-3234.	Original Article
225	Murakami T, Otsubo S, Namitome R, et al	泌尿器科	Clinical factors affecting perioperative outcomes in robot-assisted radical prostatectomy.	Mol Clin Oncol:2018 Nov; 9 (5): 575-581.	Original Article
226	Shiota M, Kashiwagi E, Murakami T, et al	泌尿器科	Serum testosterone before and during androgen-deprivation therapy, and prognosis between cigarette smokers and nonsmokers with metastatic prostate cancer.	Andrologia:2018 Dec; 50 (10): e13119.	Original Article
227	Shiota M, Fujimoto N, Imada K, et al	泌尿器科	Prognostic Impact of Genetic Polymorphism in Mineralocorticoid Receptor and Comorbidity With Hypertension in Androgen-Deprivation Therapy.	Front Oncol:2018 Dec; 8: 635.	Original Article
228	Umez D, Okada N, Sakoda Y, et al	泌尿器科	Inhibitory functions of PD-L1 and PD-L2 in the regulation of anti-tumor immunity in murine tumor microenvironment.	Cancer Immunol Immunother:2019 Feb; 68 (2): 201-211.	Original Article
229	Shiota M, Narita S, Akamatsu S, et al	泌尿器科	Association of Missense Polymorphism in HSD3B1 With Outcomes Among Men With Prostate Cancer Treated With Androgen-Deprivation Therapy or Abiraterone.	JAMA Netw Open:2019 Feb; 2 (2): e190115.	Original Article
230	Shiota M, Nakamura M, Yokomizo A, et al	泌尿器科	Efficacy and safety of cabazitaxel for castration-resistant prostate cancer in patients with >10 cycles of docetaxel chemotherapy: a multi-institutional study.	Med Oncol:2019 Feb; 36 (4): 32.	Original Article
231	Shiota M, Kashiwagi E, Murakami T, et al	泌尿器科	Serum testosterone level as possible predictive marker in androgen receptor axis-targeting agents and taxane chemotherapies for castration-resistant prostate cancer.	Urol Oncol:2019 Mar; 37 (3): 180.e19-180.e24.	Original Article
232	Shiota M, Namitome R, Kobayashi T, et al	泌尿器科	Prognostic significance of risk stratification in CHAARTED and LATITUDE studies among Japanese men with de novo metastatic prostate cancer.	Int J Urol:2019 Mar; 26 (3): 426-428.	Original Article
233	Kuwano N, Kato TA*, Setoyama D et al	精神科神経科	Tryptophan-kynurenine and lipid related metabolites as blood biomarkers for first-episode drug-naïve patients with major depressive disorder: An exploratory pilot case-control study.	J Affect Disord. 2018 Apr 15;231:74-82.	Original Article
234	Kuwano N, Kato TA*, Mitsuhashi M, et al	精神科神経科	Neuron-related blood inflammatory markers as an objective evaluation tool for major depressive disorder: An exploratory pilot case-control study.	J Affect Disord. 2018 Nov;240:88-98.	Original Article
235	Kubo H, Urata H, Katsuki R, et al	精神科神経科	Development of MHFA-based 2-h educational program for early intervention in depression among office workers: A single-arm pilot trial.	PLoS One. 2018 Dec 7;13(12):e0208114.	Original Article
236	Hatabe Y, Shibata M, Ohara T, Oishi E	精神科神経科	Decline in handgrip strength from midlife to late-life is associated with dementia in a Japanese community: the Hisayama Study.	J Epidemiol. 2018 Dec 8.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
237	Hirakawa N, Kuga H, Hirano Y, Sato	精神科神経科	Neuroanatomical substrate of chronic psychosis in epilepsy: an MRI study.	Brain Imaging Behav. 2019 Feb 8.	Original Article
238	Hirano Y and Hosaka K	精神科神経科	PCN Art Brut Series No. 4. Artwork Description – Fly High –	Psychiatry Clin Neurosci. 2018 Sep; 72: 626	Original Article
239	Yamada S, Nakao T, Ikari K	精神科神経科	A unique increase in prefrontal gray matter volume in hoarding disorder compared to obsessive-compulsive disorder.	PLoS One. 2018 Jul 16;13(7):e0200814.	Original Article
240	Akiyama M, Takahashi A, Momozya Y et al	眼科	Genome-wide association study suggests four variants influencing outcomes with ranibizumab therapy in exudative age-related macular degeneration.	J Hum Genet. 2018 Oct;63(10):1083-1091.	Original Article
241	Arima M, Tsukamoto S, Akiyama R et al	眼科	Ocular findings in a case of Pierson syndrome with a novel mutation in laminin B2 gene.	J AAPOS. 2018 Oct;22(5):401-403.e1.	Case report
242	Kaizu Y, Nakao S, Sekiryu H et al	眼科	Retinal flow density by optical coherence tomography angiography is useful for detection of nonperfused areas in diabetic retinopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2018 Dec;256(12):2275-2282.	Original Article
243	Nakao S, Yoshida S, Kaizu Y et al	眼科	Microaneurysm Detection in Diabetic Retinopathy Using OCT Angiography May Depend on Intramicroaneurysmal Turbulence.	Ophthalmol Retina. 2018 Nov;2(11):1171-1173.	Original Article
244	Fujiwara K, Ikeda Yasuhiro, Murakami Y et al	眼科	Assessment of Central Visual Function in Patients with Retinitis Pigmentosa.	Sci Rep 8:8070, 2018/05/23Sci Rep. 2018 May 23;8(1):8070.	Original Article
245	Nakao S, Yoshida S, Sonoda K et al	眼科	An Overview of Diabetic Retinopathy	Nutritional and therapeutic interventions for diabetes and metabolic syndrome 2:139- 154, 2018/06/28	Others
246	Kadota H,Kamizono K,Yoshida S et al	耳鼻咽喉科	Pharyngeal reconstruction by anterolateral thigh flap with vastus lateralis muscle transfer for effective swallowing after total glossectomy: A case report.	Head Neck. 2019 Mar 12.	Case report
247	Yasumatsu R,Wakasaki T,Hashimoto K et al	耳鼻咽喉科	Monitoring the neutrophil-to-lymphocyte ratio may be useful for predicting the anticancer effect of nivolumab in recurrent or metastatic head and neck cancer.	Head Neck. 2019 Mar 5.	Original Article
248	komune N,Natsuo S,Nakagawa T	耳鼻咽喉科	The Fascial Layers Attached to the Skull Base: A Cadaveric Study.	World Neurosurg. 2019 Feb 28. pii: S1878- 8750(19)30489-9.	Original Article
249	Sato K,Niida A,Masuda T, et al	耳鼻咽喉科	Multiregion Genomic Analysis of Serially Transplanted Patient-derived Xenograft Tumors.	Cancer Genomics Proteomics. 2019 Jan- Feb;16(1):21-27.	Original Article
250	Tamae A,Ishizu K,Yoshida T, et al	耳鼻咽喉科	Evaluation of the Effects of Chronic Kidney Disease and Hemodialysis on the Inner Ear Using Multifrequency Tympanometry.	J Int Adv Otol. 2018 Dec;14(3):447-450.	Original Article
251	Yasumatsu R,Nakano T,Sato M, et al	耳鼻咽喉科	Combination of serum squamous cell carcinoma antigens 1 and 2 as potential diagnostic marker for sinonasal squamous cell carcinoma and inverted papilloma.	Head Neck. 2018 Dec;40(12):2583-2589.	Original Article
252	Yasumatsu R,Nakano T,Hashimoto K, et al	耳鼻咽喉科	The clinical value of serum squamous cell carcinoma antigens 1 and 2 in head and neck squamous cell carcinoma.	Auris Nasus Larynx. 2019 Feb;46(1):135-140.	Original Article
253	Sato M,Yamamoto H,Hatanaka Y, et al	耳鼻咽喉科	Wnt/ β -catenin signal alteration and its diagnostic utility in basal cell adenoma and histologically similar tumors of the salivary gland.	Pathol Res Pract. 2018 Apr;214(4):586-592.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
254	komune N,Matsuo S,Miki K,et al	耳鼻咽喉科	Surgical Anatomy of the Eustachian Tube for Endoscopic Transnasal Skull Base Surgery: A Cadaveric and Radiologic Study.	World Neurosurg. 2018 Apr;112:e172-e181.	Original Article
255	Kikuchi Y,Umezaki T,Uehara T,et al	耳鼻咽喉科	A case of multiple system atrophy-parkinsonian type with stuttering- and palilalia-like dysfluencies and putaminal atrophy.	J Fluency Disord. 2018 Sep;57:51-58.	Case report
256	Matsumoto N,Suzuki N,Iwasaki K,et al	耳鼻咽喉科	Language-specific strategy for programming hearing aids - A double-blind randomized controlled crossover study.	Auris Nasus Larynx. 2018 Aug;45(4):686-692.	Original Article
257	Kiyohara H,Adachi K,Kikuchi Y,et al	耳鼻咽喉科	Kinematic evaluation of penetration and aspiration in laryngeal elevating and descending periods.	Laryngoscope. 2018 Apr;128(4):806-811.	Original Article
258	Yasumatsu R,Sato M,Uchi R, et al	耳鼻咽喉科	The treatment and outcome analysis of primary squamous cell carcinoma of the thyroid.	Auris Nasus Larynx. 2018 Jun;45(3):553-557.	Original Article
259	Kikuchi K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Usefulness of perfusion- and diffusion-weighted imaging to differentiate between pilocytic astrocytomas and high-grade gliomas: a multicenter study in Japan.	Neuroradiology. 2018 Apr;60(4):391-401.	Original Article
260	Togao O, Hiwatashi A, Yamashita K, et al.	放射線科	Measurement of the perfusion fraction in brain tumors with intravoxel incoherent motion MR imaging: validation with histopathological vascular density in meningiomas.	Br J Radiol. 2018 May;91(1085):20170912	Original Article
261	Shinoda K, Matsushita T, Nakamura Y, et al.	放射線科	HLA-DRB1*04:05 allele is associated with intracortical lesions on three-dimensional double inversion recovery images in Japanese patients with multiple sclerosis.	Mult Scler. 2018 May;24(6):710-720.	Original Article
262	Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	High Resolution Diffusion-Weighted Imaging for Solitary Orbital Tumors : 3D Turbo Field Echo with Diffusion-Sensitized Driven-Equilibrium (DSDE-TFE) Preparation Technique.	Clin Neuroradiol. 2018 Jun;28(2):261-266.	Original Article
263	Togao O, Hiwatashi A, Wada T, et al.	放射線科	A Qualitative and Quantitative Correlation Study of Lumbar Intervertebral Disc Degeneration Using Glycosaminoglycan Chemical Exchange Saturation Transfer, Pfirrmann Grade, and T1- ρ .	AJNR Am J Neuroradiol. 2018 Jul;39(7):1369-1375.	Original Article
264	Kamei R, Watanabe Y, Sagiyama K, et al.	放射線科	Optimal monochromatic color combinations for fusion imaging of FDG-PET and diffusion-weighted MR images.	Ann Nucl Med. 2018 Aug;32(7):437-445.	Original Article
265	Obara M, Togao O, Beck GM et al.	放射線科	Non-contrast enhanced 4D intracranial MR angiography based on pseudo-continuous arterial spin labeling with the keyhole and view-sharing technique.	Magn Reson Med. 2018 Aug;80(2):719-725.	Original Article
266	Nishie A, Takayama Y, Asayama Y, et al.	放射線科	Amide proton transfer imaging can predict tumor grade in rectal cancer.	Magn Reson Imaging. 2018 Sep;51:96-103.	Original Article
267	Yanagihara T, Seki N, Hiwatashi A, et al.	放射線科	Metastatic Lung Adenocarcinoma Mimicking Meningioma.	Intern Med. 2018 Apr 1;57(7):1057-1058.	Case report
268	Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging of extraocular muscles in patients with Grave's ophthalmopathy using turbo field echo with diffusion-sensitized driven-equilibrium preparation.	Diagn Interv Imaging. 2018 Jul - Aug;99(7-8):457-463.	Original Article
269	Kikuchi K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Arterial spin-labeling is useful for the diagnosis of residual or recurrent meningiomas.	Eur Radiol. 2018 Oct;28(10):4334-4342.	Original Article
270	Kikuchi Y, Hiwatashi A, Togao O,	放射線科	Cerebral syphilitic gumma mimicking glioma: Utility of CT perfusion.	Diagn Interv Imaging. 2018 Nov;99(11):755-757.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
271	Yamashita K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Ultrahigh-resolution CT scan of the temporal bone.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2018 Nov;275(11):2797-2803.	Original Article
272	Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Lumbar plexus in patients with chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy: evaluation with simultaneous T2 mapping and neurography method with SHINKEI.	Br J Radiol. 2018 Dec;91(1092):20180501.	Original Article
273	Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Simultaneous MR neurography and apparent T2 mapping in brachial plexus: Evaluation of patients with chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy.	Magn Reson Imaging. 2019 Jan;55:112-117.	Original Article
274	Hino T, Togao O, Hiwatashi A, et al.	放射線科	Clinical efficacy of simplified intravoxel incoherent motion imaging using three b-values for differentiating high- and low-grade gliomas.	PLoS One. 2018 Dec 27;13(12):e0209796.	Original Article
275	Hosokawa K, Abe K, Horimoto K, et al.	放射線科	Balloon pulmonary angioplasty relieves haemodynamic stress towards untreated-side pulmonary vasculature and improves its resistance in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	EuroIntervention. 2018 Apr 20;13(17):2069-2076.	Original Article
276	Yamasaki Y, Kawanami S, Kamitani T, et al.	放射線科	Noninvasive quantification of left-to-right shunt by phase contrast magnetic resonance imaging in secundum atrial septal defect: the effects of breath holding and comparison with invasive oximetry.	Int J Cardiovasc Imaging. 2018 Jun;34(6):931-937.	Original Article
277	Yamasaki Y, Kawanami S, Kamitani T, et al.	放射線科	Free-breathing 320-row computed tomographic angiography with low-tube voltage and hybrid iterative reconstruction in infants with complex congenital heart disease.	Clin Imaging. 2018 Jul - Aug;50:147-156.	Original Article
278	Nagao M, Yamasaki Y	放射線科	Cardiac Strain Analysis Using Cine Magnetic Resonance Imaging and Computed Tomography	Cardiovasc Imaging Asia 2018 Apr; 2(2):76-84	Original Article
279	Maehara J, Nishie A, Asayama Y, et al.	放射線科	Tumor Enhancement on Dynamic CT: A Predictive Factor for Recurrence After Nephrectomy in Localized T1 Clear Cell Renal Cell Carcinoma.	Anticancer Res. 2018 Apr;38(4):2377-2383.	Original Article
280	Ishigami K, Nishie A, Asayama Y, et al.	放射線科	The prevalence of transpancreatic common hepatic artery and coexisting variant anatomy.	Clin Anat. 2018 May;31(4):598-604.	Original Article
281	Nishie A, Sugimoto M, Asayama Y, et al.	放射線科	Relationship Among Tumor Attenuation Value of Pre-contrast Computed Tomography (CT), Washout Rate and Constituent Cells in Adrenal Adenoma: Proposition of a New Approach for Diagnosing Adrenal Adenoma on Dynamic CT.	Anticancer Res. 2018 Aug;38(8):4767-4773.	Original Article
282	Hanada K, Kurihara K, Itoi T, et al.	放射線科	Clinical and Pathological Features of Solid Pseudopapillary Neoplasms of the Pancreas: A Nationwide Multicenter Study in Japan.	Pancreas. 2018 Sep;47(8):1019-1026.	Original Article
283	Watanabe H, Asayama Y, Nishie A, et al.	放射線科	A case of pseudoglandular hepatocellular carcinoma: The usefulness of a multimodal approach.	Radiol Case Rep. 2018 Apr 18;13(3):689-692.	Case report
284	Ishigami K, Nishie A, Irie H, et al.	放射線科	Differential Diagnosis of Pancreatic Epidermoid Cyst Without a Solid Component (Residual Splenic Tissue) vs. Mucinous Cystic Neoplasm.	J Gastrointest Cancer. 2019 Mar;50(1):91-97.	Original Article
285	Nishie A, Asayama Y, Ishigami K, et al.	放射線科	Amide proton transfer imaging to predict tumor response to neoadjuvant chemotherapy in locally advanced rectal cancer.	J Gastroenterol Hepatol. 2019 Jan;34(1):140-146.	Original Article
286	Tsurumaru D, Nishimuta Y, Muraki T, et al.	放射線科	Gastric cancer with synchronous and metachronous hepatic metastasis predicted by enhancement pattern on multiphasic contrast-enhanced CT.	Eur J Radiol. 2018 Nov;108:165-171.	Original Article
287	Nishie A, Asayama Y, Ishigami K, et al.	放射線科	Impact of body mass index on CT attenuation of adrenal adenoma.	Eur J Radiol. 2018 Nov;108:184-188.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
288	Nishie A, Akahori S, Asayama Y, et al.	放射線科	Prediction of Liver Fibrosis Using CT Under Respiratory Control: New Attempt Using Deformation Vectors Obtained by Non-rigid Registration Technique.	Anticancer Res. 2019 Mar;39(3):1417-1424.	Original Article
289	Inoue T, Katoh N, Ito YM, Kimura T, et al	放射線科	Stereotactic body radiotherapy to treat small lung lesions clinically diagnosed as primary lung cancer by radiological examination: A prospective observational study.	Lung Cancer. 2018 Aug;122:107-112.	Original Article
290	Hajime T, Shiota M, Abe T, et al.	放射線科	Progression to bone-marrow carcinomatosis and extraosseous lesion during treatment with radium-223 for multiple bone metastases.	Int Cancer Conf J. 2018 Apr; 7(2): 48-51.	Original Article
291	Morita K, Maebatake A, Iwasaki R, et al.	放射線科	Evaluation of the Reconstruction Parameters of Brain Dopamine Transporter SPECT images Obtained by a Fan Beam Collimator: A Comparison with Parallel-hole Collimators.	Asia Ocean J Nucl Med Biol. 2018 Spring(Apr);6(2):120-128.	Original Article
292	Koga Y, Baba S, Fukano R, et al.	放射線科	The Effect of Interim FDG-PET-guided Response-Adapted Therapy in Pediatric Patients with Hodgkin's Lymphoma (HL-14) : Protocol for a Phase II Study.	Acta Med Okayama. 2018 Aug;72(4):437-440.	Original Article
293	Hashimoto N, Morita K, Tsutsui Y, et al.	放射線科	Time-of-Flight Information Improved the Detectability of Subcentimeter Spheres Using a Clinical PET/CT Scanner.	J Nucl Med Technol. 2018 Sep;46(3):268-273.	Original Article
294	KS, KM, YK	麻酔科・蘇生科	The relationship between seizure in electroconvulsive therapy and pupillary response using an automated pupilometer.	J Anesth. 2018 Dec;32(6):866-871.	Original Article
295	KS, NF, YK	麻酔科・蘇生科	Effects of preoperative plasma exchange therapy with albumin replacement fluid on blood coagulation in patients undergoing ABO-incompatible living-donor kidney transplantation using rotational thromboelastometry.	BMC Anesthesiol. 2018 Jun 19;18(1):68.	Original Article
296	Tanaka Y, Furusyo N, Kato Y,	総合診療科	Correlation between Thyroid Stimulating Hormone and Renal Function in Euthyroid Residents of Japan: Results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS).	J Atheroscler Thromb. 2018 Apr 1;25(4):335-343.	Original Article
297	Inatomi Y, Yoshida S, Kamizono K et al	形成外科	Successful treatment of severe facial lymphedema by lymphovenous anastomosis.	Head Neck. 2018 Jul;40(7):E73-E76.	Case report
298	Akamine S, Ishizaki Y, Sakai Y, et al	検査部	A male case with CDKL5-associated encephalopathy manifesting transient methylmalonic acidemia.	Eur J Med Genet. 2018 Aug;61(8):451-454.	Original Article
299	Komorita Y, Iwase M, Fujii H, et al	検査部	Impact of Body Weight Loss From Maximum Weight on Fragility Bone Fractures in Japanese Patients With Type 2 Diabetes: The Fukuoka Diabetes Registry.	Diabetes Care. 2018 May;41(5):1061-1067.	Original Article
300	Matsuda S, Yasukawa T, Sakaguchi Y, et al	検査部	Accurate estimation of 5-methylcytosine in mammalian mitochondrial DNA.	Sci Rep. 2018 Apr 11;8(1):5801.	Original Article
301	Uehara E, Nakao H, Tsumura Y, et al	検査部	Slow Elevation in Protein C Activity without a PROC Mutation in a Neonate with Intracranial Hemorrhage.	AJP Rep. 2018 Apr;8(2):e68-e70.	Original Article
302	Shiota M, Fujimoto N, Higashijima K, et al	検査部	Mineralocorticoid receptor signaling affects therapeutic effect of enzalutamide.	Prostate. 2018 May 30.	Original Article
303	Shiotsu H, Okada K, Shibuta T. et al	検査部	The Influence of Pre-Analytical Factors on the Analysis of Circulating MicroRNA.	Microna. 2018 Jul;7(3):195-203.	Original Article
304	Okuzono S, Ishimura M, Kanno S, et al	検査部	Streptococcus pyogenes-purpura fulminans as an invasive form of group A streptococcal infection.	Ann Clin Microbiol Antimicrob. 2018 Jul 9;17(1):31.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
305	Gotoh K, Morisaki T, Setoyama D, et al	検査部	Mitochondrial p32/C1qbp Is a Critical Regulator of Dendritic Cell Metabolism and Maturation.	Cell Rep. 2018 Nov 13;25(7):1800-1815.e4.	Original Article
306	Hayami T, Yamaguchi A, Kato T, et al	検査部	Purpura fulminans in congenital protein C deficiency successfully treated with fresh frozen plasma and thrombomodulin.	J Dermatol. 2018 Jun;45(6):e165-e166.	Original Article
307	Terada S, Sakemoto M, Kawanobe Y, et al	検査部	Establishment of a rapid and simple assay for measuring serum trehalase activity.	Int J Anal Bio-Sci(2018 Jun) 6, 19-24.	Original Article
308	Yasukawa T, Kang D.	検査部	An overview of mammalian mitochondrial DNA replication mechanisms.	J Biochem. 2018 Sep 1;164(3):183-193.	Review
309	Kuramoto N, Wakahara T, Tamagawa Y, et al	検査部	A case of monoclonal gammopathy of undetermined significance with abnormal low levels of plasma glycosylated albumin by M protein.	Clin Chim Acta. 2018 Dec;487:337-340.	Case report
310	Ichiyama M, Inoue H, Ochiai M, et al	検査部	Diagnostic challenge of the newborn patients with heritable protein C deficiency.	J Perinatol. 2019 Feb;39(2):212-219.	Original Article
311	Matsumoto S, Chong Y, Kang D, et al	検査部	High genetic stability in MDCK-SIAT1 passaged human influenza viruses.	J Infect Chemother. 2019 Mar;25(3):222-224.	Original Article
312	Yonemoto K, Ichimiya Y, Sanefuji M, et al	検査部	Early Intervention With Adrenocorticotropin for Acute Encephalopathy-Associated Epileptic Spasms: Report of Two Cases.	Clin EEG Neurosci. 2019 Jan;50(1):51-55.	Original Article
313	Mukae N, Morioka T, Torio M, et al	検査部	Continuous ictal discharges with high frequency oscillations confined to the non-sclerotic hippocampus in an epileptic patient with radiation-induced cavernoma in the lateral temporal lobe.	Epilepsy Behav Case Rep. 2019 Jan 22;11:87-91.	Original Article
314	Chong Y, Matsumoto S, Kang D, et al	検査部	Consecutive influenza surveillance of neuraminidase mutations and neuraminidase inhibitor resistance in Japan.	Influenza Other Respir Viruses. 2019 Mar;13(2):115-122.	Original Article
315	Kojima T,Yamasaki Y,Kamitani T,et al.	放射線部	Dynamic Coronary 320-Row CT Angiography Using Low-Dose Contrast and Temporal Maximum Intensity Projection: A Comparison with Standard Coronary CT Angiography.	Cardiovascular Imaging Asia: 2019 Jan;3(1):1-7.	Original Article
316	Hirose T,Arimura H,Shibayama Y,et al.	放射線部	Effect of accounting for interfractional CTV shape variations in PTV margins on prostate cancer radiation treatment plans.	Phys Med. 2018 Oct;54:66-76.	Original Article
317	Kuramoto t,Morishita J,Kato T,et al.	放射線部	Variations in slice sensitivity profile for various height settings in tomosynthesis imaging: Phantom study.	Phys Med. 2018 Sep;53:108-117.	Original Article
318	Shirasaka T,Nagao M,Yamasaki Y,et al.	放射線部	Feasible scan timing for 320-row coronary CT angiography generated by the time to peak in the ascending aorta.	Clin Imaging. 2019 Mar - Apr;54:153-158. Epub 2019 Jan 10	Original article
319	Wada T,Tokunaga C,Togao O,et al.	放射線部	Visualization of cerebrospinal fluid dynamics using multi-spin echo acquisition cine imaging (MUSACI).	Magn Reson Med. 2019 Jan;81(1):331-341.	Original Article
320	Abe T, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Clinicopathological Significance and Antitumor Effect of MPHOSPH1 in Testicular Germ Cell Tumor.	J Cancer. 2018 Oct 31;9(23):4440-4448.	Original Article
321	Kumagae Y, Hirahashi M, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Overexpression of MTH1 and OGG1 proteins in ulcerative colitis-associated carcinogenesis.	Oncol Lett. 2018 Aug;16(2):1765-1776.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
322	Saeki K, Ohishi Y, Oda Y ,et al.	病理診断科・病理部	"Pancreatic Mucoepidermoid Carcinoma" Is not a Pancreatic Counterpart of CRTC1/3-MAML2 Fusion Gene-related Mucoepidermoid Carcinoma of the Salivary Gland, and May More Appropriately be Termed Pancreatic Adenosquamous Carcinoma With Mucoepidermoid Carcinoma-like Features.	Am J Surg Pathol. 2018 Nov;42(11):1419-1428.	Original Article
323	Iwasaki T, Yamamoto H, Oda Y.	病理診断科・病理部	Current Update on the Molecular Biology of Cutaneous Sarcoma; Dermatofibrosarcoma Protuberans.	Curr Treat Options Oncol. 2019 Mar 14;20(4):29.	Original Article
324	Takemoto J, Kuda M, Oda Y ,et al.	病理診断科・病理部	HuC/D expression in small round cell tumors and neuroendocrine tumors: a useful tool for distinguishing neuroblastoma from childhood small round cell tumors.	Hum Pathol. 2019 Mar;85:162-167.	Original Article
325	Kawazoe T, Saeki H, Oda Y ,et al.	病理診断科・病理部	A case of mixed adenoneuroendocrine carcinoma (MANEC) arising in Barrett's esophagus: literature and review.	Surg Case Rep. 2018 May 8;4(1):45.	Case report
326	Saeki K, Miyasaka Y, Oda Y ,et al.	病理診断科・病理部	Intrapancreatic recurrence of intraductal tubulopapillary neoplasm (ITPN) 16 years after the initial surgery for noninvasive ITPN: a case report.	Surg Case Rep. 2018 Aug 16;4(1):96.	Case report
327	Yugawa K, Yoshizumi T, Oda Y ,et al.	病理診断科・病理部	Primary intrahepatic cholangiocarcinoma with sarcomatous stroma: case report and review of the literature.	Surg Case Rep. 2018 Nov 26;4(1):138.	Case report
328	Fujii S, Nagata K, Oda Y ,et al.	病理診断科・病理部	Wnt/ β -catenin signaling, which is activated in odontomas, reduces Sema3A expression to regulate odontogenic epithelial cell proliferation and tooth germ development.	Sci Rep. 2019 Mar 12;9(1):4257.	Original Article
329	Shen C, Honda H, Suzuki SO, et al.	病理診断科・病理部	Dynactin is involved in Lewy body pathology.	Neuropathology. 2018 Dec;38(6):583-590.	Original Article
330	Maeda N, Honda H, Suzuki SO, et al.	病理診断科・病理部	Mitochondrial dysfunction and altered ribostasis in hippocampal neurons with cytoplasmic inclusions of multiple system atrophy.	Neuropathology. 2018 Aug;38(4): 361-371	Original Article
331	Hommyo R, Suzuki SO, Abolhassani N, et al.	病理診断科・病理部	Expression of CRYM in different rat organs during development and its decreased expression in degenerating pyramidal tracts in amyotrophic lateral sclerosis.	Neuropathology. 2018 Jun;38(3):247-259.	Original Article
332	Fumihiko Yokota, Manish Biyani, Rafiqul Islam, et al	MIC	Lessons Learned from Co-Design and Co-Production in a Portable Health Clinic Research Project in Jaipur District, India (2016-2018)	Sustainability: 2018Nov;10(11):4148.	Original Article
333	Yusuke urukawa, Fumihiko okota, Rafiqul Islam Maruf, et al	MIC	School-based educational intervention to improve children's oral health-related behaviors in rural Bangladesh.	South East Asia Journal of Public Health: 2018Nov;7(2):27-33.	Original Article
334	Shuji Shimizu, Kuriko Kudo, Shunta Tomimatsu, et al	MIC	Thawatchai Akaraviputh, International telemedicine activities in Thailand.	Siriraj Medical Journal: 2018Oct;70(5):471-475.	Review
335	Kimiyo Kikuchi, Junko Yasuoka, Keiko Nanishi et al	MIC	Postnatal care could be the key to improving the continuum of care in maternal and child health in Ratanakiri, Cambodia.	PLoS One. 2018 Jun 11;13(6):e0198829.	Original Article
336	Min Hu, Yasunobu Nohara, Yoshifumi Wakata, et al	MIC	Machine Learning Based Prediction of Non-communicable Diseases to Improving Intervention Program in Bangladesh.	European Journal for Biomedical Informatics: 2018Jun;14(4): 20-28.	Original Article
337	Kimiyo Kikuchi, Rakesh Ayer, Sumiyo Okawa, et al	MIC	Interventions integrating non-communicable disease prevention and reproductive, maternal, newborn, and child health: A systematic review.	Biosci Trends. 2018 Apr;12(2):116-125.	Review
338	Todaka K, Kishimoto J, Ikeda M et al.	ARO	Impact of Risk-Benefit Perception and Trust on Medical Technology Acceptance in Relation to Drug and Device Lag: A Tripartite Cross-Sectional Survey.	Ther Innov Regul Sci. 2018 Sep;52(5):629-640.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
339	Yamamoto S, Egashira N, Tsuda M, et al	薬剤部	Riluzole prevents oxaliplatin-induced cold allodynia via inhibition of overexpression of transient receptor potential melastatin 8 in rats.	J Pharmacol Sci. 2018 Nov;138(3):214-217.	Original Article
340	Iwasaki M, Yano I, Fukatsu S, et al	薬剤部	Pharmacokinetics and Pharmacodynamics of Once-Daily Tacrolimus Compared With Twice-Daily Tacrolimus in the Early Stage After Living Donor Liver Transplantation.	Ther Drug Monit. 2018 Dec;40(6):675-681.	Original Article
341	Fu R, Tajima S, Suetsugu K, et al	薬剤部	Biomarkers for individualized dosage adjustments in immunosuppressive therapy using calcineurin inhibitors after organ transplantation.	Acta Pharmacol Sin. 2019 Feb;40(2):151-159.	Original Article
342	Yamamoto Y, Masuda S, Nakase H, et al	薬剤部	Influence of Pharmaceutical Formulation on the Mucosal Concentration of 5-Aminosalicylic Acid and N-Acetylmethylsalicylic Acid in Japanese Patients with Ulcerative Colitis.	Biol Pharm Bull. 2019 Jan 1;42(1):81-86.	Original Article
343	Tomimatsu S, Kudo K, Moriyama T et al.	国際医療部	How to Prevent Technical Issues in Large Multiparty Medical Videoconferencing.	J Int Soc Telemed eHealth: 2018 Oct; 6: e10	Original Article
344	Ho SH, Uedo N, Aso A et al.	国際医療部	Development of Image-enhanced Endoscopy of the Gastrointestinal Tract: A Review of History and Current Evidences.	J Clin Gastroenterol. 2018 Apr;52(4):295-306.	Review
345	Shimizu S, Kudo K, Tomimatsu S et al.	国際医療部	International Telemedicine Activities in Thailand	Siriraj Medical Journal: 2018 Sep-Oct; 70(5): 461-475	Review
346	Zhang, Y., Kato, H., Sato, H. et al	小児歯科	Folic acid-mediated mitochondrial activation for protection against oxidative stress in human dental pulp stem cells derived from deciduous teeth.	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Jan 15;508(3):850-856.	Original Article
347	Han, X., Nonaka, K., Kato, H. et al	小児歯科	Osteoblastic differentiation improved by bezafibrate-induced mitochondrial biogenesis in deciduous tooth-derived pulp stem cells from a child with Leigh syndrome.	Biochem Biophys Rep. 2018 Nov 28;17:32-37.	Original Article
348	Nguyen, H.T.N.I, Kato, H., Masuda, K. et al	小児歯科	Impaired neurite development associated with mitochondrial dysfunction in dopaminergic neurons differentiated from exfoliated deciduous tooth-derived pulp stem cells of children with autism spectrum disorder.	Biochem Biophys Rep. 2018 Sep 21;16:24-31.	Original Article
349	Pham, T.M.T., Kato, H., Yamaza, H. et al	小児歯科	Altered development of dopaminergic neurons differentiated from stem cells from human exfoliated deciduous teeth of a patient with Down syndrome.	BMC Neurol. 2018 Aug 31;18(1):132.	Original Article
350	Hirofuji S, Hirofuji Y, Kato H, et al.	小児歯科	Mitochondrial dysfunction in dopaminergic neurons differentiated from exfoliated deciduous tooth-derived pulp stem cells of a child with Rett syndrome.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Apr 15;498(4):898-904.	Original Article
351	Yamaza H, Sonoda S, Nonaka K, et al.	小児歯科	Pamidronate decreases bilirubin-impaired cell death and improves dentinogenic dysfunction of stem cells from human deciduous teeth.	Stem Cell Res Ther. 2018 Nov 8;9(1):303.	Original Article
352	Yamaza H, Tomoda E, Sonoda S, et al.	小児歯科	Bilirubin reversibly affects cell death and odontogenic capacity in stem cells from human exfoliated deciduous teeth.	Oral Dis. 2018 Jul;24(5):809-819.	Original Article
353	Tanaka Y, Sonoda S, Yamaza H, et al.	小児歯科	Suppression of AKT-mTOR signal pathway enhances osteogenic/dentinogenic capacity of stem cells from apical papilla.	Stem Cell Res Ther. 2018 Nov 29;9(1):334.	Original Article
354	Han X, Yoshizaki K, Miyazaki K et al.	矯正歯科	The transcription factor NKX2-3 mediates p21 expression and ectodysplasin-A signaling in the enamel knot for cusp formation in tooth development.	J Biol Chem. 2018 Sep 21;293(38):14572-14584.	Original Article
355	Tsuchiya A, Sato M, Takahashi I et al.	矯正歯科	Fabrication of apatite-coated gypsum granules and histological evaluation using rabbits.	Ceramics International:2018 Nov;44(16):20330-20336	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
356	Tomokiyo A, Yoshida S, Hamano S, et al.	歯内治療科	Detection, Characterization, and Clinical Application of Mesenchymal Stem Cells in Periodontal Ligament Tissue.	Stem Cells Int. 2018 Aug 26;2018:5450768.	Review
357	Fujii S, Fujimoto K, Goto N, et al	歯周病科	Characterization of human dental pulp cells grown in chemically defined serum-free medium.	Biomed Rep. 2018 Apr;8(4):350-358.	Original Article
358	Suzuki S, Fukuda T, Nagayasu S, et al	歯周病科	Dental pulp cell-derived powerful inducer of TNF- α comprises PKR containing stress granule rich microvesicles.	Sci Rep. 2019 Mar 7;9(1):3825.	Original Article
359	Nakatsu Y, Matsunaga Y, Yamamotoya Y, et al	歯周病科	Prolyl Isomerase Pin1 Suppresses Thermogenic Programs in Adipocytes by Promoting Degradation of Transcriptional Co-activator PRDM16.	Cell Rep. 2019 Mar 19;26(12):3221-3230.e3.	Original Article
360	May AC, Maeda H, Kurihara H, et al	歯周病科	Draft Genome Sequence of Porphyromonas gingivalis Strain 381 Okayama (381OKJP) Stock Culture.	Microbiol Resour Announc. 2019 Feb 28;8(9). pii: e01641-18.	Original Article
361	Tomoko ishigura, Yoichiro Ogino, Yasunori yukawa, et al.	義歯補綴科	Influence of the wettability of different titanium surface topographies on initial cellular behavior.	Dent Mater J. 2018 Jul 29;37(4):650-658.	Original Article
362	Tsuruta K, Ayukawa Y, Matsuzaki T, et al.	義歯補綴科	The influence of implant-abutment connection on the screw loosening and microleakage.	Int J Implant Dent. 2018 Apr 9;4(1):11.	Original Article
363	Hashiguchi, Y., Kawano, S., Goto, et al	顎口腔外科	Tumor-suppressive roles of Δ Np63 β -miR-205 axis in epithelial-mesenchymal transition of oral squamous cell carcinoma via targeting ZEB1 and ZEB2.	J Cell Physiol. 2018 Oct;233(10):6565-6577.	Original Article
364	Maruse, Y., Jinno, T., Matsubara, R. et al	顎口腔外科	Significant association of increased PD-L1 and PD-1 expression with nodal metastasis and a poor prognosis in oral squamous cell carcinoma.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2018 Jul;47(7):836-845.	Original Article
365	Mikami, Y., Fujii, S., Kohashi, et al	顎口腔外科	Low-grade myofibroblastic sarcoma arising in the tip of the tongue with intravascular invasion: A case report.	Oncol Lett. 2018 Sep;16(3):3889-3894.	Case report
366	Furusho K, Shibata T, Sato R, et al	顎口腔外科	Cytidine deaminase enables Toll-like receptor 8 activation by cytidine or its analogs.	Int Immunol. 2018 Dec 10.	Original Article
367	Sakamoto M, Moriyama M, et al	顎口腔外科	The diagnostic utility of submandibular gland sonography and labial salivary gland biopsy in IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis: Its potential application to the diagnostic criteria.	Mod Rheumatol. 2019 Mar 4:1-6.	Original Article
368	Imajo I, Yamada T, Ishii K, et al.	顔面口腔外科	Maxillofacial fractures resulting from falls.	J Oral Maxillofac Surg. 2018 Jul;68(7):1602-7.	Original Article
369	Yamada T, Sugiyama G, Higashimoto K, et al.	顔面口腔外科	Beckwith-Wiedemann syndrome with asymmetric mosaic of paternal disomy causing hemihyperplasia.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2019 Mar;127(3)	Case report
370	Nakashima A, Yamada T, Nakano H, et al.	顔面口腔外科	Jaw asymmetry may cause bad posture of the head and the spine -a preliminary study-.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology 2018 May 30(3) 242-246	Original Article
371	Nakano H, Inoue K, Sumida T, et al.	顔面口腔外科	Osteosynthesis Using the Uncalcined and Unsintered Hydroxyapatite / Poly-L-Lactic Acid System.	Ann Maxillofac Surg. 2018 Jan-Jun;8(1):116-117.	Original Article
372	Hosokawa R, Ito S, Hirokawa J, et al.	歯科麻酔科	Effectiveness of preanesthetic administration of gabapentin on sedative action during intravenous sedation with propofol.	J Anesth. 2018 Dec;32(6):813-821.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
373	Tsukamoto M, Yamanaka H, Yokoyama T	歯科麻酔科	Predicting the appropriate size of the uncuffed nasotracheal tube for pediatric patients: a retrospective study.	Clin Oral Investig. 2019 Jan;23(1):493-495.	Others
374	Tsukamoto M, Yamanaka H, Yokoyama T	歯科麻酔科	Age-related differences in recovery from inhalational anesthesia: a retrospective study.	Aging Clin Exp Res. 2018 Dec;30(12):1523-1527.	Others
375	Yamanaka H, Tsukamoto M, Hitosugi T, et al	歯科麻酔科	Changes in nasotracheal tube depth in response to head and neck movement in children.	Acta Anaesthesiol Scand. 2018 Nov;62(10):1383-1388.	Original Article
376	Tsukamoto M, Yamanaka H, Hitosugi T, et al	歯科麻酔科	Postoperative Alopecia Following Oral Surgery.	J Oral Maxillofac Surg. 2018 Nov;76(11):2318.e1-2318.e3.	Case report
377	Hosokawa R, Tsukamoto M, Nagano S, et al	歯科麻酔科	Anesthetic Management of a Patient With Hereditary Angioedema for Oral Surgery.	Anesth Prog. 2019 Spring(2019 Mar);66(1):30-32.	Case report
378	Tsukamoto M, Hitosugi T, Yokoyama T	歯科麻酔科	Awake fiberoptic nasotracheal intubation for patients with difficult airway.	J Dent Anesth Pain Med. 2018 Oct;18(5):301-304.	Case report
379	Tsukamoto M, Yamanaka H, Hitosugi T, et al	歯科麻酔科	Bifid epiglottis, high-arched palate, and mental disorder in a patient with Pallister-Hall syndrome.	Indian J Anaesth. 2018 Oct;62(10):825-827.	Others
380	Chikui T, Yamashita Y, Kise Y, et al	口腔画像診断科	Estimation of proton density fat fraction of the salivary gland.	Br J Radiol. 2018 May;91(1085):20170671.	Original Article
381	Shimizu M, Weerawanich W, Takeshita Y, et al	口腔画像診断科	Evaluation of cone-beam computed tomography diagnostic image quality using cluster signal-to-noise analysis.	Oral Radiol. 2019 Jan;35(1):59-67.	Original Article
382	Yuda A, Lee W.S, Petrovic P, McCulloch C.A.	口腔総合診療科	Novel proteins that regulate cell extension formation in fibroblasts.	Exp Cell Res. 2018 Apr 1;365(1):85-96.	Original Article
383	Handa S.S, Baba S, Yamashita K, et al	睡眠時無呼吸センター	The severity of obstructive sleep apnea syndrome cannot predict the accumulation of brain amyloid by imaging with [11C]-Pittsburgh compound B PET computed tomography in patients with a normal cognitive function.	Ann Nucl Med. 2019 Mar 18.	Original Article
384	Yamamoto U, Nishizaka M, Tsuda H	睡眠時無呼吸センター	Crossover comparison between CPAP and mandibular advancement device with adherence monitor about the effects on endothelial function, blood pressure and symptoms in patients with obstructive sleep apnea.	Heart Vessels. 2019 Mar 29.	Original Article

小計12件

合計 384 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	朝野 泰成	心療内科	ストレスとヘルペス感染症	臨床と研究	Original Article
2	朝野 泰成	心療内科	睡眠障害と生活習慣病	臨床と研究 別冊	Original Article
3	山崎亮、吉良潤一	脳神経内科	多発性硬化症の病態とグリア炎症.	神経眼科 2018 35(1): 4-10.	Review
4	藤井敬之、山崎亮、吉良潤一	脳神経内科	アレルギー性炎症に関連した神経障害性疼痛	Peripheral Nerve 2018 29(1): 35-41.	Review
5	渡邊充、白石渉、山崎亮、他	脳神経内科	Facial onset sensory and motor neuropathyの病態と臨床.	Peripheral Nerve , 2018 29(1): 50-55.	Review
6	吉良潤一	脳神経内科	多発性硬化症Update: 日本人患者にどのような視点で疾患修飾薬を選択したらよいか.	神経治療学 2018 35(4): 1-8.	Review
7	田口智章	小児外科	熊本地震における日本小児医療保健協議会(四社協)小児・周産期災害医療対策委員会の活動	熊本地震報告書～小児・周産期災害医療の最前線～	Original Article
8	田口智章、吉丸耕一郎、柳佑典、他	小児外科	小児外科領域における乳歯肝細胞を用いた再生医療	周産期医学48(7): 855-862, 2018	Original Article
9	松浦俊治、田口智章	小児外科	第6章疾患別の栄養法 B消化器疾患 短腸症	小児臨床栄養学 改訂第2版 株式会社 診断と治療法 186-188, 2018	Original Article
10	松浦俊治、田口智章	小児外科	第6章疾患別の栄養法 E小腸移植	小児臨床栄養学 改訂第2版 株式会社 診断と治療法 230-233, 2018	Original Article
11	吉丸耕一郎、桐野浩輔、柳佑典、他	小児外科	脾臓 脾臓部分切除術 5年でマスター消化器標準手術 消化器外科専門医への道	メジカルビュー社 435-441, 2018	Original Article
12	木下義晶、田口智章	小児外科	胎児頸部腫瘍の治療におけるEXITの役割	小児内科 50(2): 267-270, 2018	Original Article
13	文野誠久、宗崎良太、田口智章、他	小児外科	仙尾部奇形腫術後の身体発育に関する長期予後	小児外科 51(1): 86: 2019-	Original Article
14	平野羊嗣、王百慧、謝明憲	精神科神経科	台湾精神医学の発展と日本の関わり- 台大醫院精神部五十年紀要・日治時代精神病学史より -	日本精神神経学雑誌. in press.	Original Article
15	山下洋	精神科神経科	周産期ハイリスク事例への心理社会介入ー愛着形成の視点からー.	日本周産期メンタルヘルス学会会誌	Original Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
16	左野裕介, 吉田茂生, 久保夕樹 他	眼科	中心窩に集中しつつある硬性白斑に対し抗血管内皮増殖因子薬の投与を繰り返した糖尿病黄斑浮腫の1例	臨床眼科 72:1715-1721, 2018/12/14	Case report
17	三股政英, 石川桂二郎, 長谷川英一 他	眼科	網膜剥離を伴ったサイトメガロウイルス網膜炎の6症例の検討	あたらしい眼科 35:1567-1570, 2018/11/30	Case report
18	高木健一, 吉川洋, 田邊美香 他	眼科	眼部にAIDS関連カポジ肉腫を認めた1例	臨床眼科 72:781-786, 2018/06/15	Case report
19	関瑛子, 田邊美香, 吉川洋 他	眼科	義眼床に発生した眼窩炎症性腫瘤の2症例	眼科臨床紀要 11(4):253-256, 2018/04/01	Case report
20	塩瀬聡美	眼科	高血圧 動脈硬化 脂質異常と黄斑変性	日本の眼科 89-10:1384-1389, 2018/10/20	Review
21	石川桂二郎, 園田康平	眼科	最近のサイトメガロウイルス網膜炎	RETINA Medicine 7:20-24, 2018/10/01	Review
22	田邊美香	眼科	II 所見からみた診断の進め方 1. 眼瞼・眼窩・涙道・涙器 3) 涙腺部腫脹	眼科 60:1091-1099, 2018/09/30	Review
23	塩瀬聡美	眼科	加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法	あたらしい眼科 35:1165-1176, 2018/09/30	Review
24	中尾新太郎	眼科	糖尿病網膜症の病態	医学のあゆみ 266:914-918, 2018/09/22	Review
25	秋山雅人	眼科	大規模ゲノムワイド関連解析	遺伝子医学MOOK 33:70-76, 2018/04/10	Review
26	納富昭司, 久富智朗	眼科	網膜下出血と視細胞障害	眼科 60(4):323-328, 2018/04/05	Review
27	木部泰志, 諸熊由子, 持丸朋美 et al	検査部	メタロ-β-ラクタマーゼ産生腸内細菌科細菌におけるクロモアガー mSuperCARBA生培地の性能評価,	日本臨床検査自動化学会会誌(2018) 43, 279-283.	Original Article
28	青木香苗, 山口恭子, 松尾綾花 et al	検査部	胎児輸血を実施し出生後に児由来赤血球の出現が遅延した抗Dによる胎児・新生児溶血性疾患の1症例,	日本輸血細胞治療学会誌(2018) 64, 602-607.	Case report
29	松本信也, 古賀結, 野田望, et al	検査部	プロテインC遺伝子193番リジン欠失バリエーションの日本人における遺伝子頻度の解析,	臨床病理(2018) 66, 833-838.	Original Article
30	清祐麻紀子, 山下有加, 山崎美佳 et al	検査部	Matrix-Assisted Laser Desorption Ionization-Time of Flight Mass Spectrometry(MALDI-TOF MS)導入前後のコストと同定時間に関する検証,	日本臨床微生物学雑誌(2018) 28, 6-12.	Original Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
31	石村匡崇, 市山正子, 落合正行, et al	検査部	わが国における小児遺伝性血栓症の診断と治療,	日本小児血液・がん学会雑誌(2018) 55, 371-375.	Review
32	安川武宏, 康東天	検査部	ミトコンドリアDNAの維持システム Up-to-Date,	メディカル・サイエンス・ダイジェスト(2018) 44, 17-20.	Review
33	清祐麻紀子	検査部	真菌感染症診断 ー臨床検査部の立場から,	感染症(2018) 283, 22-31.	Review
34	川満紀子	検査部	ファブリー病と尿検査	Medical Technology(2018) 46, 1014-1018.	Review
35	板倉朋子, 酒田あゆみ, 渡邊恵利子, et al	検査部	判読結果比較機能を用いた脳波技師の施設内スキルコントロールの試み,	日本臨床検査自動化学会会誌,(2019) 44, 34-40.	Original Article
36	清祐麻紀子, 下野信行.	検査部	ICTのための耐性菌対策お助けブック どのように生かす? 検査結果のフィードバック方法 <i>Clostridioides (Clostridium) difficile</i>.	INFECTION CONTROL, (2019) 326, 229-236.	Others
37	佐野梓, 末次王卓, 秦晃二郎	薬剤部	院外処方せんに表示した臨床検査値に関する疑義照会内容の解析	医療薬学, 44(5) : 229~235, 2018	Original Article
38	佐々木恵一, 辻敏和, 柳原有希	薬剤部	関節リウマチ患者における服薬支援の開始タイミングの特定ーHealth Assessment Questionnaireに基づいた支援需要の解析ー	医療薬学, 44(6) : 261~269, 2018	Original Article
39	田川慎二, 梶原亮佑, 末次王卓	薬剤部	EGFR T790M 変異陽性の非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの副作用解析ー実臨床と臨床試験における副作用の比較検討ー	医療薬学, 44(7) : 355~362, 2018	Original Article

小計9件

合計 39 件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 6 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の適正な遂行、ガイダンス「ARO次世代医療センターの活用法」、認定試験 臨床研究とP I の責務、研究倫理（臨床研究法/倫理指針/プレ審査/IRB）、医師主導治験、プロジェクト管理、試験デザイン、データ管理/モニタリング・監査/安全管理、P I 認定試験（I・II）	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	1,145人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮本 敏弘	血液・腫瘍・心血管内科	副診療科長	29年	
有信 洋二郎	免疫・膠原病・感染症内科	副診療科長	25年	
北園 孝成	消化管内科	診療科長	35年	
北園 孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	35年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科	診療科長	32年	
小川 佳宏	肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	32年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	31年	
吉良 潤一	神経内科	診療科長	40年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	37年	
松元 幸一郎	呼吸器科	副診療科長	30年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	33年	
大賀 正一	小児科	診療科長	35年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	31年	
森 正樹	第二外科	診療科長	39年	
中島 康晴	整形外科	診療科長	29年	
飯原 弘二	脳神経外科	診療科長	32年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	24年	
田口 智章	小児外科	診療科長	40年	
古江 増隆	皮膚科	診療科長	39年	
江藤 正俊	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	33年	
鬼塚 俊明	精神科神経科	副診療科長	28年	
園田 康平	眼科	診療科長	28年	
中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	31年	
西江 昭弘	放射線科	副診療科長	25年	
山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	27年	
北園 孝成	総合診療科	診療科長	35年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	21年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	30年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	33年	
田口 智章	救急科	診療科長	40年	
中島 康晴	リハビリテーション科	診療科長	29年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	22年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	31年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	29年	

西村 英紀	歯周病科	診療科長	34年	
古谷野 潔	義歯補綴科	診療科長	36年	
中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	37年	
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	37年	
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	29年	
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	36年	
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	22年	
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
1	第一内科(血液・腫瘍内科)	血液専門医コース	32	6
2		腫瘍専門医コース	26	3
3		循環器専門医コース	21	1
4	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	感染症専門医コース	18	4
5		リウマチ専門医コース	31	3
6		総合診療プログラム	3	1
7	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	30	11
8		消化管治療習熟コース	8	5
9	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	15	7
10		腎臓内科・医学博士取得コース	19	8
11		脳卒中専門医コース1	3	3
12		脳卒中専門医コース2	5	3
13		糖尿病専門医コース	18	4
14		高血圧専門医・臨床コース	5	2
15		高血圧専門医・大学院コース	3	1
16	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	43	4
17	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	34	5
18		血液・腫瘍総合コース	8	1
19	心療内科	心療内科臨床研修コース	14	6
20	神経内科	神経内科専門医コース	20	6
21		神経内科専門医大学院コース	2	2
22		てんかん専門神経内科コース	3	1
23		認知症専門神経内科コース	1	1
24		脳卒中専門神経内科コース	2	2
25	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース	0	0
26		循環器内科専門医・大学院進学コース	0	0
27		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	18	3
28		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	5	2
29	呼吸器科	クリティカルケアコース	39	3
30	産科婦人科	産婦人科専門医コース	38	13
31		周産期研究者コース	1	1
32	小児科	小児科専門医コース1(大学重点)	0	0
33		小児科専門医コース2(大学重点)	0	0
34		小児科専門医コース2(地域重点)	31	0
35		小児科専門医コース3(地域重点)	0	0
36		小児科専門医・大学院進学コース	0	0
37	第一外科	外科専門医コース	29	1
38		消化器外科専門医取得コース	8	1
39		肝胆膵外科専門医コース	2	1
40		内視鏡外科専門医コース	1	1

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
41	第二外科	外科専門医コース	5	2
42		消化器外科専門医コース	18	2
43		呼吸器外科専門医コース	5	1
44		心臓血管外科専門医コース	6	1
45		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース	12	1
46		がん専門医養成コース	12	2
47	整形外科	整形外科専門医コースA	49	6
48		整形外科専門医コースB	108	8
49	脳神経外科	臨床コース	18	7
50	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	21	4
51	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	11	3
52		小児腫瘍外科重点コース	4	2
53		新生児外科重点コース(1)	6	1
54	皮膚科	皮膚科専門医養成+美容皮膚科実践コース	8	4
55		皮膚科専門医養成+熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	16	6
56		皮膚科専門医養成+小児皮膚科コース	2	2
57		皮膚科専門医養成+皮膚科レーザー治療実践コース	3	3
58		皮膚科専門医養成+皮膚病理強化学習コース	7	4
59		皮膚科専門医養成+形成外科強化学習コース	4	4
60		皮膚科専門医養成+褥瘡・プライマリケアコース	10	6
61	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース	4	4
62		泌尿器科臨床研究医師育成コース	6	6
63		臨床指導医育成コース	5	5
64	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース	73	14
65	眼科	眼科総合習得コース	13	5
66		角膜専門医養成コース	6	1
67		網膜専門医育成コース	10	1
68		黄斑疾患専門医育成コース	8	1
69	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	24	4
70		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	6	3
71	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	38	15
72		放射線治療専門医養成コース	4	4
73		放射線治療専門医養成コース	3	3
74		放射線治療専門医ならびに学位取得コース	4	4
75	総合診療科	病院総合診療医重点コース	4	2
76		病院総合診療医・臨床研究コース	2	1
77		病院総合診療医・大学院進学コース	1	1
78	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	56	16
79	病理診断科・病理部	臨床コース	11	6
83		大学院コース	1	1
84	形成外科	形成外科コース	5	1

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・ 別紙「平成30年度看護職員教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・ 研修の主な内容：看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長） 中間管理者育成研修（リーダークラスの看護師） 入職時研修（新人看護師）
・ 研修の期間・実施回数：期間は平成30年度、実施回数は、28回
・ 研修の参加人数：看護師長41名、副看護師長94名、看護師141名（合計 276名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
対象外

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

平成30年度 看護部教育プログラム (テーマ・分野別/新人・2年目研修以外)

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
1	看護部長講演 (同じ内容で計3回開催)	4/24 4/26 5/2	九州大学病院の看護の現状および今後の 動向を理解し、看護が果たすべき役割を考 える	濱田看護部長	60分	臨床大講堂	全職員対象 申し込み不 要	
2	臨床看護研究発表会	11/17	看護研究の成果を発表し、看護の質の向 上を図る	教育WG	0.5日	臨床大講堂		
3	業務改善報告会	1/26	各部署での業務改善の実践状況を発表し、 意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	1日	臨床大講堂		

<管理者研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
4	新任副看護部長研修	4/23 4/24	九州大学病院および看護部の理念や目標 を理解し、中間管理者としての役割、責任を 認識する	看護部長 副看護部長	計560 分	打ち合わせ 室1	新任副看護師 長6名	
5	新任看護部長研修	3/12 3/13	九州大学病院・看護の理念を再確認した上 で、看護師長として必要な知識を修得し、自 身が果たすべき役割を考える	計490 分	打ち合わせ 室1	新任看護師長 2名		
6	管理者研修1(全6回) (目的)看護管理者に求めら れる責務を理解し、部署目標 の達成を目指して看護管理 過程が達成できる能力を養う	6/8 6/29 7/26 7/28 9/3 2/21	〈第1回〉医療・看護倫理 〈第2回〉看護補助者の活用促進について (事例検討①) 〈第3回〉地域包括ケアシステムの推進 〈第4回〉問題解決技法 〈第5回〉キャリア開発支援 〈第6回〉国立大学病院の現状とこれから -経営管理の視点から-	九州大学大学院医学研究 院保健学部門 教授 中尾 久子 救命ICU/ハイケア看護師長 堀 智恵 医療連携センター 看護師長 村上 弘子 千葉大学 医学部付属病院 特任教授 小林 美亜 三重大学 准教授 宮田 千春 文部科学省大学病院支援室 室長 丸山 浩 専門官 宇野 光子	90分 90分 90分 0.5日 90分 90分	臨床大講堂 中央会議棟 多目的会議室 A・B・C 臨床大講堂 外来棟5階金 庫室2 臨床大講堂 臨床大講堂	副看護師長 96名	
	認定看護管理者研修 修了報告会	11/30 2/28	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力 の向上を目指す	看護部 看護部	60分 60分	臨床大講堂 臨床大講堂		
7	管理者研修2(全5回) (目的) 現在の医療現場を視野に、病 院管理や看護管理の側面か ら問題点を分析し、解決策の 方向性を形成する	5/9 6/27 7/26 11/14 12/5 2/21	〈第1回〉大学病院における看護管理者の役割 〈第2回〉労務管理 〈第3回〉地域包括ケアシステムの推進 〈第4回〉管理事例検討 (部署の現状と課題) 〈第5回〉接遇 〈第6回〉国立大学病院の現状とこれから -経営管理の視点から-	九州大学理事 事務局長 玉上 晃 総務課 井上美穂補佐 医療連携センター 看護師長 村上 弘子 看護部 フィニシングスクールインフィ ニ 戸川 悦子 文部科学省大学病院支援室 室長 丸山 浩 専門官 宇野 光子	90~ 120分	臨床小講堂1 外来棟5階金 庫室2 臨床大講堂 外来棟5階金 庫室2 臨床大講堂 臨床大講堂	看護師長 41名	
	管理実践報告		他部署の管理の現状について情報共有し、自部 署の運営に活かす	看護部	20分	外来棟5階金 庫室2		
8	中間管理者育成研修 (全10回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看 護実践に活かす	6/6 7/4 8/1 9/12 10/3 11/7 11/28 12/19 1/9 2/6	〈第1回〉九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは 〈第2回〉重症度、医療・看護必要度 看護管理の実践(2) 〈第3回〉看護職員の能力開発・人材育成、 看護管理の実践(1) 〈第4回〉医療保険と介護保険、医療連携 〈第5回〉医療安全と医療事故時の対策 〈第6回〉感染管理と病棟管理 〈第7回〉人事・労務管理 〈第8回〉診療報酬と看護【公開講座】 〈第9回〉医療及び看護の質、経営管理と 看護 〈第10回〉災害への対応、研修まとめ	教育委員会 教育WG	90分 17:00 - 18:30	南棟5階カン ファレンスルーム 南棟5階カン ファレンスルーム 南棟5階カン ファレンスルーム 南棟5階カン ファレンスルーム 南棟5階カン ファレンスルーム 南棟5階カン ファレンスルーム 臨床大講堂 南棟5階カン ファレンスルーム 南棟5階カン ファレンスルーム	条件を満たす 希望者 *別途募集	

＜リーダー・指導者育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
9	プリセプターシップ (平成30年度) *プリセプターシップの役割と 機能を学び、プリセプターとし ての能力を高める	3/14	＜第1回＞準備研修	教育担当副看護部長 看護キャリアセンター	1日	百年講堂 中ホール3	条件を満たし 推薦されたもの *別途募集	
		6/20	＜第2回＞支援研修		0.5日			
		10/17	＜第3回＞支援研修		0.5日			
		2/13	＜第4回＞まとめ		0.5日			
10	プリセプターシップ (平成31年度)	H31年 3/13	＜第1回＞準備研修		0.5日			H30年3月募 集
11	臨地実習指導者研修 (全6回) (研修の目的) *看護教育にける実習の意 義及び実習指導者としての役 割を理解し、効果的な実習指 導ができるよう必要な知識を 習得する *自己の看護観の再構築と 実習指導者像の形成を目指 す	5/29	＜第1回＞ガイダンス、実習指導者経験談 看護教育課程、実習指導の原理	別紙参照	0.5日	百年講堂 中ホール3	条件を満たし推 薦されたもの *別途募集	
		6/13	＜第2回＞教育原理、教育方法		0.5日	外来棟5階 会議室2		
		7/25	＜第3回＞看護過程		120分	中央金庫棟 1階多目的会 議室		
		8/29	＜第4回＞実習指導計画、実習指導の評価		0.5日	外来棟5階 会議室2		
		9/7	＜第5回＞カンファレンスの指導方法		120分	中央金庫棟 1階多目的会 議室		
		1/22	＜第6回＞事例検討・まとめ		0.5日	外来棟5階 会議室2		
12	臨地実習指導者研修 (アドバンスコース) (研修の目的) *看護教育における実習の 意義及び実習指導者としての 役割を再確認し、実習指導に 活かす	6/6	＜第1回＞実習指導者の役割 看護教育課程、実習指導の原理	濱田 正美看護部長 九州大学大学院医学研究 院保健学部門 教授 中尾 久子	120分	中央金庫棟 多目的会議 室	条件を満たし推 薦されたもの *別途募集	
		8/6	＜第2回＞看護学生の動向と看護教育の現 状	福岡看護大学 小児看護学分野 教授 飯野 英親	120分	臨床小講堂 2		
		3/5	＜第3回＞まとめ	看護部 実習指導者育成WG	120分	外来棟5階 会議室2		
13	教育担当者研修	5/8	＜第1回＞組織の理念と人材育成の考え方、 他	看護部	60分 (第3 回は90 分)	外来棟5階 会議室2	教育担当副 看護師長46 名	
		6/12	＜第2回＞GW(部署の教育状況と評価)	教育委員会		北棟 共用 会議室1		
		9/3	＜第3回＞キャリア開発支援	三重大学 准教授 宮田 千春		臨床大講堂		
		2/12	＜第4回＞目標達成の評価、まとめ	教育委員会		外来棟5階 会議室2		
14	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者 (第6期)フォローアップ研修	6/8	各部署における指導者としての活動状況を 振り返り、今後の活動が円滑に行えるため の方法を再確認する		0.5日		該当 者	35
15	輸液・シリンジポンプ指導者(第3 期)更新研修	2/7	・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関 する知識や技術を再確認し、指導者として 必要な知識・技術・態度を修得する ・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用法を 指導する能力を養う	医療機器操作強化WG	0.5日	スキルレーニ ンセンター		17
16	リーダーシップⅠ (同じ内容で2回実施)	6/14	リーダーシップ理論を学び、リーダーとして の能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	0.5日	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	40 40
17	キャリア開発支援	9/3	看護職としてのキャリアデザインについて学 び、自身のキャリア開発に役立てる	三重大学 准教授 宮田 千春	90分	臨床大講堂	Ⅳ	40
18	コーチング	1/25	コーチングの基本的スキルを習得し、看護 実践や後輩の指導に適用する	京都大学大学院 教授 佐 和子 京都大学病院 内藤知佐子 大阪大学 准教授 内海桃絵 九州大学大学院医学研究 院 保健学部門 教授 谷口初美	1日	百年講堂 中ホール1・ 2	Ⅲ	80

＜看護倫理＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
19	看護倫理	6/8	看護倫理についての理解を深め、倫理的視 点を持つ	九州大学大学院医学研究 院保健学部門 教授 中尾 久子	90分	臨床小講堂	全	150
20	看護倫理1	9/6	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護 倫理への理解を深める	看護部倫理委員会	0.5日	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	60
21	看護倫理2	11/1	事例を通して倫理上の問題解決の方向性 を探り、看護倫理の理解を深める		0.5日	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	60

＜静脈注射認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
22	静脈注射認定看護師育成研 修	7/7 7/11 7/18	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な 知識・技術を習得し、安全で確実な看護実 践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG 教育WG	講義 1日 演習 0.5日 筆記 試験 60分	臨床小講堂 2 スキルレー ニング センター 臨床小講堂 2	2年目以上の 該当者 (新人看護職 員は別途開 催)	

＜専門領域＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
24	循環管理(実践編)	8/2	循環管理に必要な知識を理解し、看護実践 に活用する	慢性心不全認定看護師 豊沢 真代	0.5日	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	60
25	フィジカルアセスメント(呼吸)	8/17	シミュレーターを使用して呼吸の正常・異常 を理解し、判断する実践能力を身につける	集中ケア認定看護師 鳥羽 好和 院内認定看護師(呼吸 ケア領域)	0.5日	スキルレー ニング センター	Ⅱ	48
26	人工呼吸管理の基本	9/19	人工呼吸器の点検とアラーム対応を学び、 臨床現場で実践する	集中ケア認定看護師 井上 辰幸	90分 13:30- 15:00	臨床小講堂 2	Ⅱ	80
27	人工呼吸管理の実践	10/30	人工呼吸器(Servo i, V60, NHF)を操作・ 体験しながら、適応や正しい操作やアラ ーム対応方法を身につけ、看護実践に活用 する	集中ケア認定看護師 鳥羽 好和 院内認定看護師(呼吸 ケア領域)	0.5日	学習段階: Ⅲ (20名) 会場: ICU 受講条件: 部署で人工呼吸 器装着中の患者ケアを実 践している者。ただし、ICU・ CCU・NICU・ハイケアは除く。		
28	急変対応コース(全3回)	7/5 8/7 9/4	＜第1回＞RRSについて ＜第2回＞BLSについて ＜第3回＞急変対応について	救急看護認定看護師 桑田 睦子 石村 徳彦 進藤幸之助 院内認定看護師(救急 看護)	90分 90分 90分	臨床小講堂 1 スキルレー ニングセ ンター	Ⅲ (全3回 すべて を受講 できるも の)	20
29	感染管理	5/16	正しい感染対策を理解し、部署での実践・ 指導に活かす	感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙	90分	臨床小講堂 2	Ⅲ・Ⅳ 院内認定看護 師(感染管理) リンクナース 60名	
30	褥瘡予防と 体圧分散マットレス	11/21	褥瘡予防の視点で日々の看護ケアが実践でき るスキルを習得する 院内で使用しているマットレスの特徴を理解して 適切に患者に使用する	皮膚排泄ケア 認定看護師 立花由紀子	0.5日	スキルレー ニング センター	Ⅱ: 40名 (ラダーⅡ以上 の取得者でマッ トレスの講義を 受けたことがな い者も受講可)	
31	糖尿病患者の理解とケア (全2回)	7/30 8/29	糖尿病患者の病態を理解し、糖尿病をもつ 患者の看護支援に活かす ＜第1回＞ 糖尿病の薬物治療 ＜第2回＞ インスリン療法について 糖尿病患者の事例検討	薬剤師 慢性疾患看護専門 看護師 桃坂真由美 糖尿病看護認定看護師 梶野 美保 院内認定看護師(糖尿 病看護)	60分 0.5日	臨床小講堂 2 外来棟5階 会議室2	Ⅱ (2回とも受 講できる者)	
32	正確な血糖測定とインスリン 療法	5/22	インスリン療法における現状や課題を認識 し、患者のケアの実践やスタッフの指導の スキルを身につける	糖尿病看護認定看護師 梶野 美保	90分	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	30

33	がん看護の基本と がん診療連携拠点病院の役割	5/31	がん看護の基礎的知識を習得する	がん看護関連 専門看護師 認定看護師	60分	臨床小講堂 2	全職員	150
34	がん看護(実践編1)	7/9	がん患者の緩和ケア・症状マネジメントに関する基礎知識を習得する		1日	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	40
35	がん看護(実践編2)	8/3	終末期における患者・家族にケアを提供するために、役割と基本的態度について理解する		0.5日	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	40
36	がん性疼痛	8/8	全人的側面からがん性疼痛をもつ患者の苦痛を理解し、臨床での症状マネジメントの実践につなげる	がん性疼痛看護 認定看護師 秋野 照美	90分	臨床小講堂 2	Ⅲ・Ⅳ	30
37	乳がん看護	7/25	乳がん治療と看護の実際を理解し、日々の看護実践に活かす	乳がん看護認定看護師 泊 直子	90分	外来棟5階 会議室2	Ⅲ・Ⅳ	40
38	手術看護	7/30	手術室の看護を理解し、自部署の看護実践に活かす	手術看護認定看護師 松岡 美恵 河野 易子	90分	手術部	Ⅲ	10
39	透析看護	12/3	腹膜透析患者の看護、腹膜透析の手技を習得する	透析看護認定看護師 吉田 恵美	90分	外来棟5階 会議室2	全職員	40
40	認知症看護	10/23	認知症および認知ケアの基本を理解し、患者にとって安心できるコミュニケーションを習得する	認知症看護認定看護師 立石 圭	90分	外来棟5階 会議室2	Ⅳ:30 (リーダー業務を任されて、他スタッフのロールモデルになれる者)	
41	小児看護	11/19	小児看護の特徴を理解し、看護実践に活用する	小児医療センター 看護師長 清部 由紀	90分	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	50

＜院内認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	会場	学習 段階	募集 人数
42	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回 褥瘡ケアは全12回) (研修目的) 専門分野において高い知識・ 技術を修得し看護実践や教 育・指導に活かす	①5/28 ②6/25 ③7/30 ④8/27 ⑤9/21 ⑥10/19 ⑦11/12 ⑧12/17 ⑨1/18 ⑩2/18 ⑪3/1 (試験)	小児救急看護 糖尿病看護 感染管理 褥瘡ケア 周術期看護	小児救急看護認定看護師 荒田 弘樹 慢性疾患看護 専門看護師 桃坂 真由美 糖尿病看護認定看護師 梶野 美保 感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美 小林 星沙 皮膚排泄ケア 認定看護師 立花由紀子 仲宗根亜由子 和田 美香 手術看護認定看護師 河野 易子 松岡 美恵	90分	スキルトレー ニングセンターそ の 他		別途募集 あり

＜看護助手研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など		時間	会場	学習 段階	募集 人数
43	看護助手研修	5/24 7/13 12/11 2/15	＜第1回＞ ＜第2回＞ ＜第3回＞ ＜第4回＞	業務委員会 業務WG	0.5日	スキルトレー ニングセンターそ の 他		看護助手

<新人看護職員研修>

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場
44	4/2	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	百年講堂
45	4/3 4/4 4/5	看護部新採用者入職時研修	九州大学病院・看護部の役割を学び、組織の一員であることを理解する 社会人としての基礎的知識・態度を身につける	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・各WG	3日	臨床大講堂
46		接遇研修	①【演習】接遇の基本を学び、九州大学病院の職員としての自覚を持つ	患者サービス向上委員会	120分	スキルトレーニングセンター
47	4/6 4/9	看護実践研修1	②感染管理1(手指衛生・PPE)	感染管理担当	120分	
			③フィジカルアセスメント1(呼吸を整える技術)	集中ケア認定看護師	120分	
			④輸液管理(基礎編)	教育WG	120分	
			⑤輸液ポンプ・シリンジポンプの使用法	医療機器操作強化WG	120分	
			⑥看護記録・電算研修	記録委員会	120分	
48	5/10 5/11	看護実践研修2	【講義】①医薬品の管理薬剤の基礎知識	薬剤部	40分	臨床小講堂1
			②麻薬等の管理について	医療安全看護部委員会	20分	
			【演習】①口腔ケア	歯科医師 歯科衛生士 看護師長 認定看護師 院内認定看護師	100分	スキルトレーニングセンター
			②感染管理2(針刺し防止)		100分	
			③血糖測定とインスリン療法		100分	
49	6/27 6/28	看護実践研修3 (口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	集中ケア認定看護師 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)	講義 30分 演習 140分 ずつ	臨床小講堂1 スキルトレーニングセンター
50	7/4	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基本的知識や方法を身につける	業務委員会 業務WG	90分	百年講堂
51		3か月フォローアップ研修	入職後3か月を振り返り、悩みや不安を話し合い情報共有し、問題解決の方法を考える	教育担当	120分	
52	7/18 7/19 7/20	看護実践研修4 (尿道留置カテーテル挿入)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	感染管理担当 感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙 院内認定看護師 (感染管理領域)	講義 30分 演習 140分 ずつ	臨床小講堂2 スキルトレーニングセンター
53	8/22 8/23 8/24	看護実践研修5 (静脈血採血)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	0.5日	臨床小講堂2 スキルトレーニングセンター
54	9/12 9/13 9/14	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	150分 ずつ	スキルトレーニングセンター
55	10/3	6か月フォローアップ研修	入職後6か月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える。	教育担当	120分	百年講堂
56		フィジカルアセスメント2(心電図の基礎・重症不整脈)	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師	60分	臨床小講堂2
57	11/8 11/9	心肺脳蘇生法(BLS)	一時救命処置(BLS)の知識・技術を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域・ 小児救急看護領域)	120分 ずつ	スキルトレーニングセンター
58	2/19	12か月フォローアップ	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して自己の課題を明確にし次年度の目標を考える。また後輩を受け入れる心構えを持つ。	教育担当	120分	百年講堂
59	2/25	看護実践研修6 静脈注射認定看護師育成研修(講義・演習)	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師・薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 教育WG 静脈注射認定看護師育成WG	1日 (講義)	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター
	2/26 ~ 2/28				0.5日 (演習)	
	3/13				60分 (試験)	

<新卒2年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場
60	6/5 6/6	急変時の看護	・患者の異常に気づき、確実に対応する能力を習得する ・急変時に対応する医療チームの中での看護師の役割を理解する	救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域・ 小児救急看護領域)	120分 ずつ	スキルトレーニング センター
61	6/18	がん看護(基礎編)	がんと共に生きていく患者をサポートするための 看護師の役割を考えることができる。	がん看護関連 専門看護師 認定看護師	0.5日	百年講堂 中ホール1・2
62	1/29	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有 により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	0.5日	百年講堂
63	9月 ～12 月	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1.5～2 日	ICU 救命ICU 手術部 各部署

<新卒3年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場
64	6/11	感染管理	様々な場面での正しい感染対策を再確認して、 部署での実践・指導に活かす	感染管理担当 感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙	90分	臨床小講堂1
65	12/5	接遇	身だしなみや礼節について学び、組織人としての 自覚を認識する	フィニッシングスクール インフィニ 本多 美智子	90分	臨床大講堂

様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 赤司浩一	
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 中島康晴 薬剤副長 江頭伸昭 総務課長江藤直行 医療連携センター長 水元一博 医療管理課長 大賀美喜 患者サービス課長 國宗久資	

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
			・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。 ・本学で定められた保存期間（10年）内の紙カルテは診療録管理室にて一括中央管理で保管しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。 ・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		監査委員会の設置状況	医療管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 吉田 勇人	
閲覧担当者氏名	総務課長 江藤 直行	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の概要 九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。 【開示請求できる文書】 九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。 ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。 【不開示となる文書】 開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。 【開示・不開示決定の通知】 法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。 【開示請求手数料、開示実施手数料】 ○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円 ○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。 【開示請求方法】 法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年 1 2 回 ・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 (7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。 (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (9) 医療安全管理部の業務に関すること。 (10) 医療事故調査に関すること。 (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 1 回
・ 研修の内容（すべて）： ・ 当院の医療安全管理対策について ・ 医薬品の適正使用 ・ 平成29年度発生した事例 ・ これで安心、気道確保 ・ 除細動器取扱い研修会 ・ 第 3 回 閣僚級世界患者安全サミット等出席報告 ・ 医療訴訟と記録 ・ 人工呼吸器 NPPV ネーザルハイフロー管理 ・ 当院におけるB型肝炎の再活性化対策の歴史と未来 ・ MR検査に関する安全性 ・ 地域と病院に求められるBCPのあり方 ・ 全国で発生している医療事故 ・ 平成30年度 特定機能病院間相互のピアレビュー報告 ・ 平成30年度 第1回 医療安全監査委員会報告 ・ 周術期呼吸管理 ・ 創傷被覆材の使い方と症例報告 ・ 公認クリティカルパスと医療安全 ・ 2018 KAIZEN-TQMプロジェクト報告会	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ インシデント情報の発信
 - ・ 日々報告のあるインシデント事例から特に警鐘を促すべき事例について毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している。
 - ・ リスクマネージャーを対象とした研修会の開催。
 - ・ 医療安全管理マニュアルとホームページの改訂。
 - ・ 「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載。
 - ・ 再活性化B型肝炎予防策策定とシステム改修の検討。
 - ・ PET-CT検査前チェックリストの作成、改訂。
 - ・ ガベキサートメシル酸塩の院内ルール作成、周知。
 - ・ 報告すべき事例の例示。
 - ・ インスリン注射指示だし、指示受け実施に関する院内ルール作成、周知。
 - ・ 透視室救急カート、AED配置状況改善。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☒ 有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： (1) 院内感染防止対策のための措置に関すること。 (2) 院内感染防止対策に係る職員の教育及び研修に関すること。 (3) 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 (4) グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 (5) その他院内感染防止対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年38回
・ 研修の内容（すべて）： ・ これだけは実践しよう！感染対策の基礎 ・ 感染対策担当者の役割 ・ 手指衛生と個人防護具着脱の演習 ・ 救命救急医療における感染症と感染対策 ・ 呼吸器感染症診断に役立つ微生物検査 ・ アンチバイオグラムの活用 ・ 潜在性結核・その他について ・ ASTによる抗菌薬適正使用支援 ・ エビネットの年度集計報告 ・ 小児・新生児感染症について ・ 九州大学病院における抗菌薬および耐性菌の現状 ・ ARDCガイドラインについて	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☒有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導 ・ 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 ・ アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ・ ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 ・ 経路別予防策の指導・教育 ・ 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ・ ベストプラクティスの作成、遵守状況確認 ・ 抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例） ・ 交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止 ・ 血液培養複数セット採取の推奨 ・ ASTラウンド	

(注) 前年度の実績を記入すること。

**規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置**

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年7回
・ 研修の主な内容： ・ 薬剤のオーダーと運用について ・ 医薬品の適正使用 ・ 抗がん剤の副作用について ・ 薬剤部におけるリスクマネジメント ・ 医薬品の管理・薬剤の基礎知識 等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (☒有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 ・ 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 ・ 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 ・ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ 未承認：なし ・ 適応外：切迫早産に対して、ニフェジピンCR錠を子宮収縮抑制剤として使用 など ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 未承認等医薬品のうち、適応外使用について「既承認薬適応外使用報告書の提出」を義務化し、リスク分類に基づいた対応を行い、医薬品安全管理専門委員会並びに医療安全管理委員会で報告。 ・ 毎月疑義照会報告を医療安全委員会等で実施し、リスクマネージャーを通じて周知。 ・ 麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬は業務手順チェック表に基づき管理状況を点検。4 半期に 1 回定数配置薬チェックシートに基づき、管理状況点検。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年48回
・ 研修の主な内容： ・ 除細動器の取り扱いについて ・ 生体情報モニターについて ・ 体温管理システム「ArcticSun」について ・ 血流計「AureFio」について ・ 人工呼吸器「ネーザルハイフロー」について 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 ・ 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ 輸入角膜を使用した角膜移植術（2 症例） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 ・ 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 ・ 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 20 の 2 第 1 項第 1 号から第 13 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・責任者の資格（☒医師・☐歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。 医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。 なお、平成 28 年 9 月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ （ 9 名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 緊急安全性情報、安全性速報、医薬品の適正使用に関して、ホームページ掲載や全職員宛 e メール送信のみでなく、該当診療科のリスクマネージャー宛に再度情報を e メール送信し、周知内容の確認並びに確認表の管理を依頼。その他の情報については必要に応じて対応。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 処方監査時に発生する疑義照会内容の確認・把握と院内情報共有（毎月） 高度新規医療評価部会での協議（適宜） 臨床倫理審査委員会での審議内容の把握（適宜） ・担当者の指名の有無（☒有・無） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒ 有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 医療安全 【遵守状況の確認】 ・影響度レベル 3 a 以上のインシデントが発生し報告された時 ・報告されたインシデントの経過を確認する時 ・全死亡・死産事例を把握・検討する時 【指導の主な内容】 ・インシデントに関わる IC 関連記録に不備・不適切な記載があるもの。 ・インシデントに関する IC の記録がないもの。 診療録 診療録管理室：診療科単位でカルテレビューを行い、対象症例から IC 記載等に関する状況を確認し、内容の検討を行って指導している。	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録の量的監査として、退院サマリー期限内完了率、手術記録の未完了、指導管理料未記載、研修医カルテ未承認について定期的に実施している。診療録の質的監査については、毎月複数の診療科を対象とし、入院から退院までの流れに沿って、入院診療計画書、IC 記録、説明同意書、手術記録、退院サマリー、死亡診断書のカルテ監査を行っている。監査結果はカルテ委員会で報告し、必要に応じて修正依頼を行っている。退院サマリーについては、多部署（診療録管理室、診断書作成補助室、がん登録室、DPC 管理室）で監査し、不備が見つかった退院サマリーは診療科へ修正依頼を行っている。他、医療安全上、問題となった症例を対象として、医師、看護師、診療情報管理士等の多職種によるカルテ記載の確認を行い、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室での合同カルテレビューを定期的に開催している。	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（５）名、専任（ ）名、兼任（１）名 うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（３）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ■事故防止に関すること インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる。 ■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること 基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施 ■院内の事故に関すること 状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導 診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底 原因究明・改善策の確認や必要な指導 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ ７件）、及び許可件数（ ７件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有・無 ） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有・無 ） ・活動の主な内容： （１）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。 （２）（１）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。 （３）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。 （４）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告する	

こと。
・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ 無)
・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (1 件)、及び許可件数 (1 件)
・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)
・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無)
・ 活動の主な内容 :
(1) 診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会(九州大学病院臨床倫理委員会)に対して当該未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
(2) (1)の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
(3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
(4) 未承認新規医薬品等の使用の適否について決定したとき及び未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。
・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ 無)
・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 253 件
・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 180 件
・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成28年9月から実施している。報告の実施状況の確認については、平成28年9月分から医療安全管理部でチェックを行っている。
有害事象(報告範囲)についての報告は、基準を影響度分類3b以上とした上で死亡例も含め既に実施している。
確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会(委員長:病

院長)で報告している。
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況
・他の特定機能病院等への立入り (☒ (病院名: 奈良県立医科大学附属病院) ・無) ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (☒ (病院名: 福島県立医科大学附属病院) ・無) ・技術的助言の実施状況 特になし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況
・体制の確保状況 ○「患者相談支援室」: 患者相談対応を目的として設置 ・医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼 ○「意見箱」: 患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置 ・外来診療棟 1 階総合案内、北棟 1 階エレベーターホール、北棟・南棟 5 ～ 1 1 階のラウンジ、ウエストウイング 1 ・ 2 階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記 ・医療安全に係る内容に関する意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告
⑫ 職員研修の実施状況
・研修の実施状況 ・医療に係る安全管理のための基本的考え方および具体的方策 ・職員の安全に対する意識・安全に業務を遂行するための技能及びチームの一員としての意識の向上 ・監査委員会・ピアレビュー時の指導報告 ・医療機器導入時の研修 ・インシデントの報告
(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)
⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加 (平成 30 年度は医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の 3 名が参加)
(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

平成30年度 医療安全管理・院内感染対策研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会

開催日	開催時間	時間	場 所	受講者数 (名)	(内 訳)					その他 (学生等)	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
					医師 数	研修員 数	技術系 職員	医務部 職員	事務局 職員				
平成30年4月16日	14:00	30 分	百年講堂大ホール	578	280	16	53	180	67	0	(必須)医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD研修会)	-当院の医療安全管理対策について -これだけは実践しよう！感染対策の意識	-医療安全管理部 後 田 由美 -グローバル感染センター 安永 幸枝
平成30年4月17日	17:00		759	283	2	93	345	36	0				
平成30年4月19日	14:00		528	179	2	48	224	75	0				
平成30年4月27日	17:00		316	120	1	41	122	32	0				
平成30年5月9日	17:00		148	50	18	20	50	10	0				
平成30年5月9日	17:00		137	46	7	17	56	11	0				
平成30年5月11日	14:00		194	52	13	24	73	32	0				
平成30年5月17日	17:00		146	37	11	13	74	11	0				
平成30年5月18日	17:00		115	43	6	11	54	1	0				
平成30年5月21日	17:00		110	28	4	12	52	14	0				
平成30年5月22日	10:00		97	29	2	12	38	18	0				
平成30年7月19日	15:30		55	24	0	13	11	7	0				
平成30年8月20日	15:30		91	81	1	6	10	13	0				
平成30年9月14日	14:00		65	28	0	7	9	21	0				
平成30年10月12日	15:15		57	27	0	5	1	24	0				
平成30年11月14日	18:15		28	24	0	0	1	3	0				
平成30年12月23日	17:00	338	88	47	50	136	17	0					
平成30年12月28日	17:00	364	148	4	26	188	18	0					
平成30年12月14日	18:30	105	46	5	20	29	5	0					
平成30年12月27日	17:00	369	121	7	46	188	29	0					
平成30年12月11日	17:00	283	60	8	35	155	25	0					
平成30年12月24日	18:00	98	27	4	9	28	30	0					
平成30年12月23日	17:30	297	78	11	28	157	27	0					
平成30年12月4日	18:00	157	63	0	23	59	12	0					
平成30年12月14日	15:45	181	58	1	22	61	39	0					
平成30年12月28日	18:15	163	39	4	22	86	12	0					
平成30年12月27日	18:15	102	19	1	18	58	6	0					
平成30年10月2日	18:15	123	47	0	11	60	5	0					
平成30年10月4日	18:15	179	45	0	35	54	45	0					
平成30年10月11日	18:00	121	78	1	17	15	10	0					
平成30年10月12日	14:00	147	33	1	19	48	46	0					
平成30年10月15日	15:15	84	35	1	8	34	6	0					

[illegible]

平成30年度 医療安全管理研修会(DVD貸出一覧)

No.	開催日	開始時間	7/10	部署	場所	受講者数	(内訳)				研修名	テーマ	講師
							医師	医学生	研修生	その他			
1	平成30年9月4日	11:00	90分	放射線科	放射線科 医局	5	5				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
2	平成30年9月5日	8:00	90分	放射線科	第一研修室	6	6				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
3	平成30年9月19日	18:00	90分	循環内科	循環内科医局	2	2				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
4	平成30年9月18日	11:00	90分	第一内科	北11階 カンパニ スルーム	2	2				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
5	平成30年9月21日	18:15	90分	放射線科	第一研修室	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
6	平成30年9月28日	12:00	90分	第二内科	臨床研究棟 A4F カンファ ンス	8	8				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
7	平成30年10月1日	19:30	90分	口腔総合診療科	医局	1				1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
8	平成30年10月4日	15:00	90分	心療内科	北3階 1南棟	24	24				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
9	平成30年10月4日	18:00	90分	産科新生児科	医局	9	9				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
10	平成30年10月2日	14:30	90分	手術部	手術部 医局	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
11	平成30年10月9日	12:00	90分	ARO次世代医療セン ター	先端分子細胞治療科	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
12	平成30年10月10日	13:00	90分	南7-2	南7-2	1				1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
13	平成30年10月11日	14:30	90分	矯正歯科	矯正歯科スタッフ ーム	2	2				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
14	平成30年10月13日	20:00	90分	がんセンター	がんセンター	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
15	平成30年10月15日	12:00	90分	眼科	外務診療室	3	3				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
16	平成30年10月10日	12:00	90分	眼科	外務診療室	3	3				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
17	平成30年10月9日	12:00	90分	眼科	外務診療室	4	3			1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
18	平成30年10月5日	12:00	90分	眼科	外務診療室	3	3				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
19	平成30年10月1日	19:00	90分	眼科	南11カンパニ スルーム	15	15				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
20	平成30年10月15日	9:00	90分	手術科4-4階	北棟外来6階 スタッフ ルームA3	1				1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
21	平成30年10月18日	14:00	90分	北3-2	ナースステ ーション	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
22	平成30年10月18日	18:00	90分	呼吸器科	呼吸器科スタッフ ーム	5	5				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
23	平成30年10月18日	12:00	90分	第二内科	臨床研究棟 A4F カンファ ンス	8	8				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
24	平成30年10月17日	12:00	90分	検査部	北3 コア一 画	1				1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
25	平成30年10月19日	14:00	90分	総合外来 看護管理 室	総合外来 看護管理 室	1				1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
26	平成30年10月15日	17:30	90分	経理課	臨床研究棟 A4F カンファ ンス	3	3				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
27	平成30年10月15日	18:00	90分	耳鼻科	耳鼻科 医局	2	2				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
28	平成30年10月18日	20:00	90分	放射線科	放射線科医局	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
29	平成30年10月19日	17:30	90分	産科新生児科	北5 技術研 究スタッフ ーム	1				1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
30	平成30年10月18日	15:00	90分	臨床研究科	臨床研究科 会議室メモ ールーム	6	6				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
31	平成30年10月16日	18:00	90分	第二内科	医局	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
32	平成30年10月23日	20:00	90分	小児科	NCU	1	1				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師
33	平成30年10月26日	18:00	90分	第二内科	研究白紙5階 2内科分 ンシアンスルーム	2	2				【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD) 講師

No.	開催日	開始時間	7/10	場 所	受講者数	講 師	主 催 者	協 賛 者	備 考	研 修 会 名	テ ー マ	備 考
34	平成30年10月31日	20:00	90分	小児科医局	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
35	平成30年11月1日	13:30	90分	診療科医局	1				1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
36	平成30年11月1日	9:00	90分	北棟4-5階	1				1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
37	平成30年11月2日	13:00	90分	北棟10階 医局	3	3				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
38	平成30年11月3日	17:00	90分	北棟10階 医局	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
39	平成30年11月5日	12:00	90分	眼科	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
40	平成30年11月8日	12:00	90分	眼科	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
41	平成30年11月22日	12:00	90分	眼科	2	2				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
42	平成30年11月12日	11:55	90分	北7-2	1	1			1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
43	平成30年11月13日	15:00	90分	耳鼻科	2	2				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
44	平成30年11月9日	13:00	90分	形成外科	7	7				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
45	平成30年11月15日	16:30	90分	眼科 A4F カンファス	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
46	平成30年11月19日	10:00	90分	眼科	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
47	平成30年11月18日	13:00	90分	小児科	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
48	平成30年11月8日	12:50	90分	三内科(総合診療)	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
49	平成30年11月12日	18:00	90分	循環器内科	9	9				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
50	平成30年11月13日	13:00	90分	小児科	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
51	2018/11/16-28		90分	眼科 北3Fカンファス	8	8				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
52	平成30年11月24日	17:00	90分	眼科 手術部 会議室	5	5				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
53	平成30年11月28日	17:00	90分	眼科 10F南廊下外科医局	8	8				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
54	平成30年11月29日	18:30	90分	眼科 ウェストウイングカン フレックス	17	17				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
55	平成30年11月29日	18:00	90分	皮膚科	12	12				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
56	平成30年11月30日	18:00	90分	眼科 北3F技術部スタッフ室	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
57	平成30年11月30日	17:00	90分	産婦人科	13	13				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
58	平成30年12月5日		90分	心療内科	2	2				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
59	平成30年12月13日	11:00	90分	高松市立総合医療 センター	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
60	平成30年12月14日	16:00	90分	心療内科	1	1				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
61	平成30年12月14日		90分	神経内科	5	5				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
62	平成30年12月14日	15:00	90分	総合内科	4	4				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
63	平成30年12月17日	18:00	60分	皮膚科	15	15				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
64	平成30年12月17日	18:10	60分	高松市立総合医療 センター	1	1			1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
65	平成30年12月17日		90分	メデカルインフォー メーションセンター	1					【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
66	平成30年12月18日	10:00	90分	放射線科	2	2				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
67	平成30年12月20日	18:00	90分	泌尿器科	13	13				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)
68	平成30年12月18日	13:00	80分	放射線科	3	3				【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！医療対策の基礎	(DVD教材)

No.	開催日	開始時間	7/10	講者	場所	受講人数	(内訳)					研修名	テーマ	講師
							医師	看護師	薬剤師	その他(予定外)				
104	平成31年2月4日	18:32	90分	解剖・口腔外科	医局	3	3				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	「当院における変化する感染症の対応と治療」 「消毒薬の使用とその効果について」 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	佐藤 隆子 先生 西田真美子 先生 村岡孝代子 薬剤師主任	
105	平成31年2月4日	18:00	90分	新設部	新設部棟	1	1				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	*「当院における変化する感染症の対応と治療」 *「消毒薬の使用とその効果について」 *「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	下野 徹行	
106	平成31年2月6日	18:00	90分	ARGO次世代センター	イノベーションF	1	1				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「アンチバイオフィウムの活用」 - 「施設安全衛生管理計画の見直し」 - 「設備点検の実施状況」	佐藤 隆子 先生 西田真美子 先生 村岡孝代子 薬剤師主任	
107	平成31年2月6日	18:00	90分	腎臓内科、泌尿器科	第4 腎臓病診療室	3	3				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	下野 徹行	
108	平成31年2月6日	18:00	90分	血液腫瘍内科、免疫・膠原病・癌療内科	北1階がんアセスメント	15	15				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
109	平成31年2月6日	18:00	90分	皮膚形成外科、美容外科	北12階コアアセスメント	20	20				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
110	平成31年2月6日	4:00	90分	第三内科	自記	1	1				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
111	平成31年2月6日	17:10	90分	循環内科	南側待合廊下	1	1				[遠隔]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
112	平成31年2月7日	13:30	90分	総務課	カンファレンス室	9	9				[必須]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
113	平成31年2月8日	16:00	90分	高専看護科全学管理科	基幹事務科全学管理科	3	3				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
114	平成31年2月8日	18:00	90分	高専看護科全学管理科	基幹事務科全学管理科	6	6				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
115	平成31年2月8日	15:00	90分	小児科	北12階コアアセスメント	5	5				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
116	平成31年2月8日	15:00	90分	第三内科	第三内科問診室	6	6				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
117	平成31年2月12日	18:00	90分	産科婦人科	医局	4	4				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
118	平成31年2月15日	18:00	90分	脳神経内科	脳神経科セミナー	6	6				[必達]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
119	平成31年2月18日	16:00	90分	ARGO次世代センター	CRC部門	1	1				[必達]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
120	平成31年2月13日	15:00	90分	産業時労研セブン	産業時労研セブン	8	8			6	[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
121	平成31年2月14日	14:00	90分	心療内科	医局	22	22				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
122	平成31年2月18日	15:00	90分	リハビリテーション科	リハビリテーション科	1	1			1	[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
123	平成31年2月18日	15:00	90分	小児科	北12階コアアセスメント	1	1				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
124	平成31年2月14日	15:00	90分	呼吸器科	北12階コアアセスメント	10	10				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
125	平成31年2月15日	18:00	90分	脳神経外科	脳神経外科A線路上に三ミ	10	10				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
126	平成31年2月15日	17:00	90分	脳神経外科	脳神経科セミナー	7	7				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
127	平成31年2月12日	14:00	90分	MRC	臨床研究センター	1	1			1	[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
128	2019/2/18-21		90分	診療管理室	診療管理室	2	2			2	[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
129	平成31年2月12日	13:00	90分	眼科	外来診療室	7	7				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
130	平成31年2月30日	16:30	90分	眼科	外来診療室	3	3				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
131	平成31年2月31日	12:30	90分	眼科	外来診療室	2	2				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
132	平成31年2月4日	12:30	90分	眼科	外来診療室	5	5				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
133	平成31年2月4日	12:30	90分	眼科	外来診療室	5	5				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
134	平成31年2月5日	12:30	90分	眼科	外来診療室	6	6				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
135	平成31年2月15日	18:00	90分	三内科	臨床研究センター	2	2				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
136	平成31年2月15日	18:00	90分	形成外科	カンファレンスルーム	5	5				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
137	2019/2/18-2/18		90分	臨床研究センター	臨床研究センター	5	5			5	[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	
138	平成31年2月26日	17:00	90分	救命救急センター	救命救急センター	3	3				[選別]医療安全管理、院内感染対策合同研修会(DVD)研修会	- 「当院における変化する感染症の対応と治療」 - 「消毒薬の使用とその効果について」 - 「抗菌薬使用量のモニタリングについて」	山崎 由希 先生 山下 幸志 先生 矢野 寛久 先生	

平成30年度 医療安全管理・院内感染対策研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会

開催日	開始時間	時間	場 所	受講者数 (定員)	(内 訳)					研 修 会 名	テ ー マ	講 師
					既修者数 (前年度)	新規修得者数 (本年度)	延修者数 (前年度)	本研修員 (本年度)	その他 (本年度)			
平成30年4月18日	14:00	40 分	百年講堂大ホール	574	574	258	16	53	180	67	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年4月17日	17:00		574	258	2	93	345	36	0	0		
平成30年4月19日	14:00	40 分	百年講堂大ホール 中ホール	528	528	179	2	48	224	75	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年4月27日	17:00		316	316	120	1	41	122	32	0		
平成30年5月8日	17:00	90 分	講義大講堂	148	148	50	18	20	50	10	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年5月9日	17:00			137	137	46	7	17	56	11		
平成30年5月11日	14:00	90 分	講義大講堂	194	194	52	13	24	73	32	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年5月17日	17:00			146	146	37	11	13	74	11		
平成30年5月18日	17:00	90 分	講義大講堂	115	115	43	6	11	54	1	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年5月21日	17:00			110	110	28	4	12	52	14		
平成30年5月22日	16:00	90 分	講義大講堂1	97	97	29	2	12	36	18	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年5月19日	15:30			55	55	24	0	13	11	7		
平成30年4月20日	15:00	90 分	講義大講堂	91	91	61	1	6	10	13	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年4月14日	14:00			65	65	28	0	7	9	21		
平成30年10月12日	15:15	40 分	百年講堂大ホール	57	57	27	0	5	1	24	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年11月14日	18:15			27	27	23	0	0	1	3		
平成30年4月20日	17:00	40 分	会議室2	83	83	32	2	8	41	0	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年5月23日	17:00	60 分	百年講堂大ホール	338	338	88	47	50	136	17	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年5月28日	17:00	60 分	講義大講堂	364	364	148	4	26	168	18	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年6月4日	17:00	60 分	百年講堂大ホール1・2	106	106	46	5	20	29	6	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年6月14日	18:30	90 分	百年講堂大ホール	105	105	46	5	20	29	5	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年6月27日	17:00	60 分	講義大講堂	369	369	121	7	46	166	29	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年7月11日	17:00	60 分	講義大講堂	283	283	60	8	35	155	25	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年8月23日	17:30	60 分	百年講堂大ホール	297	297	76	11	26	157	27	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年9月4日	16:00	60 分	講義大講堂	157	157	63	0	23	59	12	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年9月14日	15:45	60 分	百年講堂大ホール	181	181	58	1	22	61	39	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年9月28日	18:15	60 分	講義大講堂	163	163	39	4	22	86	12	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年9月27日	18:15	60 分	講義大講堂	102	102	19	1	18	58	6	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年10月2日	18:15	60 分	講義大講堂	123	123	47	0	11	60	5	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年10月4日	18:15	60 分	百年講堂大ホール	179	179	45	0	35	54	45	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年10月11日	18:00	90 分	百年講堂大ホール	121	121	78	1	17	15	10	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝
平成30年10月12日	14:00	60 分	百年講堂大ホール	147	147	33	1	19	48	46	① 当校の医療安全管理対策について これには関係しよう！感染対策の基礎	① 医療安全管理課 後 池田 由美 ② グローバル感染センター 安永 孝枝

[illegible]

平成30年度 医療安全管理研修会(DVD貸出一覧)

175

No.	開催日	開演時間	7/10	会場	場所	受講者数	講師	修習者数	修習者名	テーマ	講師
34	平成30年10月31日	20:00	90分	小児科(産)	小児科医局	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
35	平成30年11月1日	13:30	90分	医療管理課	診療管理室	1		1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
36	平成30年11月1日	9:00	90分	北棟4・5階	北棟5階外来	1		1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
37	平成30年11月2日	13:00	90分	第二内科	北棟10階 西内1	3	3		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
38	平成30年11月3日	17:00	90分	臨床検査部	医局	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
39	平成30年11月5日	12:00	90分	眼科	外注診療室	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
40	平成30年11月5日	12:00	90分	眼科	外注診療室	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
41	平成30年11月2日	12:00	90分	眼科	外注診療室	2	2		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
42	平成30年11月12日	11:35	90分	北2-2	北2 ナースセンター	1		1	【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
43	平成30年11月13日	15:00	90分	耳鼻科	耳鼻科	2	2		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
44	平成30年11月3日	13:00	90分	形成外科	医局	7	7		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
45	平成30年11月15日	18:30	90分	第二内科	臨床検査部 A4F カン7室	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
46	平成30年11月18日	10:00	90分	眼科	医局	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
47	平成30年11月18日	13:00	90分	小児科	外来	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
48	平成30年11月18日	12:50	90分	三内科(きらめき)	産宅	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
49	平成30年11月12日	18:00	90分	循環器内科	conカンファレンス室	9	9		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
50	平成30年11月13日	13:00	90分	小児科	北8Fカンファレンス室	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
51	2018/11/6-28		90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	8	8		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
52	平成30年11月20日	17:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	5	5		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
53	平成30年11月28日	17:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	8	8		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
54	平成30年11月23日	18:30	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	17	17		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
55	平成30年11月29日	18:00	90分	皮膚科	皮膚科	12	12		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
56	平成30年11月30日	18:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
57	平成30年11月30日	17:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	13	13		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
58	平成30年12月5日	9:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	2	2		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
59	平成30年12月13日	11:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
60	平成30年12月14日	18:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
61	平成30年12月14日	9:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	5	5		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
62	平成30年12月14日	15:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	4	4		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
63	平成30年12月17日	18:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	15	15		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
64	平成30年12月17日	18:10	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
65	平成30年12月17日	9:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	1	1		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
66	平成30年12月18日	10:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	2	2		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
67	平成30年12月20日	15:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	13	13		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
68	平成30年12月18日	13:00	90分	眼科	眼科医科 眼科ミミナール	3	3		【必須】医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)

No.	開催日	開始時間	7/10	部署	場所	受講者数	講師	テーマ	研修名	備考	講師
139	平成31年2月22日	15:08	60分	窓口受付科	北1研修棟カンファレンスルーム	4	4	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
140	平成31年2月28日	17:00	60分	心臓血管外科	教員室3	3	3	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
141	平成31年2月28日	18:20	60分	心臓血管外科	援助人工心臓室	9	9	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
142	平成31年2月11日	15:00	60分	研究支援課	教員室	2	2	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
143	平成31年2月28日	16:00	60分	放射線科	放射線科305	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
144	平成31年2月4日	18:00	60分	小児科	小児科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
145	平成31年2月8日	18:00	60分	救急内科	救急内科	28	28	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
146	平成31年2月7日	18:00	60分	プレイングセンター	プレイングセンター	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
147	平成31年2月12日	12:00	60分	眼科	外来診療室	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
148	平成31年2月7日	13:00	60分	眼科	外来診療室	2	2	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
149	平成31年2月8日	15:00	60分	ARO文庫代読センター	ARO	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
150	平成31年2月12日	18:00	60分	眼科	眼科	2	2	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
151	平成31年2月13日	12:00	30分	総務課	総務課	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
152	平成31年2月10日	17:00	60分	眼科	手術室	16	16	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
153	平成31年2月4日	13:00	60分	眼科	眼科	6	6	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
154	平成31年2月14日	17:00	60分	先端分子細胞治療科	先端分子細胞治療科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
155	平成31年2月14日	18:00	60分	産婦人科	研究棟	12	12	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
156	平成31年2月11日	18:00	60分	小児科	小児科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
157	平成31年2月12日	18:00	60分	産婦人科	研究棟カンファレンスルーム	3	3	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
158	平成31年2月18日	18:00	60分	第一外科	第一外科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
159	2019/3/18-3/19		60分	産婦人科	産婦人科	17	17	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
160	平成31年2月18日	9:00	60分	産婦人科	産婦人科	27	27	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
161	平成31年2月24日	22:00	60分	衛生・公衆衛生	衛生	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
162	平成31年2月27日	10:00	60分	MIC	MIC	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
163	平成31年2月27日	18:30	60分	精神科	精神科	16	16	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
164	平成31年2月28日	8:30	60分	眼科	眼科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
165	平成31年2月29日	12:00	60分	産婦人科	産婦人科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
166	平成31年2月15日	15:00	60分	小児科	小児科	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
167	平成31年2月28日	12:00	60分	看護学校	看護学校	1	1	当院における災害時の対応について	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)研修会		医療安全管理課長 山田 由美 グローバル感染センター 下野 健行
168			分								
合 計											
必須											
選択(安全)											

一フィルター後、期シートで計算し入力すること

平成30年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成30年5月23日	60分	百年講堂大ホール	338	【選択】医薬安全管理・院内感染対策合同研修会	・アンチバイオグラムの活用 ・医薬品の適正使用	・検査部 西田留梨子 先生 ・医薬品安全管理専門委員会 村岡香代子 薬剤部主任
2	平成30年8月23日	60分	百年講堂大ホール	297	【選択】医薬安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD研修会)	・アンチバイオグラムの活用 ・医薬品の適正使用	・検査部 西田留梨子 先生 ・医薬品安全管理専門委員会 村岡香代子 薬剤部主任
小計				635			

○ 採用者への研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成30年4月4日	70分	外来棟5階カンファレンスルーム	11	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部 副部長 金谷 朗子
2	平成30年5月10日	40分	臨床小講堂	122	新採用者「看護実践研修2」	医薬品の管理・薬剤の基礎知識	薬剤部 副部長 渡邊 裕之
小計				133			

○ 職種別研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成30年7月19日	60分	北11階面談室	8	北11-1病棟看護師 勉強会	抗がん剤の副作用について	薬剤部 森川 花松
2	平成30年9月1日	60分	臨床小講堂	46	第23回 静脈注射認定看護師 (Vナース) 認定研修会	薬剤に対する基礎知識～特に注射剤について～	薬剤部 副薬剤師長 渡邊裕之
3	平成30年10月4日	30分	北3階LVAD室	20	北3病棟看護師 勉強会	抗血栓薬について／その他薬剤の相互作用について	薬剤部 梶原 亮祐
小計				74			

平成30年度 医療機器安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成30年6月14日	90分	百年講堂大ホール	105	第40回呼吸管理セミナー（共催）	・生体情報モニターについて ・これで安心、気道確保 ・呼吸器感染診断に役立つ微生物検査	MEセンター 古庄 宏志 手術部 助教 梅原 薫 検査部 諸熊 由子
2	平成30年6月27日	60分	臨床大講堂	369	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・潜在性結核・その他について ・除細動器取扱い研修会	医療安全管理部長 後 信 グローバル感染症センター 下野 信行 MEセンター 渡邊 直貴
3	平成30年9月4日	60分	臨床大講堂	157	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD研修	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・潜在性結核・その他について ・除細動器取扱い研修会	医療安全管理部長 後 信 グローバル感染症センター 下野 信行 MEセンター 渡邊 直貴
4	平成30年9月26日	60分	臨床大講堂	163	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD研修	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・潜在性結核・その他について ・除細動器取扱い研修会	医療安全管理部長 後 信 グローバル感染症センター 下野 信行 MEセンター 渡邊 直貴
5	平成30年10月4日	60分	臨床大講堂	179	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD研修	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・潜在性結核・その他について ・除細動器取扱い研修会	医療安全管理部長 後 信 グローバル感染症センター 下野 信行 MEセンター 渡邊 直貴
6	平成30年10月11日	90分	百年講堂大ホール	121	第41回呼吸管理セミナー（共催）	・チーム医療でのぞむ周術期の医療安全	呼吸器科 松元 幸一郎医師 救急センター/小児科 本村 良知医師 集中治療部 牧 盾医師
7	平成30年10月15日	60分	臨床大講堂	84	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD研修	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・潜在性結核・その他について ・除細動器取扱い研修会	医療安全管理部長 後 信 グローバル感染症センター 下野 信行 MEセンター 渡邊 直貴
小 計				1178			

○ 機器導入時研修会

＜対象者＞ 臨床工学技士、医師、看護士、臨床工学技士、医師、看護士、臨床工学技士、医師、看護士

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成30年4月4・5日	60分	北棟地下1階 MEセンター	13	体温管理システム「ArcticSun」について	ArcticSunの機器管理方法と取り扱いについて	IMI 永里 哲一
2	平成30年4月12日	60分	北棟地下1階MEセン ター 南棟3階ICU	10	血流計「AureFio」について	AureFioの機器管理方法と取り扱いについて	NIPRO 神藤 浩司
3	平成30年4月12・23日	60分	北棟地下1階 MEセンター	11	補助循環装置「メラ遠心ポンプ」について	メラ遠心ポンプの機器管理方法と取り扱いについて	泉工医科工業 嘉藤 修一
4	平成29年7月15・16・14・13・19日	60分	南棟3階 カンファレンスル	78	補助循環装置「インベラー」について	インベラーの機器管理方法と取り扱いについて	MEセンター 定松 慎矢
5	平成29年6月26日	60分	北棟地下1階 MEセンター	10	人工呼吸器「ハミルトンG5」について	ハミルトンG5の機器管理方法と取り扱いについて	日本光電株式会社 西嶋
6	平成29年6月26日	60分	北棟3階 VAD管理室	68	補助循環装置「エクスコア」について	エクスコアの機器管理方法と取り扱いについて	MEセンター 定松 慎矢
7	平成29年2月2・7日	60分	北棟地下1階MEセン ター 南棟3階ICU	51	血液浄化装置「ACH-Σ」について	ACH-Σの機器管理方法と取り扱いについて	旭化成メディカル 角 陸行

8	平成30年8月1・2・3日	60分	北棟地下1階 MEセンター	11 補助循環装置「メラ遠心ポンプ」について	メラ遠心ポンプの機器管理方法と取り扱いについて	泉工医科工業 嘉藤 修一
9	平成30年4月4・5日	60分	北棟地下1階MEセン ター 南棟2階ICU	50 体温管理システム「プランケットロール」について	プランケットロールの機器管理方法と取り扱いについて	IMI 永里 哲一
10	平成30年5月23日	60分	北棟地下1階 MEセンター	7 酸素飽和度測定装置「NIRO」について	NIROにおける使用方法と機器説明	浜松ホトニクス 前田 英樹
11	平成30年10月19日	90分	北棟地下1階 MEセンター	9 サーボドレイン 導入時研修会	サーボドレインの機器管理方法と取り扱いについて	住友ベークライト株式会社 井上 直彦
12	平成30年10月20日	91分	北棟地下2階 MEセンター	10 サーボドレイン 導入時研修会	サーボドレインの機器管理方法と取り扱いについて	住友ベークライト株式会社
13	平成30年12月13日	80分	北棟地下1階 共用会議室	12 補助人工心臓「EVERHART」について	EVERHARTの取り扱い方法について	サンメディカル株式会社 宮本 浩次
14	平成31年1月28日	45分	北棟地下1階 MEセンター	7 自己血回収装置「XTRA」について	XTRAにおける安全使用方法と機器説明	LivaNova 松田 彩智美
小 計			328			

○ 機器安全使用のための研修会

<対象者：臨床工学士>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
1	平成30年4月9日	60分	北棟地下1階 MEセンター	8	人工呼吸器「ネーザルハイフロー」について	ネーザルハイフローの取り扱い方法について	MEセンター 佐藤 博彦 技士
2	平成30年4月16日	60分	北棟地下1階 共用会議室	6	補助人工心臓「EVERHART」について	EVERHARTの取り扱い方法について	サンメディカル技術研究所 進藤 信吾
3	平成30年4月19日	60分	北棟地下1階 共用会議室	15	血液浄化装置について	CHDFにおける膜の適応と選択について	MEセンター 日名子 康助 技士
4	平成30年4月20日	60分	北棟地下1階 共用会議室	9	血液ガス分析装置について	CDI500の取り扱い方法について	テルモ株式会社 大野 浩司
5	平成30年4月23日	60分	北棟地下1階 共用会議室	7	自己血回収装置について	セルセーバエリートプラスについて	ヘモティックスジャパン合同会社 小林 圭司
6	平成30年4月26日	60分	北棟地下1階 共用会議室	10	人工呼吸器「V60」について	NPPVの適応と取り扱い方法について	MEセンター 佐々木 悠真 技士
7	平成30年5月7日	60分	北棟地下1階 共用会議室	13	自己血回収装置「XTRA」について	XTRAにおける安全使用方法と機器説明+I43/K44	LivaNova 松田 彩智美
8	平成30年5月7日	60分	北棟地下1階 共用会議室	12	自己血回収装置における取り扱いについて	セルセーバの原理と安全使用について	MEセンター 澤村 匠之介 技士
9	平成30年5月14日	60分	北棟地下1階 共用会議室	8	血行動態モニタリング装置「Hemo Sphere」について	Hemo Sphereについて	エドワーズライフサイエンス 加藤 輔
10	平成30年6月27日	60分	南棟3階ICU カンファレンスルー	14	血液浄化法について	急性血液浄化の原理と機器の安全使用について	MEセンター 徳本 祐哉 技士
11	平成30年8月6日	60分	北棟地下1階 MEセンター	8	補助循環装置「IABP」について	IABP CARDIOSAVEの取り扱いと安全使用について	ゲティンゲングループ・ジャパン 櫻木 新悟
12	平成30年9月27日	30分	北棟地下1階 MEセンター	8	気管支鏡について	気管支鏡の修理状況と予防法	オリンパス株式会社 那木 雄治
13	平成29年12月21日	45分	北棟地下1階 MEセンター	8	補助循環装置「IABP」について	IABP 光センサーバルーンについて	ゲティンゲングループ・ジャパン 櫻木 新悟

14	平成30年9月27日	60分	北棟地下1階 共用会議室	11 補助循環装置「PCPS」について	キャビオックスNEOについて	テルモ株式会社 大野浩司
15	平成30年10月11日	50分	北棟地下1階 共用会議室	8 補助循環装置「IABP」について	IABPの原理と安全使用について	MEセンター 古庄 宏高 技士
16	平成30年10月17日	60分	北棟地下1階 共用会議室	9 PMXについて	PMXの取り扱い方法と適応について	東レ・メディカル株式会社 大西 拓男
17	平成30年9月20日	60分	北棟地下1階 MEセンター	6 術中神経モニタリング装置「NIM-ECLIPSE E4」	NIM-ECLIPSE E4の取り扱いと安全使用について	日本メドトロニック株式会社 石田 強
18	平成30年11月21日	80分	北棟10階 病棟	11 人工呼吸器の管理	人工呼吸器の使用方法和管理について	MEセンター 雷重 明弘 技士
19	平成30年11月12日	40分	北棟地下 共用会議室	9 人工透析膜「AN69ST」	ヘパリンコーティングについて	パクスター株式会社 村上 慎吾
20	平成30年11月26日	60分	南棟3階 手術部	12 da Vinci Si サージカルシステム	MEトレーニング	INTUITIVE SURGICAL JAPAN
21	平成30年11月22日	41分	北棟地下 1階MEセンター	7 ECMO装置の取り扱いについて	PCPS勉強会	MEセンター 高橋 幸子 技士
22	平成30年12月27日	30分	南棟3階CCU	11 補助人工心臓「EVERHART」について	EVERHARTの取り扱い方法について	MEセンター 定松 慎矢 技士
23	平成30年12月27日	75分	北棟地下1階 MEセンター	8 NO療法装置について	アイノフローの呼吸器回路への接続について	MEセンター 澤村 匠之介 技士
24	平成31年1月17日	60分	北棟地下1階 MEセンター	5 人工呼吸器「ハミルトンG5」について	取り扱い方法について	日本光電株式会社 渡司 信弘
25	平成31年1月22日	15分	南棟3階 手術部	8 ストルツ内視鏡装置について	ICGの取り扱いと操作方法について	エム・シーメディカル株式会社 古賀 禎介
26	平成31年1月24日	40分	北棟地下1階 MEセンター	7 人工呼吸器「PB980」について	呼吸器モードPAVの取り扱い方法について	コヴェディエンジャパン 松田隆英
27	平成31年2月7日	38分	北棟地下1階 MEセンター	7 クライオアイスについて	取り扱い方法について	センチュリーメディカル株式会社 大嶋 健嗣
小 計				180		

医療安全管理マニュアル（抜粋）

4) 医療安全管理部

医療安全管理委員会を有効に機能させるため、医療安全管理部教授を部長とする医療安全管理部を設置する。（医療法施行規則第9条の20の2第1項第6号）

医療安全管理部には、業務の中核を担うセーフティマネージャーを置く。

医療安全管理部は、医療安全管理委員会で決定された方針に基づき、組織横断的に院内の安全管理を担う。

医療安全管理部は以下の業務を行う。

1. 医療法上、医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 医療安全管理委員会に係る事務
- ② 事故その他の医療安全管理部門において取り扱うことが必要なものとして管理者が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく従業者への必要な指導
- ③ 医療に係る安全管理に係る連絡調整
- ④ 医療に係る安全の確保のための対策の推進
- ⑤ 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認

2. 医療法上、行う必要があるその他の業務

- ① インシデントレポートおよび影響度分類レベル3 b 以上報告書の分析に関すること
- ② 医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること

3. 医療安全対策加算のために医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況および評価結果を記録していること
- ② 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数および相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録していること
- ③ 医療安全対策に係る取組みの評価等を行うカンファレンスが週1回程度開催されており、医療安全管理委員会および必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者が参加していること

4. その他

- ① 医療安全管理マニュアルの編集および見直しに関すること

九州大学病院高度新規医療評価部内規

施行 平成29年 4月 1日

最終改正 平成30年 1月17日

(趣旨)

第1条 この内規は、九州大学病院内規第11条第4項の規定に基づき、九州大学病院高度新規医療評価部（以下「評価部」という。）の組織その他必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 評価部は、医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の23第1項第7号ロ及び第9条の23第1項第8号ロの規定並びに当該規定に係る厚生労働省告示に基づき、九州大学病院（以下「本院」という。）における高度新規医療を用いた医療の適正な提供を図ることを目的とする。

(定義)

第3条 この内規において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 高難度新規医療技術 本院で実施したことのない医療技術（軽微な術式の変更等を除く。）であってその実施により患者の死亡その他の重大な影響が想定されるもの
- (2) 未承認新規医薬品 本院で使用したことのない医薬品であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (3) 未承認新規医療機器 本院で使用したことのない高度管理医療機器であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (4) 高度新規医療 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器を用いた医療（業務）

第4条 評価部の業務は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 診療科の長から高度新規医療実施申請（以下「申請」という。）が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、第9条に規定する各委員会（以下「諮問委員会」という。）に対して当該高度新規医療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
- (2) 前号の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高度新規医療の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- (3) 高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて、定期的に確認すること。
- (4) 高度新規医療の提供の適否等について決定したとき及び高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。

(組織)

第5条 評価部に、部長及び部員を置く。

- 2 部長は、医療安全管理責任者をもって充てる。
- 3 部長は、評価部の業務を統括する。
- 4 部員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 医療安全管理部長
 - (2) 医薬品安全管理責任者
 - (3) 医療機器安全管理責任者
 - (4) 麻酔科蘇生科科长
 - (5) 手術部副部長のうちから選ばれた者 1人
 - (6) 医師ゼネラルリスクマネージャー
 - (7) 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー

- (8) 看護師ゼネラルリスクマネージャーのうちから選ばれた者 1人
- (9) 臨床工学技士ゼネラルリスクマネージャー
- (10) インフォームド・コンセント小委員会委員長
- (11) その他評価部が必要と認めた者 若干人

(部門)

第6条 評価部に、次に掲げる部門を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門
- (2) 未承認新規医薬品評価部門
- (3) 未承認新規医療機器評価部門

(責任者)

第7条 各部門に次のとおり責任者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 医療安全管理部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 医薬品安全管理責任者
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 医療機器安全管理責任者

(実務担当者)

第8条 各部門に次のとおり実務担当者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 手術部副部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 臨床工学技師ゼネラルマネージャー

(諮問委員会)

第9条 評価部は、高度新規医療の提供の適否等について、内容に応じて次の委員会に意見を求めるものとする。

- (1) 高難度新規医療技術の提供 九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会
- (2) 未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器の使用 九州大学病院臨床倫理委員会

(秘密の保持)

第10条 評価部の構成員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(事務)

第11条 高度新規医療評価部に関する事務は、研究支援課の協力を得て医療管理課において処理する。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、評価部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成30年1月17日から施行し、平成30年1月1日から適用する。

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第 2 条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成 2 7 年度九大規則第 2 9 号）第 3 条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和 2 3 年法律第 2 0 5 号）第 1 0 条第 2 項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第 2 号及び第 3 号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（平成 2 9 年 1 0 月 4 日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第 2 条第 2 項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力

医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。

2. 病院の管理運営上必要な資質・能力

当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。

3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力

九州大学アクションプランや九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）

- ・ 公表の方法

本学 Web サイトに掲載

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

**規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況**

合議体の設置の有無	有		
・合議体の主要な審議内容 合議体の名称：九州大学病院運営会議 合議体の主要な審議内容 ①運営方針に関する事項 ②中期目標及び中期計画に関する事項 ③規程等の制定及び改廃に関する事項 ④予算及び決算に関する事項 ⑤その他病院の運営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・公表の方法 本学のWebサイトに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有 ） 九州大学病院運営会議規程第 7 条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
赤司浩一	○	医師	病院長
古谷野潔		歯科医師	副病院長・科長
須藤信行		医師	副病院長・科長
中島康晴		医師	副病院長・科長
中村雅史		医師	副病院長・科長
堀内孝彦		医師	副病院長・科長
濱田正美		看護師	副病院長
新納宏昭		医師	病院長補佐
塩瀬 明		医師	病院長補佐・科長
飯原弘二		医師	病院長補佐・科長
大賀正一		医師	病院長補佐・科長
中島直樹		医師	病院長補佐・科長
加藤聖子		医師	病院長補佐・科長
水元一博		医師	病院長補佐
鮎澤純子		教員	病院長補佐
宮本敏浩		医師	副科長
有信洋二郎		医師	副科長

北園孝成		医師	科長
小川佳宏		医師	科長
吉良潤一		医師	科長
筒井裕之		医師	科長
松元幸一郎		医師	副科長
森 正樹		医師	科長
田口智章		医師	科長
古江増隆		医師	科長
江藤正俊		医師	科長
鬼塚俊明		医師	副科長
園田康平		医師	科長
中川尚志		医師	科長
西江昭弘		医師	副科長
山浦 健		医師	科長
門田英輝		医師	科長
水野晋一		医師	科長
福本 敏		歯科医師	科長
高橋一郎		歯科医師	科長
前田英史		歯科医師	科長
西村英紀		歯科医師	科長
中村誠司		歯科医師	科長
森 悦秀		歯科医師	科長
横山武志		歯科医師	科長
吉浦一紀		歯科医師	科長
和田尚久		歯科医師	科長
柏崎晴彦		歯科医師	科長
三森功士		医師	科長
播広谷勝三		医師	科長
平川雅和		医師	科長
永田太郎		医師	副科長
康東天		医師	部長
小田義直		医師	部長
前田高宏		医師	部長
大塚隆生		医師	部長
下野信行		医師	センター長
後信		医師	部長
安藤真一		医師	センター長
清水周次		医師	部長
河野一郎		理学療法士	部長
吉田勇人		事務	部長
笹栗俊之		医師	教授
鳴打正浩		医師	教授
樗木晶子		医師	教授

(令和元年 10 月 1 日現在)

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
本学 Web サイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
九州大学学則第 25 条第 2 項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
九州大学病院規則第 16 条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、
病院長が別に定める。」
国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第 9 条第 2 項
「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算
責任者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
(1) 副病院長を 6 名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、③経営担当、
④安全管理・危機管理担当、医療安全管理責任者、⑤別府病院担当、
⑥看護部総括担当
(2) 病院長補佐を 8 名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び調査
を行い、意見を具申
病院長補佐 ①教育担当、②経営担当、③安全管理担当、④医療安全・移行期医療担当
⑤医療情報担当、⑥診療報酬担当、⑦監査・法規・I C 担当
⑧別府病院再開発担当
(3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート

・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日程	事業名	場所	参加者
令和元年10月27日	特定機能病院管理者研修	日本医療機能評価機構	病院長、中村副病院長、飯原病院長補佐
令和2年2月17日	第2回病院経営次世代リーダー養成塾	学術総合センター（東京）	未定

**規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況**

監査委員会の設置状況					☒ 有・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 第 1 回監査 以下の現状について監査 ・ 画像診断報告書の未読対策について 第 2 回監査 以下の現状について監査 ・ 医療事故調査制度に該当する事案が発生した場合の流れについて ・ 医薬品・医療機器に関する研修会の実施状況について ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法：九州大学病院ホームページ					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学	○	安全管理の識見者	無	1
一木 孝治	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
秋好美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人キャンサーサポート		医療を受ける者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人九州大学の業務の適性を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。

本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。

・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年度から予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年 4 1 回（平成 3 0 年度）） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ 年 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 本学Webサイトに掲載			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ） ・ 周知の方法 メールにより病院内の全教職員へ定期的に周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 1) 「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価一般病院<3rdG:Ver. 2.0>」の更新審査を平成30年10月に受審し平成30年1月28日に遡りて認定(認定期間～令和5年1月27日) 2) 「公益財団法人日本適合性認定協会」の「ISO15189」(検査部)の更新審査を平成30年1月に受審し平成30年1月17日付けで認定(認定期間～令和4年3月31日) 3) 「日本輸血・細胞治療学会」の「I&A」(遺伝子・細胞療法部)の更新審査を平成26年10月に受審し平成27年4月30日付けで認定(認定期間～令和2年3月31日) 4) 「一般財団法人日本医療教育財団」の「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の審査を平成29年2月に受審し平成29年3月15日付けで認定(認定期間～令和2年3月14日)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ○病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供 ○広報誌 1) 病院概要(県内病院、国立大学、官公庁向けに送付) 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供 2) 九大病院ニュース(県内外の病院、県医師(歯科医師)会、大学病院、官公庁向けに送付)	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○周術期支援センター 手術を受ける患者に、安全かつ円滑に手術前後の時期（周術期）を過ごしてもらうため、医師や看護師など他職種が連携して周術期管理の質の向上を目指す、周術期支援センターを開設している。 患者の全身状態は周術期の安全の維持に非常に大きな意味を持っていることから、周術期支援センターでは、麻酔科医が入院前に診察を行い、全身状態を把握し、手術に支障となる問題点があれば、どちらの治療を優先するべきかどうか判断する。専任看護師は身体的精神的評価と麻酔・手術のオリエンテーションを行い、不安の軽減に努める。また、周術期口腔ケアセンターと連携し、口腔ケアを確実にを行い、周術期感染症の減少にも努める。手術前に中止すべき薬剤の確認を薬剤師が行い、確認もれによる手術中止や延期を防ぐ。このように患者を中心として、外科系医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、事務など様々な職種が密に連携をとり協力して患者支援を進める体制をとっている。	